

第1回大島町地域公共交通活性化協議会

日時：令和5年3月28日（火） 10:00～11:30

議事次第

- 1 開会
- 2 議事
 - (1) 地域公共交通計画策定に向けた手順について
 - (2) 地域公共交通計画の構成について
 - (3) 大島町の現状・課題について
- 3 その他
- 4 閉会

【配布資料】

- 資 料 1 地域公共交通計画策定に向けた手順
- 資 料 2 地域公共交通計画の構成
- 資 料 3 大島町の現状と課題
- 参考資料1 大島町地域公共交通活性化協議会設置要綱
- 参考資料2 大島町地域公共交通活性化協議会委員名簿

第 1 回大島町地域公共交通活性化協議会資料

令和 5 年 3 月 2 8 日（火） 10:00~11:30

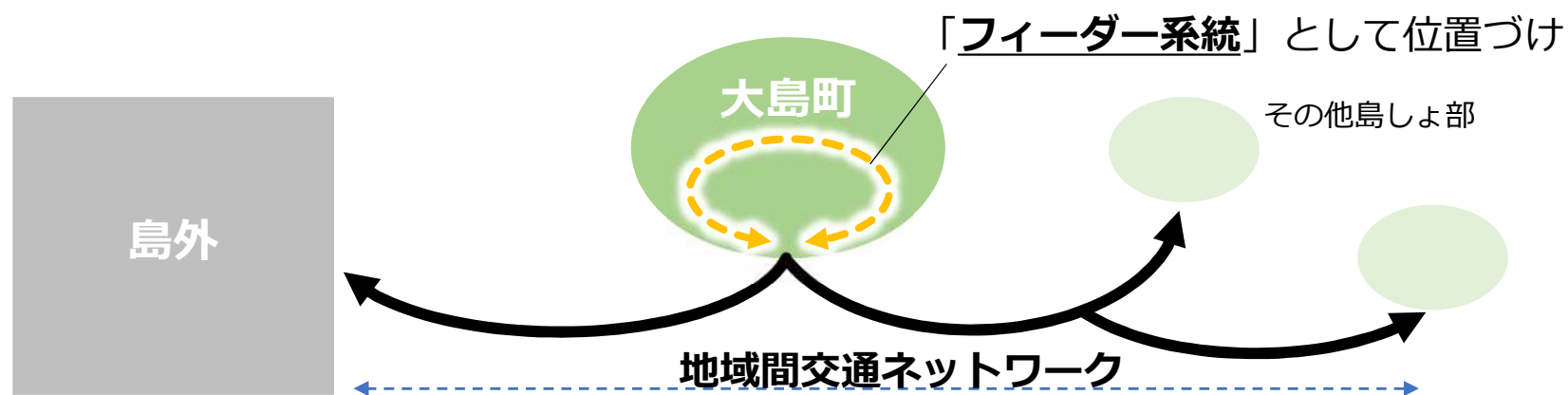
1. 地域公共交通計画策定に向けた手順

資料 1

(1) 背景

- 全国的に、地域の移動手段について、高齢者の免許返納や交通不便地域の存在、財政負担の増加への対応などが課題
- また、地域の公共交通もコロナウイルス感染拡大による観光客をはじめとした利用客の減少という厳しい状況

- 令和2年11月に地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正
- 改正と合わせるかたちで、地域公共交通計画の作成及び計画における補助系統の位置づけが補助要件化(**計画制度と補助制度の連動化**)
- 維持・確保にあたっては、複数市町村を結ぶ地域間交通ネットワークとしての航路に対して、大島町内の交通を「**フィーダー系統**」(支線・枝線)として位置づけることを想定



大島町の移動手段を持続的に維持・確保するため、地域の関係者で地域の移動に関する現状や課題、課題解決に向けた取組や具体的な施策、目標などを議論・共有する場として、**大島町地域公共交通活性化協議会**を設置

1. 地域公共交通計画策定に向けた手順

(2) 協議会の進め方

◆建付け

- ・大島町（政策推進課）が事務局（東京都が運営をサポート）

◆開催方法

- ・大島町役場でのオンサイト会議とWeb会議システムを利用したオンライン会議による
ハイブリッド形式での開催

◆根拠法令

- ・地域公共交通の活性化及び再生に関する法律(第6条)に基づく「法定協議会」と道路運送法施行規則(第9条の3)に基づく「地域公共交通会議」を兼ねる会議として設置

◆その他

- ・協議会の下部組織として、検討部会（行政、大島バス等）を設置。
実務的な検討を進める。

1. 地域公共交通計画策定に向けた手順

(3) 今後のスケジュール案

	スケジュール案
今回 R4年度	【第1回】 3月28日 : 協議会立上げ 計画策定に向けた手順、計画の構成案、町の現状と課題
R5年度	【第2回】 6月ごろ : 計画の基本的方針、目標、施策
	【第3回】 9月ごろ : 計画 (素案)
	【第4回】 12月ごろ : 計画 (案)
	パブコメ実施 (1月ごろ)
	【第5回】 3月ごろ : パブコメ反映、計画取りまとめ
R6年度	【第6回】 6月ごろ : 計画認定・国庫補助金交付申請

2. 地域公共交通計画の構成

資料 2

(1) 地域公共交通計画の概要

○地域公共交通計画は、

- ・地域の移動手段を確保するため、地方公共団体が中心となり、交通事業者等や住民などの関係者と協議しながら作成する計画。
- ・「地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿」を明らかにする「マスタープラン」の役割。
- ・「活性化再生法に基づく協議会」を開催しつつ、関係者等との個別協議を重ねて作成。

○地域公共交通計画においては、

- ・既存公共交通を最大限活用した上で、必要に応じて福祉輸送等の送迎サービス、物流サービスなど、地域の多様な輸送資源を活用する取組を盛り込み、持続可能な地域旅客運送サービスの提供を確保。
- ・最新技術を活用して生産性を向上しつつ、外国人旅行者も含めた幅広い利用者が使いやすいサービスが提供されることが必要。



資料) 地域公共交通計画等の作成と運用の手引き(国土交通省)

2. 地域公共交通計画の構成

(2) 標準的な地域公共交通計画の章構成

章	項目	内 容	
はじめに	・ 計画作成の趣旨 ・ 計画の区域 ・ 計画の期間	交通圏に基づく計画区域の設定 原則 5 年程度	第1回 協議会
1. 地域の現状等	・ 地勢・地理 ・ 社会状況・経済状況	地勢・地理、社会・経済状況の整理	
2. 上位・関連計画の整理	・ 総合計画 ・ 総合戦略 ・ 復興計画 ・ ジオパーク基本計画 ・ その他の関連計画	東京都、大島町の上位・関連計画を整理	
3. 地域旅客運送サービスの現状等	・ 地域旅客運送サービスの整備状況 ・ 地域旅客運送サービスの利用状況、利用者の意向等	地域の移動に関する統計情報 現状の運行計画等に関する情報 利用者の意向（アンケート調査） 等	
4. 地域旅客運送サービスの役割と課題整理	・ 地域旅客運送サービスの役割 ・ 地域旅客運送サービスの課題整理	位置づけ、役割の整理（法の趣旨を踏まえ、地域全体の中での位置づけを明確化） 上位計画、データ分析より課題を整理	第2回 協議会
5. 基本的な方針		地域の将来像と公共交通の役割の明確化、取組の方向性	
6. 計画の目標		計画期間内に達成すべき目標と目標値の設定	第3回 協議会
7. 目標達成のための施策・事業、資金調達計画		地域公共交通確保維持事業の必要性 補助系統に係る事業及び実施主体	
8. 計画の達成状況の評価		達成状況の評価計画、 評価に基づく見直し方針	

2. 地域公共交通計画の構成

(3) 計画策定の基本的な考え方

◆計画の区域

- ・ 大島町全域を想定

◆計画期間

- ・ 5年を想定(令和7年度～令和11年度)

= 目 次 =

3-1. 地域の概況	2	3-4. 町民の移動実態	4 1
(1) 地勢	2	(1) アンケートの概要	4 1
(2) 人口	4	(2) 地域間交通流動	4 3
(3) 主要施設等	7	(3) 利用交通手段	4 5
(4) 自動車の保有状況	1 3	(4) 路線バスの利用実態	4 7
3-2. 上位計画、関連計画	1 4	(5) 移動手段の現状や見通し	5 1
3-3. 公共交通の現状	1 8	(6) 高齢者の将来の移動に対する不安	5 2
(1) 公共交通網	1 8	(7) アンケートまとめ	5 4
(2) 路線バスの運行サービス内容	2 0	(8) その他	5 5
(3) タクシー	2 3	3-5. 来島者の移動実態	5 6
(4) レンタカー	2 5	(1) 大島町商工会によるアンケート調査	5 6
(5) その他移動サービスの状況	2 7	(2) 来島者webアンケート	6 1
(6) 人口カバー率	4 0	3-6. 公共交通の利用状況	6 7
		(1) バスの利用状況	6 7
		(2) 船舶・飛行機の利用状況	7 5
		3-7. 地域や公共交通の現状からみた課題	7 8

3. 大島町の現状と課題

3-1. 地域の概況

(1) 地勢

1) 土地利用

大島町は伊豆諸島の北端に位置する。町が位置する大島は伊豆諸島の中でも最大であり、活火山により形成されている。

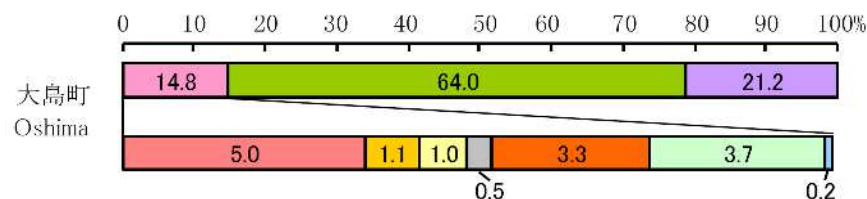
大島町の中央部には標高758mの三原山があり、町内の西側に勾配が緩やかな平地が開けている。

土地利用調査によると、町内の約6割が森林、約2割が原野である。

町内の集落は海岸に沿って発達している。

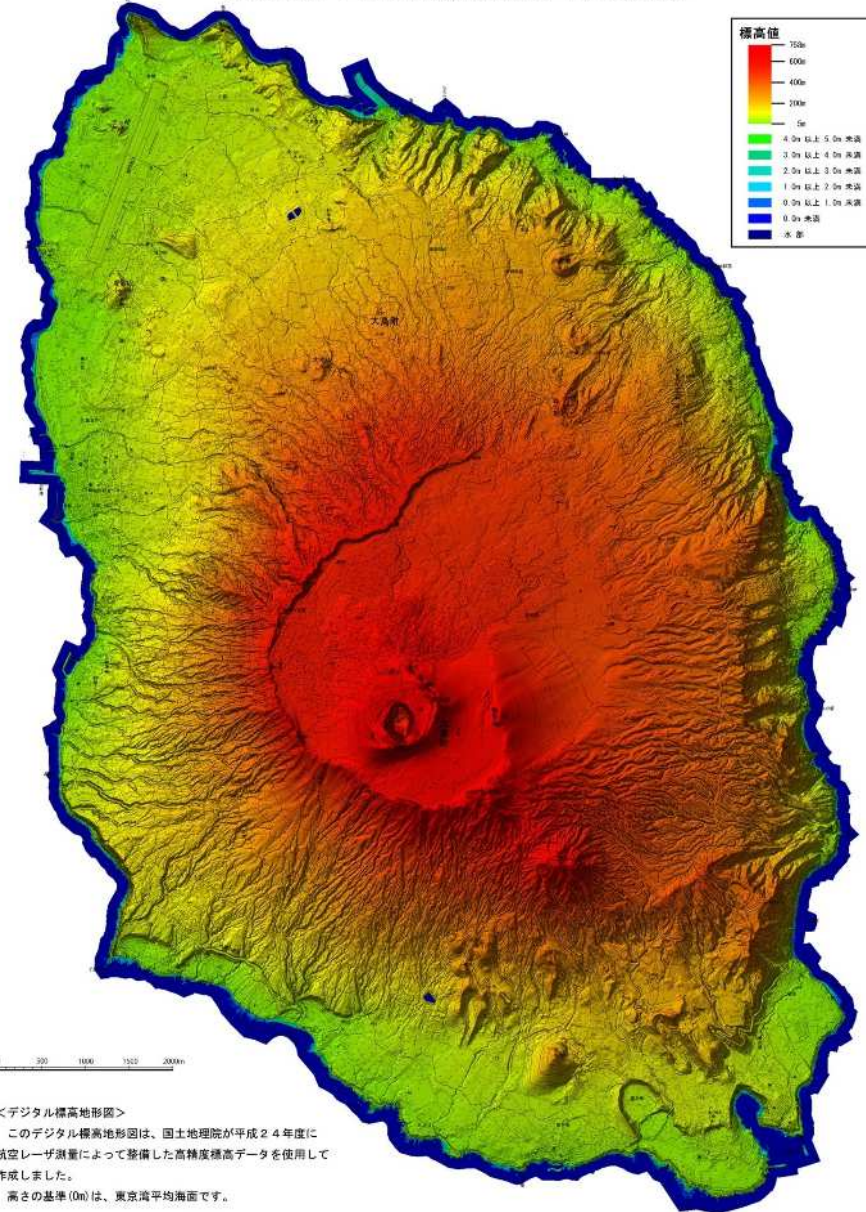
L-1	L-2	L-3	L-4	L-5	L-6	L-7	L-8	L-9
宅地	その他	公園等	未利用地等	道路等	農用地	水面	森林	原野

平成29年土地利用比率(島しょ地域町村別)



資料) 東京の土地利用 平成29年多摩・島しょ地域東京都

1:25,000 デジタル標高地形図「伊豆大島」



<デジタル標高地形図>

このデジタル標高地形図は、国土地理院が平成24年度に航空レーザ測量によって整備した高精度標高データを使用して作成しました。

高さの基準(0m)は、東京湾平均海面です。

平成25年10月 国土地理院

国土地理院提供資料 D1-100-027

資料) デジタル標高地形図(国土地理院)

3. 大島町の現状と課題

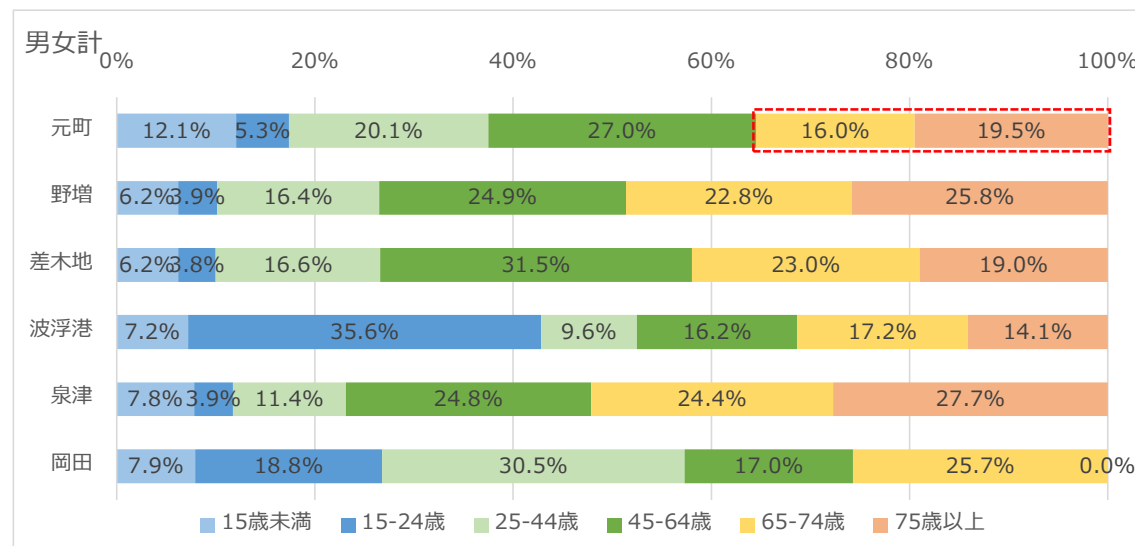
3-1. 地域の概況

(2) 人口

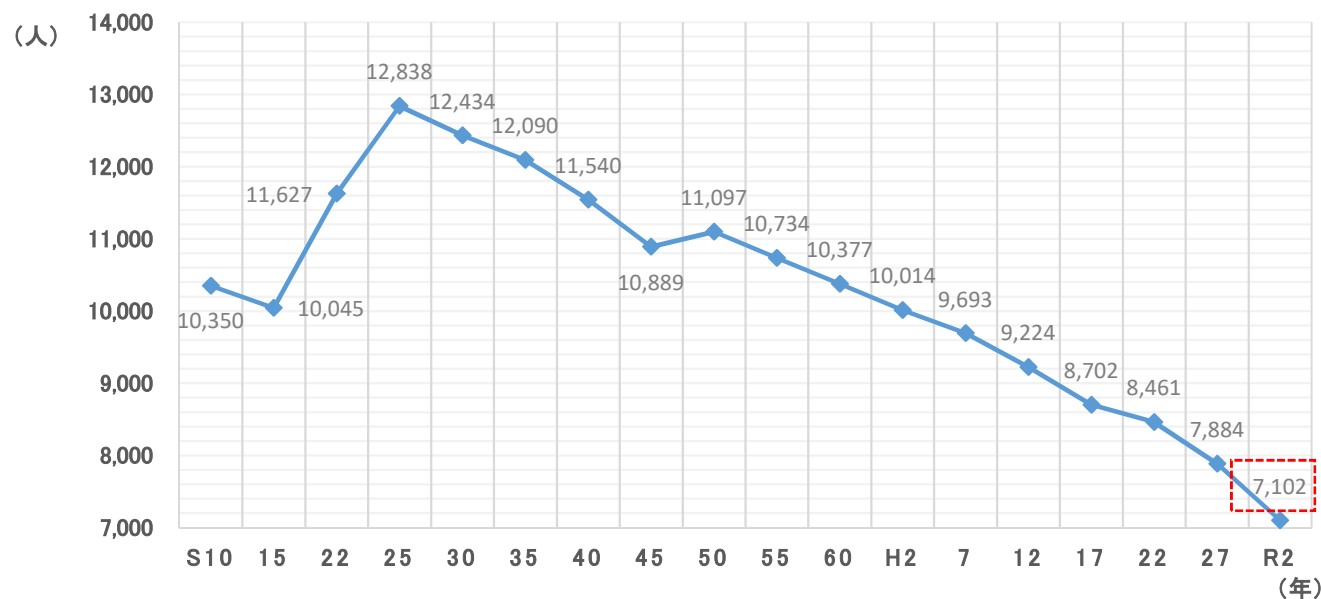
大島町の人口は昭和25年の約1.2万人をピークに減少が続いている。

令和2年の人口は約7,100人であり、ピーク時の半分程度となっている。

国勢調査の結果をみると、町内の各集落で65歳以上の人口の占める割合が高くなっている。



資料)令和2年国勢調査



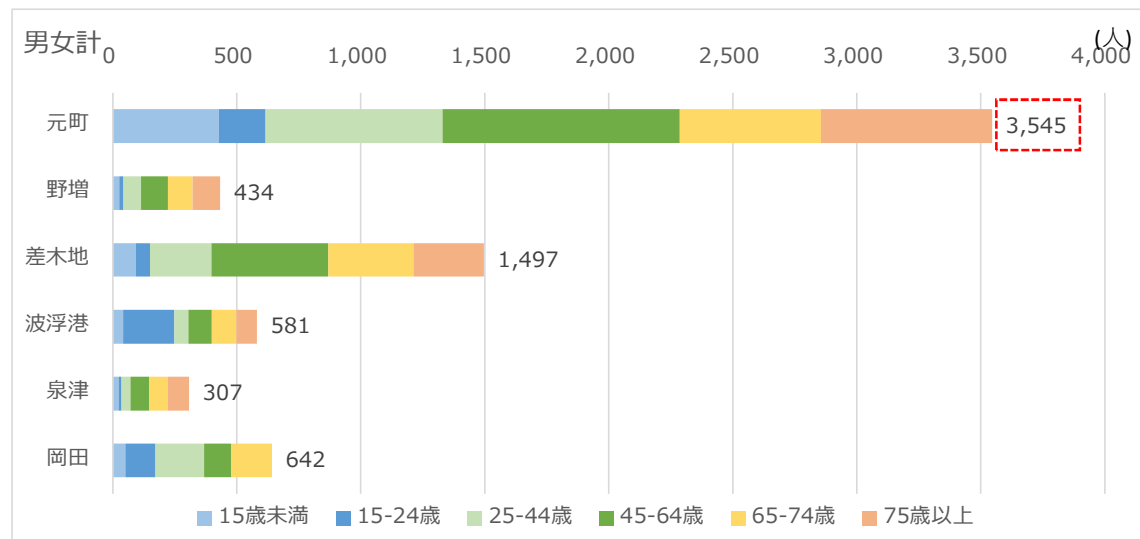
資料)東京都大島支庁管内概要 令和3年版

3. 大島町の現状と課題

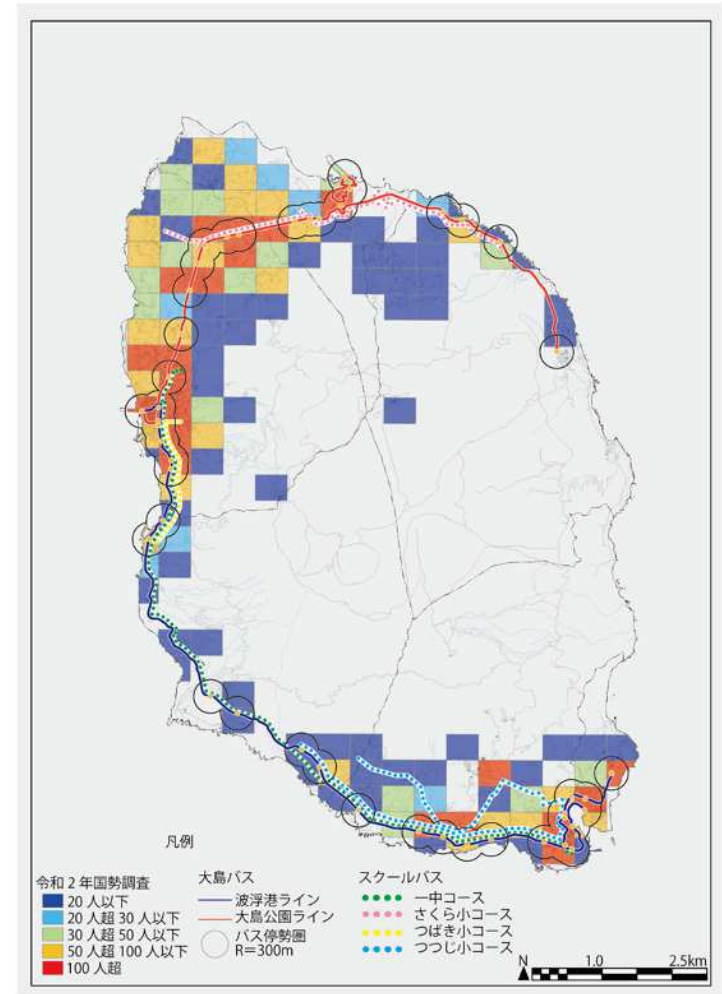
3-1. 地域の概況 (2) 人口

海岸沿いを中心に人口が集積している。

旧6村別でみると、元町に人口が集中しており、約3,500人が居住している。



資料) 令和2年国勢調査



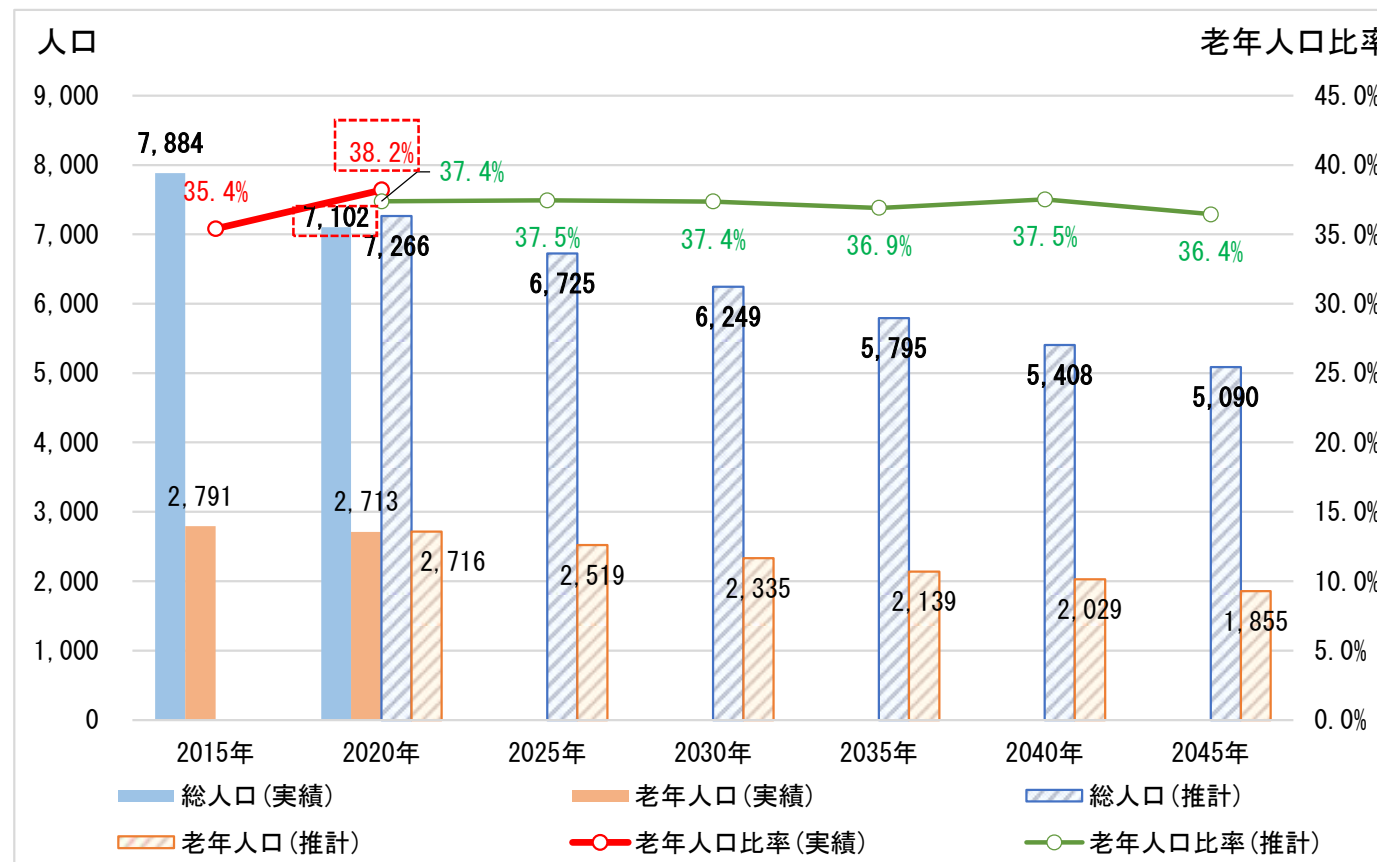
資料) 令和2年国勢調査

3. 大島町の現状と課題

3-1. 地域の概況 (2) 人口

国立社会保障・人口問題研究所が平成27年国勢調査をもとに推計した将来推計人口によると、大島町の人口は減少し、また、総人口の減少に対して、老年人口比率は37%程度で推移していくとされていた。

しかし、令和2年国勢調査の結果をみると、**人口減少が推計よりも早く進行し、相対的に老年人口比率が高まっている**ことが分かる。



資料)国立社会保障・人口問題研究所

3. 大島町の現状と課題

3-1. 地域の概況

(3) 主要施設等

1) 公共・公益施設

出張所や保育園、学校等の町民が日常的に利用する施設は各集落に立地している。



No	施設種類
1	町役場出張所
2	保育園
3	小学校
4	中学校
5	高校
6	老人ホーム
7	公民館、老人福祉館、文化会館、コミュニティセンター
8	大島勤労福祉会館
9	セミナーハウス
10	大島医療センター

資料)大島町HP

3. 大島町の現状と課題

3-1. 地域の概況

(3) 主要施設等

2) 官公署等

主要な官公署は元町に立地している。



No	施設種類
1	大島町役場
2	大島町消防本部
3	東京都大島支庁、教育庁大島出張所
4	島しょ保健所大島出張所
5	水産試験場大島分場
6	家畜保健衛生所大島支所、中央農業改良普及センター大島支所、農業試験所大島園芸技術センター
7	東京都大島公園事務所
8	警視庁大島警察署
9	大島勤労福祉会館
10	大島セミナーハウス
11	栽培漁業センター
12	伊豆大島簡易裁判所
13	伊豆大島区検察庁、環境省伊豆諸島自然保護官事務所
14	東京航空局大島空港出張所

3. 大島町の現状と課題

3-1. 地域の概況

(3) 主要施設等

3) 観光 ①施設立地

観光施設は主には元町に集中している。

泉津や北の山には椿祭りのシーズンのメイン会場となる都立大島公園や椿花ガーデンが立地している。

また、町の中央には三原山を中心に裏砂漠等の自然観光資源がみられる。



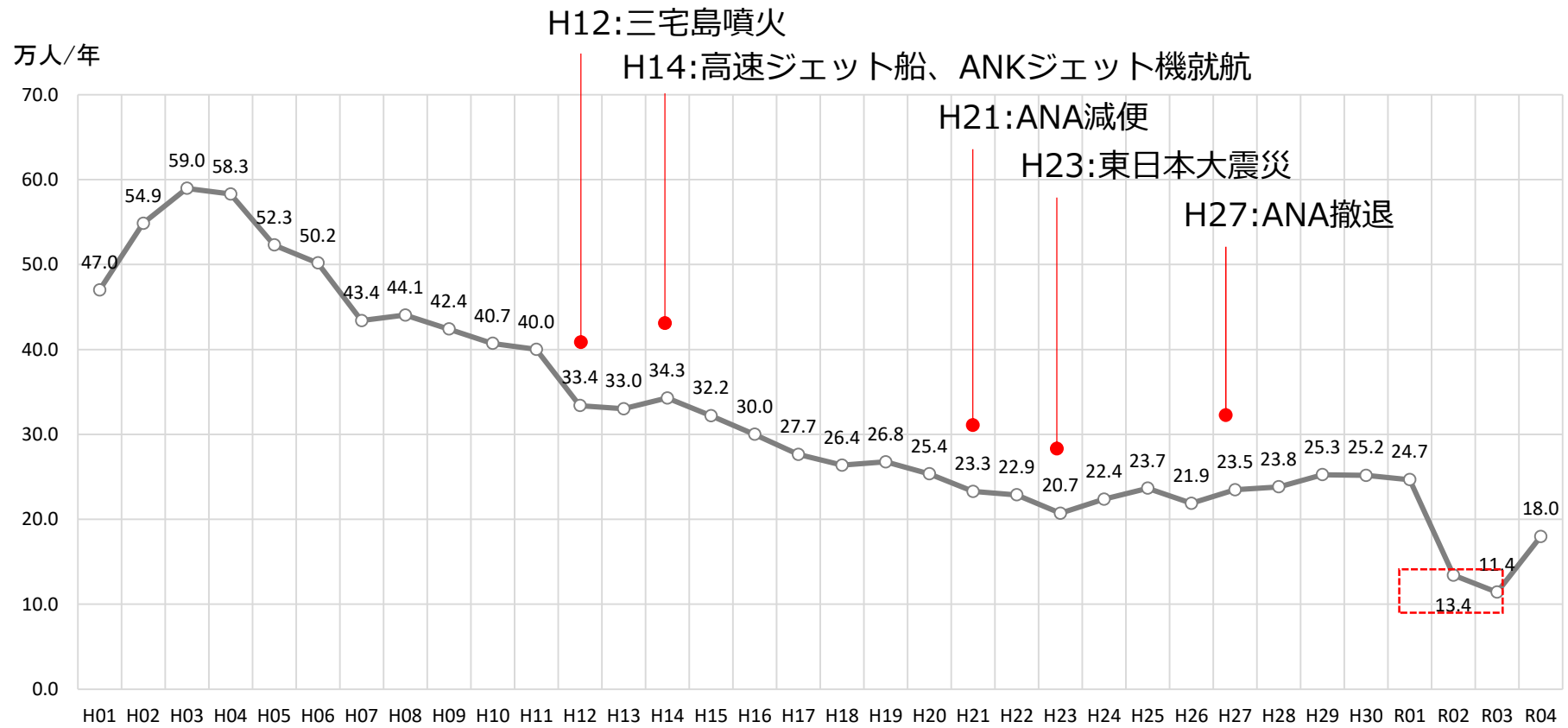
3. 大島町の現状と課題

3-1. 地域の概況

(3) 主要施設等

3) 観光 ②入込客数

大島町への来島者数はコロナ禍前までは概ね20万人を超え横ばいで推移していたが、コロナ禍で大きく減少した。



3. 大島町の現状と課題

3-1. 地域の概況

(3) 主要施設等

3) 観光 ②入込客数

椿祭りのシーズンが最多客期、年間入込客数の約1/4が来訪する。

コロナ禍の令和2年～令和3年には通年で入込客数が激減した。

平成29年2～3月:6.2万人

令和3年2～3月:1.5万人

椿祭りシーズン

計25.6%

H29の月別割合

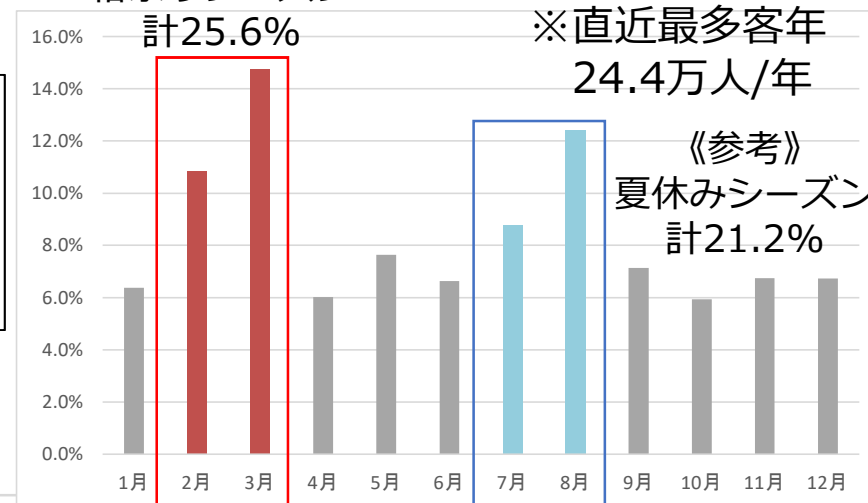
※直近最多客年

24.4万人/年

《参考》

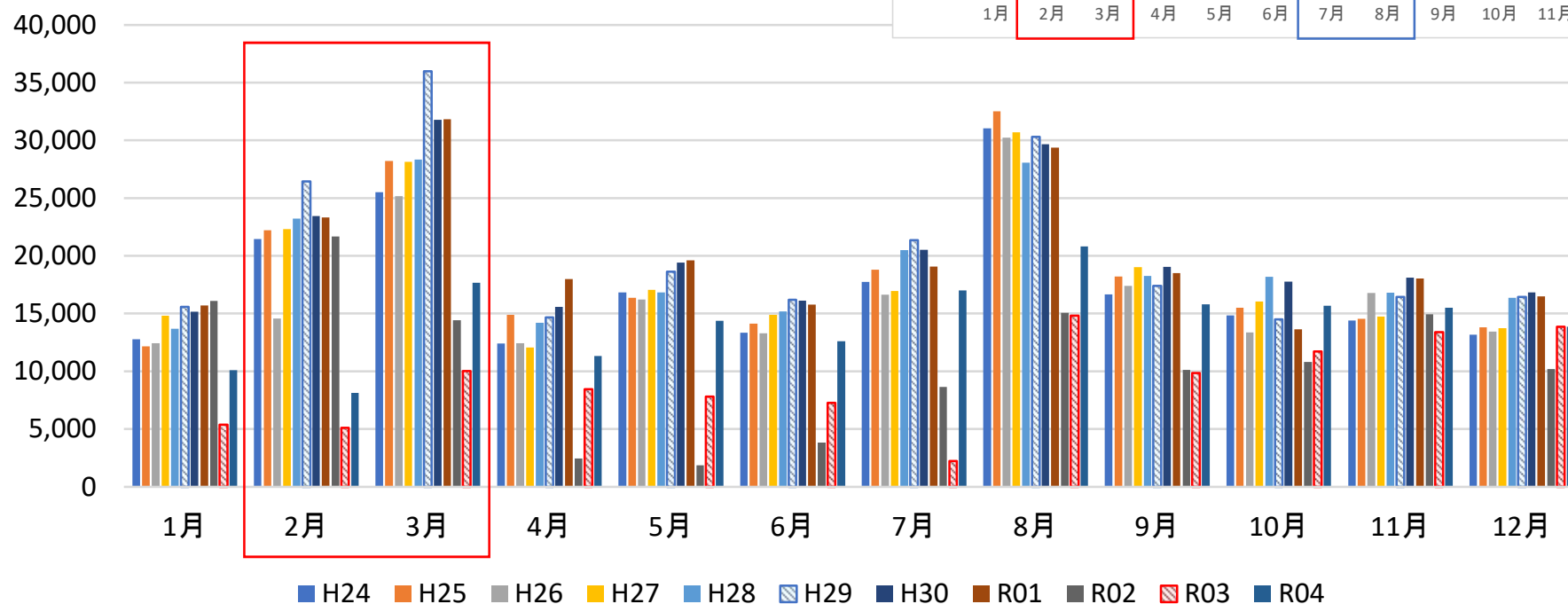
夏休みシーズン

計21.2%



人/月

椿祭り



3. 大島町の現状と課題

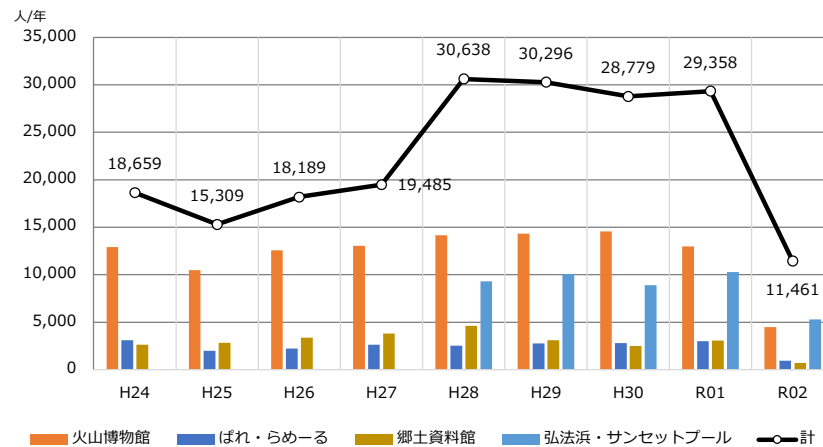
3-1. 地域の概況

(3) 主要施設等

3) 観光 ③施設別の利用者数

各施設の利用者数についても、コロナ禍の影響により、大幅に減少している。

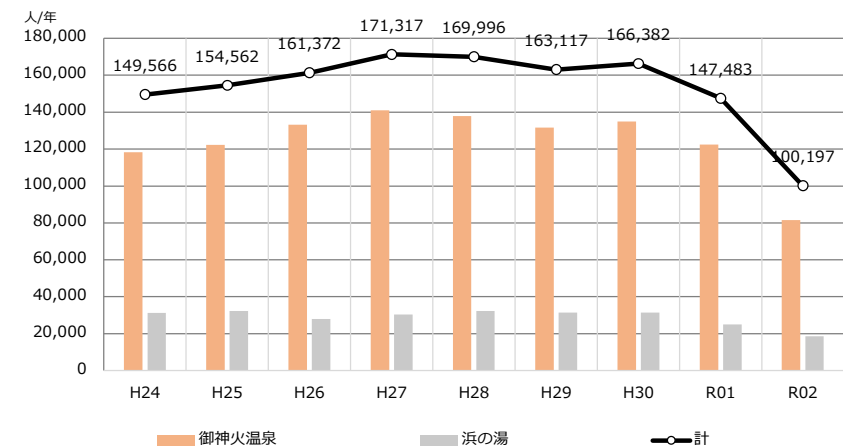
観光施設等入場者数



	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02
火山博物館	12,909	10,488	12,593	13,037	14,172	14,349	14,569	12,996	4,481
ばれ・らめーる	3,111	1,984	2,228	2,652	2,536	2,758	2,823	2,976	946
郷土資料館	2,639	2,837	3,368	3,796	4,635	3,114	2,494	3,088	725
弘法浜・サンセットプール					9,295	10,075	8,893	10,298	5,309
計	18,659	15,309	18,189	19,485	30,638	30,296	28,779	29,358	11,461

資料)大島町町勢要覧資料編

温泉施設入館者数



	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02
御神火温泉	118,233	122,218	133,319	140,993	137,821	131,691	134,904	122,500	81,624
浜の湯	31,333	32,344	28,053	30,324	32,175	31,426	31,478	24,983	18,573
計	149,566	154,562	161,372	171,317	169,996	163,117	166,382	147,483	100,197

資料)大島町町勢要覧資料編

3. 大島町の現状と課題

3-1. 地域の概況

(4) 自動車の保有状況

自家用車は、1世帯あたり約1台程度の台数となっている。

自動車の種類	台数
乗用車	1,005台
軽自動車	3,113台
合計	4,118台

※自家用車 = 普通車(自家用) + 小型車(自家用)

大島の世帯数は4,421世帯(R3.4)



$$4,118 \div 4,421 = 0.93 \text{ 台/世帯}$$



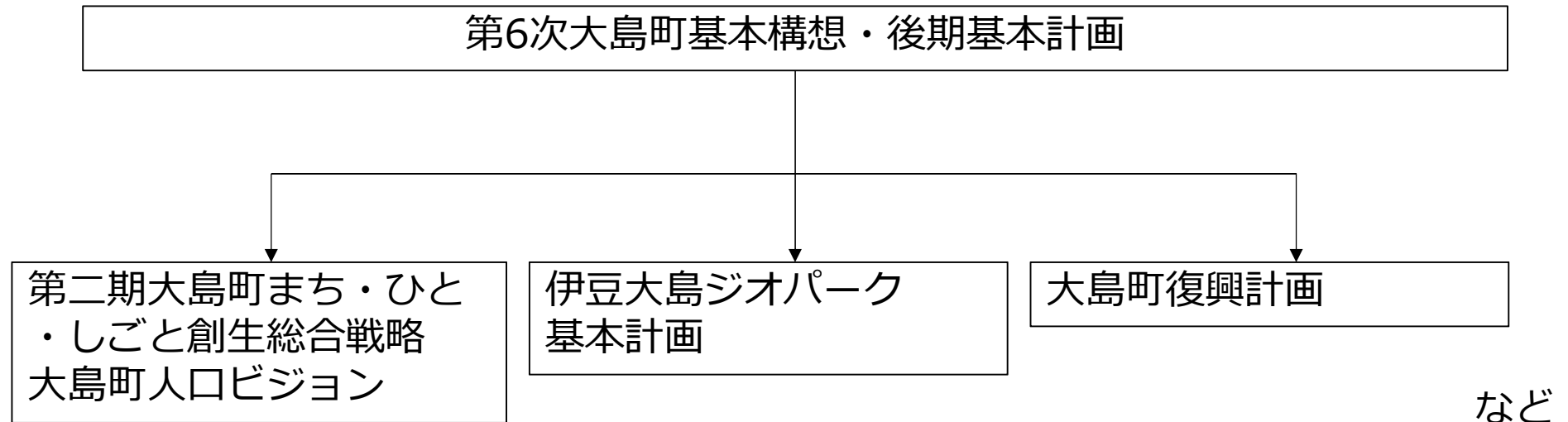
ほぼ全ての世帯に自家用車がある

区分			大島町
乗 用 車	普通車	自家用	193
		営業用	10
	小型車	自家用	812
		営業用	4
	計	自家用	1005
		営業用	14
ト ラ ッ ク	貨客車	自家用	122
		営業用	0
	トラック	自家用	309
		営業用	64
	計	自家用	431
		営業用	64
バ ス	一般乗合	自家用	0
		営業用	14
	その他	自家用	21
		営業用	5
	計	自家用	21
		営業用	19
特殊用途車		自家用	156
		営業用	25
電気自動車		自家用	7
		営業用	0
合計		自家用	1620
		営業用	122
総計			1742

資料: 東京都大島支庁管内概要 令和3年版

3. 大島町の現状と課題

3-2. 上位計画、関連計画



(1) 第6次大島町総合計画基本構想(平成28年度～令和5年度)

まちの将来像	「笑顔あふれる、誰もがくらしたいくなる島」
施策の方針	1 自然と調和・共生したまちづくり -町の基盤づくり- 2 安全・安心でやすらぎのあるまちづくり -地域環境づくり- 3 健康でやさしさあふれるまちづくり -福祉の充実、健康づくり- 4 豊かな人間性を育むまちづくり -教育・文化の向上とふるさとづくり- 5 時代に合った地域性を活かしたまちづくり -活力ある産業づくり- 6 安心と笑顔あふれる美しいまちづくり -復興のまちづくり- 7 まちづくり推進のために -住民とともに歩む-

3. 大島町の現状と課題

3-2. 上位計画、関連計画

(2) 第6次大島町総合計画後期基本計画(令和2年度～令和5年度)

まちづくりの方向性	- 元気で住みやすい快適なまちづくり、自然と人々が調和し、仲良く共生する大島らしい環境づくりを推進 - 安全・安心で豊かに誰もが住み心地のよい快適な環境の整備 - 誰もが生きがいを持ち安心して暮らせるよう健康でやさしさあふれるまちづくりを推進 - Uターン・Iターンなどができる環境整備を充実し、農業、漁業における人材を確保し、若者が定着する活力ある産業の振興 等
町内の交通に関する施策	1 自然と調和・共生したまちづくり -町の基盤づくり- 「第2 交通運輸」 (1) バス路線の確保・充実 (2) 交通体系の構築 等 ・時代のニーズに合ったバス運行の推進や新規路線の確保、現状ダイヤの改善 ・きめ細かな交通体系の確立 等 2 安全・安心でやすらぎのあるまちづくり -地域環境づくり- 「第7 安全・安心」 (1) 交通安全対策の強化 等 ・過密化する車社会へ対応する交通安全対策 等 5 時代に合った地域性を活かしたまちづくり -活力ある産業づくり- 「第5 観光」 (3) 観光名所等の整備促進 等 ・ハイキングの推進とルートの維持管理 ・サイクリスト受入れ態勢の整備 等

3. 大島町の現状と課題

3-2. 上位計画、関連計画

(3) 第二期大島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 大島町人口ビジョン (令和3年度～令和6年度)

まちづくりの方向性	・ しごとをつくり、安心して働ける島・大島 ・ 訪れても住んでも健やかに過ごせる島・大島 ・ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる島・大島 ・ 住み続けられるまち、安全・安心な暮らしを守る島・大島
町内の交通に関する施策	基本目標2 訪れても住んでも健やかに過ごせる島・大島 1. 地域資源を活用した観光振興 (1) 総合的な観光施策の推進 (3) 伊豆大島ジオパーク推進事業 等 ・ 観光客受け入れインフラの整備 ・ 地域資源を巡れる環境の整備 等 基本目標4 住み続けられるまち、安全・安心な暮らしを守る島・大島 1. 島内交通ネットワークの形成 (1) 島内交通手段確保事業の推進 等 ・ 大島旅客自動車の経営安定化事業 ・ 町内交通手段確保事業の効率化 等

3. 大島町の現状と課題

3-2. 上位計画、関連計画

(4) 伊豆大島ジオパーク基本計画(令和2年度～令和12年度)

ジオパークの方向性	- 地球の活動を自然の摂理として正しく理解し、地球上の生き物とともに安全で平和に生きる人を育みます - 人と想いをつなげ、協働で活気ある島の未来をつくれます
町内の交通に関する施策	(4)伊豆大島の「魅力」を活用しやすい環境を整備します (4)-1. 拠点施設の整備 (4)-2 来訪者への情報提供の拡充 (4)-3 解説看板・案内板等の整備 (4)-4 休養・公共施設、交通アクセス等の整備 ・拠点施設の整備・管理、展示物の制作 ・総合ガイドブックの作成 ・看板整備計画の作成・更新、総合案内板・誘導標識の作成 ・交通アクセスの向上検討・実施 等

(5) 大島町復興計画(平成26年度～令和5年度)

まちづくりの方向性	- 被災者生活再建支援 - 域基盤・インフラの復旧 - 産業・観光復興支援 - 防災まちづくりの強化
町内の交通に関する施策	復興の柱3産業・観光復興支援 観光振興の推進 ・岡田港周辺の環境づくり 等

3. 大島町の現状と課題

3-3. 公共交通の現状

(1) 公共交通網

交通モード		事業者数	事業者	車両数
運輸 (緑ナンバー)	路線バス・定期 観光バス	1事業者	大島旅客自動車(株)	13台
	貸切バス	1事業者	大島旅客自動車(株)	5台
	タクシー	6事業者	・三原観光自動車 ・宮本交通 ・あいタクシー ・長岡交通 ・花交通タクシー ・大島観光自動車株式会社	13台
レンタル	レンタカー	5事業者	・トヨタレンタカー ・モービルレンタカー ・伊豆大島レンタカー ・元町レンタカー ・戸井商店	146台
	レンタサイクル	4事業者	・らんぶるレンタサイクル ・みよし土産品店 ・戸井商店 ・Volcanic Island	222台
	レンタルバイク	2事業者	・らんぶるレンタサイクル ・南耕苑	27台
施設送迎	病院送迎	1施設		
	介護施設送迎	4施設		-
	スクールバス	小学校3校 中学校1校 高等学校1校		-
	宿泊施設送迎	6施設※		-

※旅行代理店WEBサイトによる、送迎情報を公表していない事例もあり

3. 大島町の現状と課題

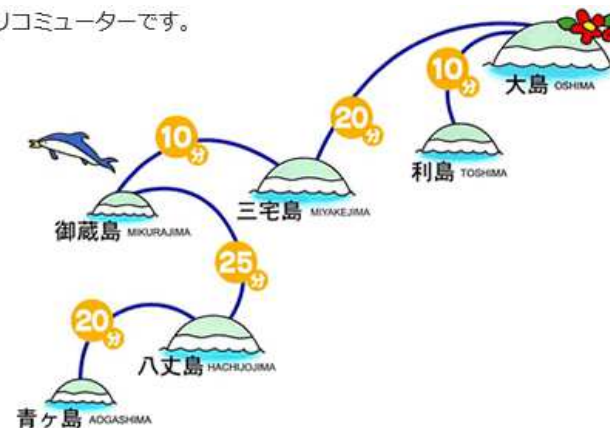
3-3. 公共交通の現状

(1) 公共交通網

交通モード		運行便数	事業者
高速ジェット船	東京・竹芝-大島- (利島等)	閑散期：往復計4便 繁忙期：往復計8便	東海汽船
	熱海・伊東-大島	閑散期：往復計4便 繁忙期：往復計4便	
大型客船	東京・竹芝-大島- (利島等)	往復：往復計2便	新中央航空
旅客機	調布-大島	往復計4便	
ヘリ	大島-三宅島	往復計2便	東邦航空
	大島-利島	往復計2便	

東京愛ランドシャトルは東京の島々を結ぶヘリコプターです。
毎日運航しております。

- 八丈島 ⇄ 青ヶ島 20分
- 八丈島 ⇄ 御蔵島 25分
- 御蔵島 ⇄ 三宅島 10分
- 大 島 ⇄ 三宅島 20分
- 大 島 ⇄ 利 島 10分



資料)東方航空HP



資料)大島町町勢要覧

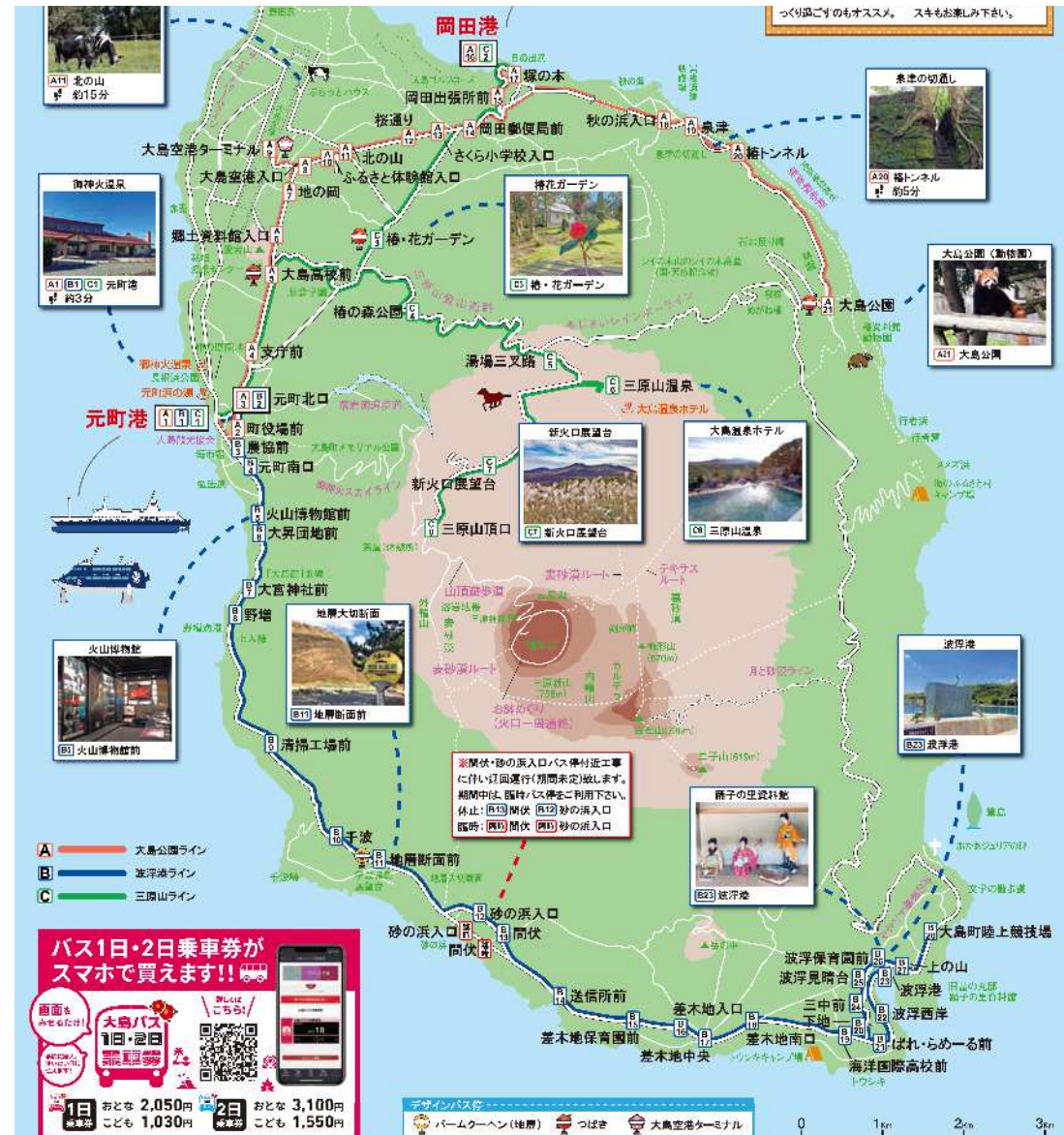
3. 大島町の現状と課題

3-3. 公共交通の現状

(2) 路線バスの運行サービス内容

日常生活や観光移動に対応した路線として、**大島公園ライン**・**波浮港ライン**を運行している。

その他に観光需要に特化した**三原山ライン**の運行や季節需要に対応した臨時路線を運行している。



3. 大島町の現状と課題

3-3. 公共交通の現状

(2) 路線バスの運行サービス内容

大島公園ライン・波浮港ラインはおおむね1時間に1本の頻度で運行している。

始発は7～8時台、終発は18時台である、

三原山への運行便は港から山頂までの往路便は午前中のみの運行となっている。復路便は高速ジェット船・大型客船の出帆に接続するような運行となっている。

各路線には毎日、定時に運行する運行ダイヤと出帆港に応じてダイヤが変則となる便がある。

路線	運行本数(往復計)					
	閑散期(10～1月)			繁忙期(2～6月、7～9月)		
	9時台まで	10～16時台	17時台以降	9時台まで	10～16時台	17時台以降
大島公園ライン	4便	12便	2便	4便	12便	2便
波浮港ライン	5便	12便	2便	5便	11便	3便
三原山ライン	2便	2便	-	2便	5便	-

■元町港→岡田港・大島公園 行

元町港～岡田港 おとな370円
元町港～大島公園 おとな570円

便	① 元町港 発	⑥ 郷土資料館 入口	⑨ 大島空港 ターミナル	⑩ ふるさと 体験館入口	⑭ 岡田 郵便局前	⑯ 岡田港	⑳ 樺 トンネル	㉑ 大島 公園着	運行日 (R4.10/1～R5.2/3)
1	8:00	8:06	-	8:09	8:12	8:17	8:26	8:30	毎 日
2	9:00	9:06	-	9:09	9:12	9:17	9:26	9:30	元町港出帆の日
	9:40	9:46	-	9:49	9:52	9:57	10:06	10:10	岡田港出帆の日
3	10:20	10:26	-	10:29	10:32	10:37	10:46	10:50	平日で岡田港出帆の日 ※
						10:50	10:59	11:03	土休日で岡田港出帆の日 ※
	10:40	10:46	10:50	10:53	10:56	11:01	11:10	11:14	平日で元町港出帆の日 ※
	11:00	11:06	11:10	11:13	11:16	11:21	11:30	11:34	土休日で元町港出帆の日 ※

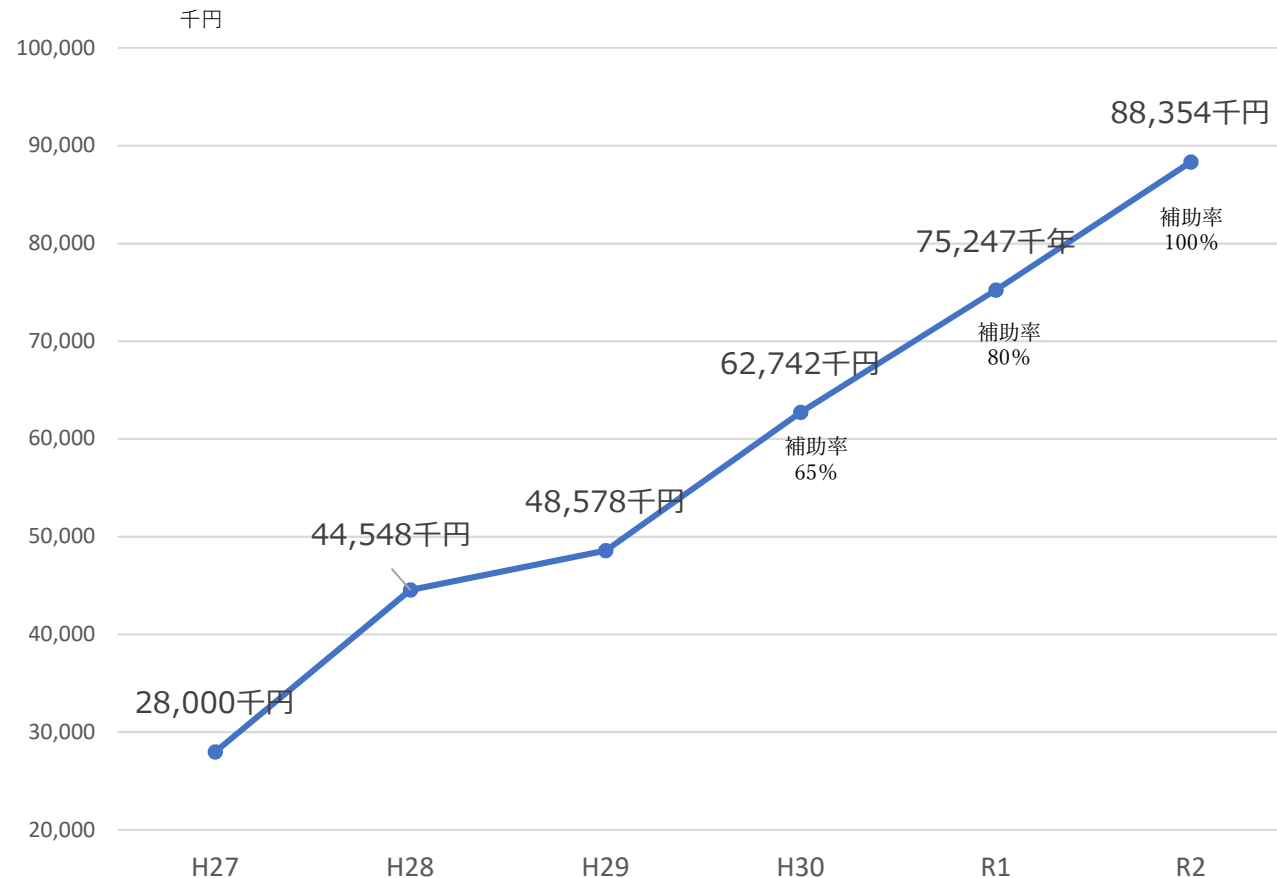
例えば、大島公園ラインの岡田港方面の2便・3便は出帆港によって運行ダイヤが異なる。

3. 大島町の現状と課題

3-3. 公共交通の現状

(2) 路線バスの運行サービス内容

大島旅客自動車（株）への補助額推移



※大島公園ライン、波浮港ラインの2路線について、下記計算式より算出

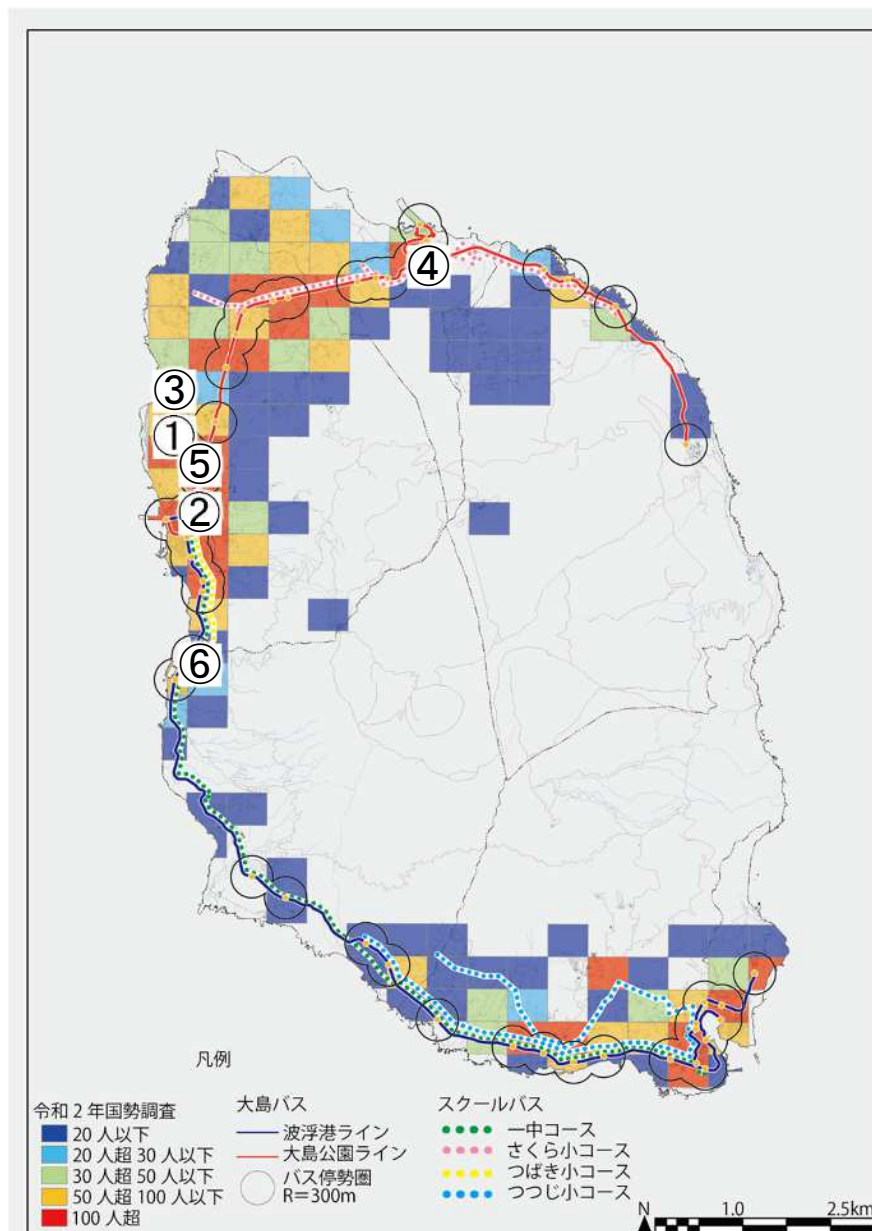
(町補助基準額) = (年間実績経費) - (対象経費収入額)

※補助額については、町補助基準額に年ごとに協議で決定した補助率を乗じて算出

3. 大島町の現状と課題

3-3. 公共交通の現状

(3) タクシー



NO	事業者名	台数
1	大島観光自動車	2台
2	あいタクシー	1台
3	長岡交通	1台
4	宮本交通	3台
5	三原観光自動車	4台
6	花交通タクシー	2台
計		13台

3. 大島町の現状と課題

3-3. 公共交通の現状

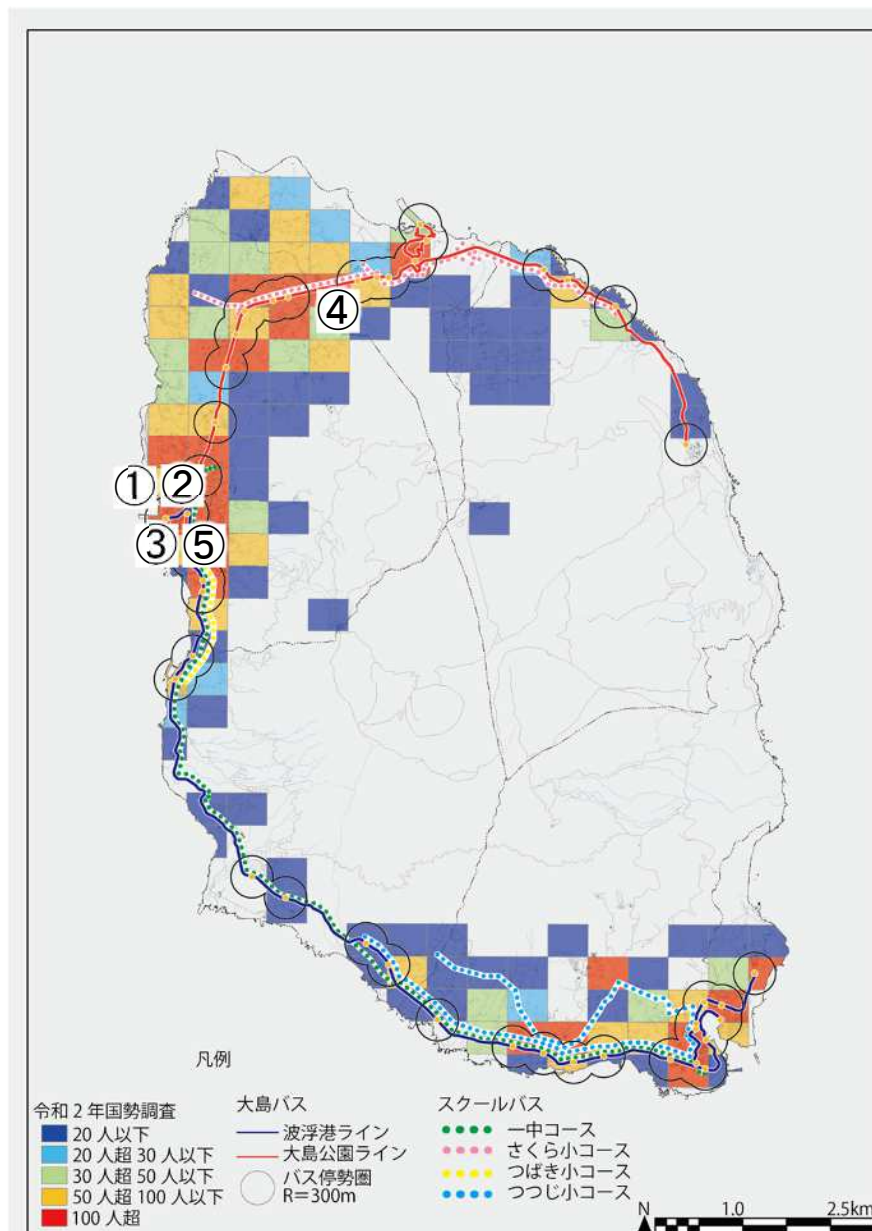
(3) タクシー

分類	ヒアリング結果
タクシーの状況	・ タクシー協会には法人タクシー認可の会社が6社、介護タクシー認可の会社が1社所属 ・ 所属する会社は10年間で少なくとも5社は減少 ・ 10年前は個人タクシーの会社が多かった
住民のタクシー利用の状況	・ 病院や買物に行く際や、島外にある病院に向かう際の港までの移動にタクシーを利用する高齢者が多い ・ 買物利用はスーパーまで行って、買物が終わるまで待つてほしいという希望を出す人が多い ・ 大島町は車社会なので、住民はタクシーが利用できない場合でも、誰かが送迎の手助けをしている
来街者のタクシー利用の状況	・ 来島者のタクシー利用は住民よりも多い ・ 椿祭が開催される2・3月、5月の大型連休、8月に利用者が多くなる ・ 椿祭の際は、高齢者の方が観光貸切タクシーを利用することが多い ・ 8月は海水浴利用が多く、出発地から目的地を結ぶ移動が主 ・ ビジネスでタクシーを利用する人が多い

3. 大島町の現状と課題

3-3. 公共交通の現状

(4) レンタカー



NO	事業者名	台数
1	伊豆大島レンタカー	33台
2	トヨタレンタカー	40台
3	元町レンタカー	30台
4	モービルレンタカー	34台
5	戸井商店	9台
計		146台

3. 大島町の現状と課題

3-3. 公共交通の現状

(4) レンタカー

分類	ヒアリング結果
レンタカーの稼働状況	・ 約40台のレンタカー車両を保有 ※3年ごとに更新 ・ 繁忙期は年末年始・2月後半からの椿祭りシーズン・GW・夏季 ・ 特に夏季は平日・休日問わず、予約ですべて埋まっている ・ 繁忙期は他事業者が日帰り客へのレンタルを実施していない場合もあり、予約が集中傾向
レンタカーの利用者層	・ 夏季以外は平日のビジネス利用が多い ・ 夏季は家族連れや若者利用が多い ・ 高齢者の利用も増加傾向(高齢者の事故も増加)
レンタカーがない場合の移動手段	・ 若者はレンタサイクルやレンタルバイクを利用 ・ 金銭的に余裕ある来島者はタクシーを1日借りる場合もあり
他交通モードとの連携	・ 以前は東海汽船とのセットプランを提供
近年の大島町内の来島者向けの移動手段の状況	・ 以前は日本レンタカー・日産レンタカーの店舗もあったが、オーナーの高齢化により閉鎖(町内の大手事業者がトヨタレンタカーのみ)

3. 大島町の現状と課題

3-3. 公共交通の現状

(5) その他移動サービスの状況

1) 宿泊施設

分類	ヒアリング結果
送迎状況	- 出帆港や空港までの送迎を実施(多くの事業者は迎え中心、送りは実施していない事業者もあり) - 小規模な宿泊施設の場合は、オーナーのホスピタリティで島内を案内する場合もあり(積極的に実施してはいない)
送迎車両	- 小規模な宿泊施設は8人乗りのワゴンなどを利用 - 大規模な宿泊施設はマイクロバスやワゴンなどを複数台利用
宿泊者の移動手段	- レンタカーでの移動が最も多い(格安レンタカーの利用など) - レンタカーを借りられず、困る宿泊者が夏季などには発生
他交通モードとの連携	- 東海汽船と共同で船と宿泊施設のセット商品を販売 - 島内を観光目的で周遊するための移動手段が乏しいことに問題意識(大島来島の意欲や機会の損失)
近年の大島町内の来島者の移動状況	- 以前は観光ツアーでの来島が多かったが、近年は個人で移動するケースが増加 “バームクーヘン”や“裏砂漠”などレンタカー以外では来訪しづらい観光名所が多い - バスの場合、元町港での乗り継ぎがネックとなる

3. 大島町の現状と課題

3-3. 公共交通の現状

(5) その他移動サービスの状況

2) 社会福祉協議会の送迎

分類	ヒアリング結果
送迎状況	・ 受託事業と自主事業での移動支援を実施 ・ 受託事業は医療機関等送迎サービス事業 ・ 自主事業は移送サービスを実施
送迎車両	・ 各サービスでは8人乗りのバンを利用 ・ 利用者の中には8人乗りのバンでも入りづらい細い道路沿いに家がある方もいる
運営状況	・ 各事業で協議会職員が事務窓口を担当 ・ 医療機関等送迎サービス事業や移送サービスは協議会職員(非常勤やパートタイム)が運転手となり送迎 ・ 人手はちょうどよい状況
サービスの方向性	・ 移動手段としてだけでなく、利用者の様子も把握して、必要に応じてかかりつけ医などと情報共有しているため、今後もサービスは継続したいと考えている

3. 大島町の現状と課題

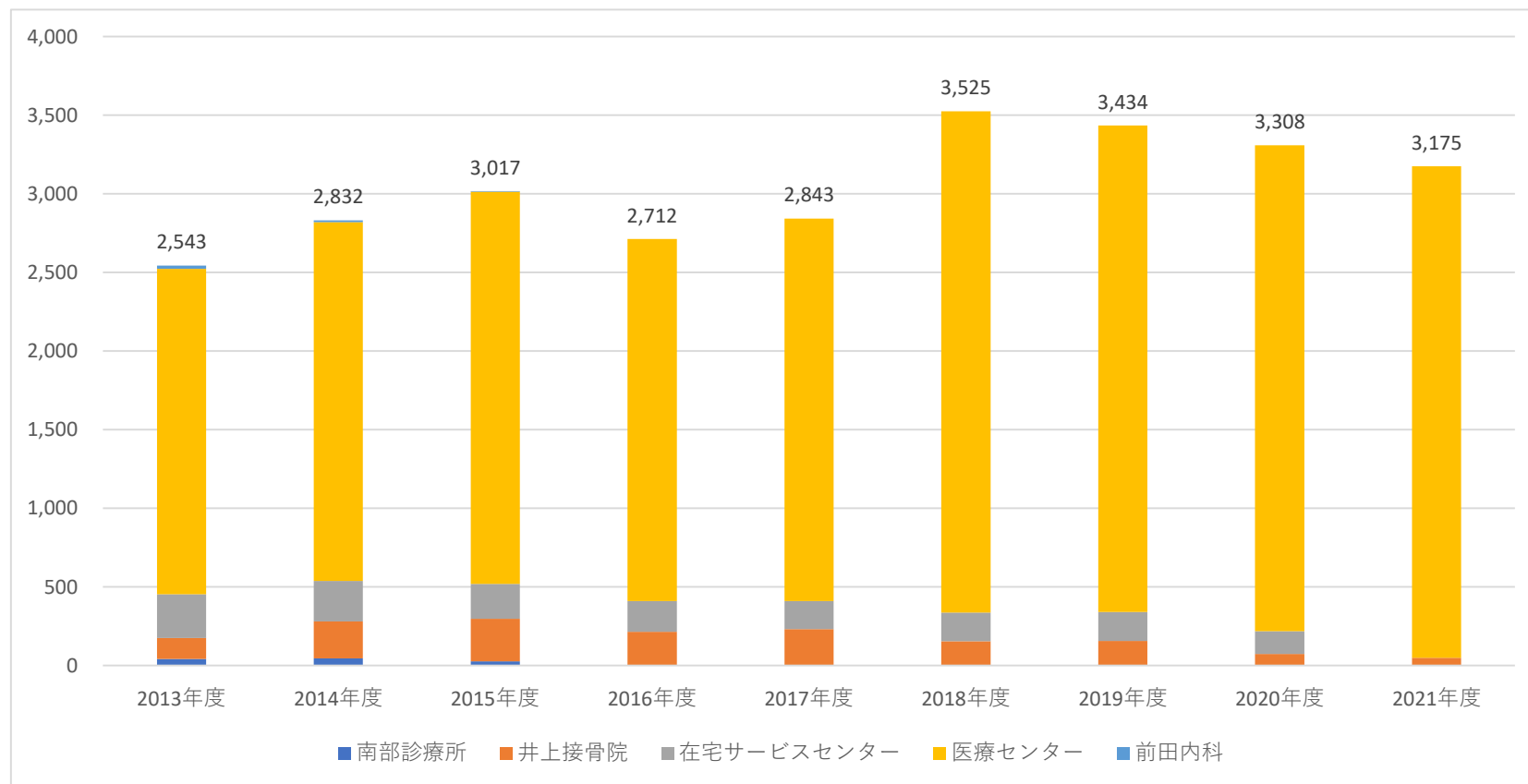
3-3. 公共交通の現状

(5) その他移動サービスの状況

2) 社会福祉協議会の送迎

社会福祉協議会が町の委託で実施している医療機関送迎サービスの利用は減少傾向である。

主な移動先は医療センターである。



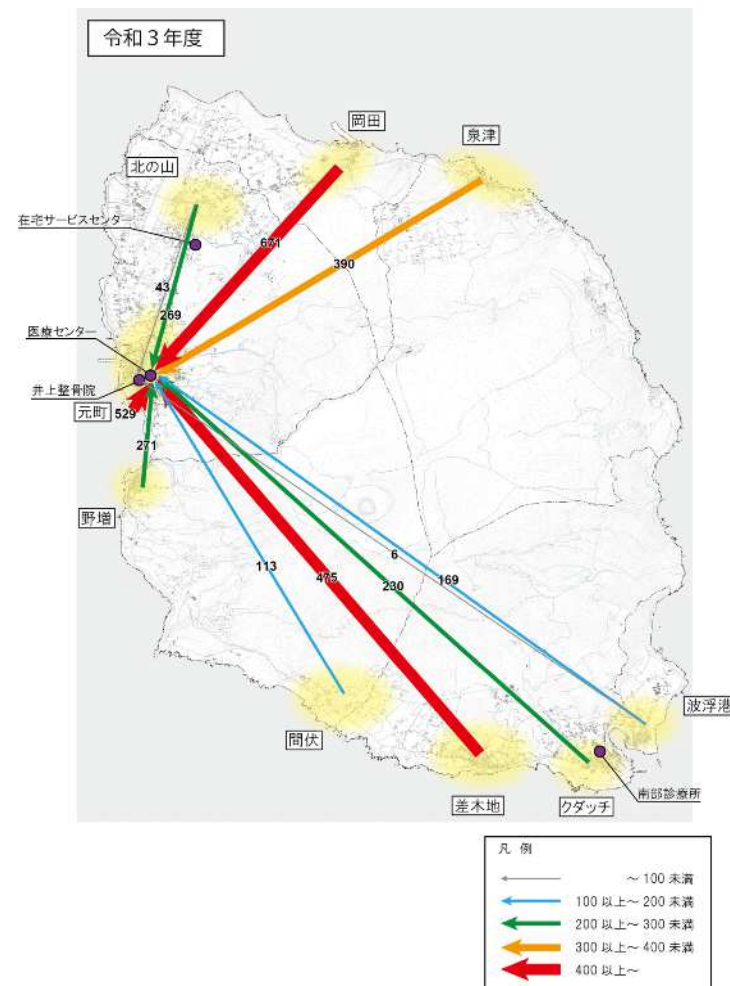
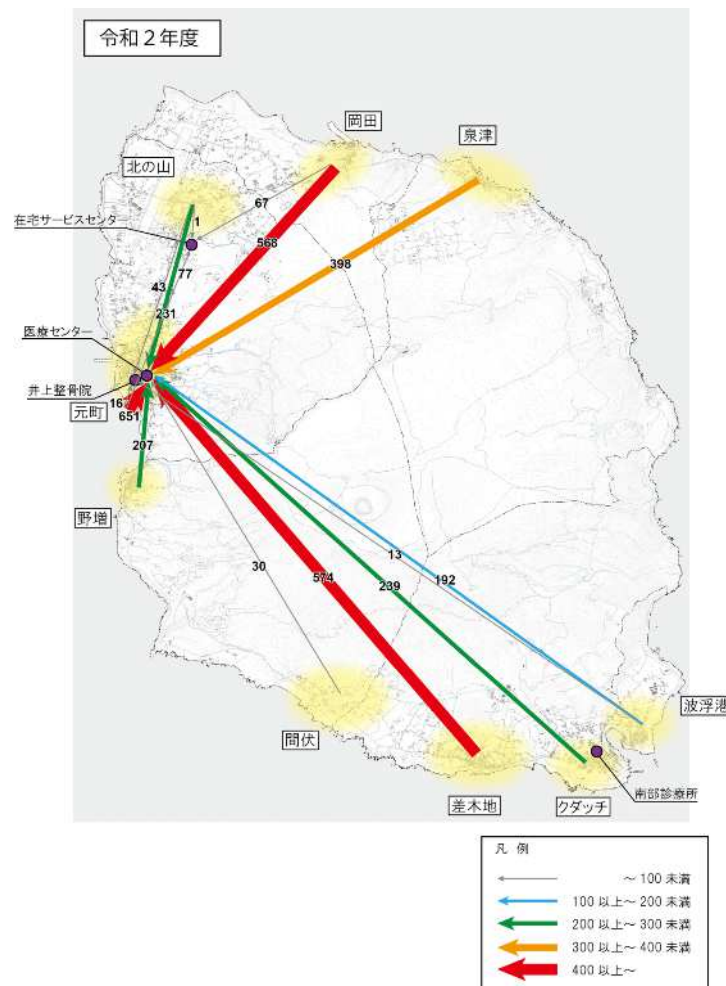
3. 大島町の現状と課題

3-3. 公共交通の現状

(5) その他移動サービスの状況

2) 社会福祉協議会の送迎

医療機関送迎サービスの利用の傾向は経年でも変化はなく、各地区から大島医療センターへの移動が主である。



3. 大島町の現状と課題

3-3. 公共交通の現状

(5) その他移動サービスの状況

3) 観光協会

分類	ヒアリング結果
来街者の移動	・ 来島者の主な移動手段はレンタカー ・ 繁忙期（椿祭、夏休み、ゴールデンウィーク）や3連休では特にレンタカー貸出台数が多くなる。 ・ 椿祭の時期には観光貸切バスが運行、高齢者の利用が多い ・ 公共交通を利用する人には、ビーチに行くのみで他の場所には行かない等、目的地が限定され、周遊しないという傾向 ・ 個人の自転車で移動する人もいる ・ レンタサイクルは秋・春シーズンでの利用が多い
来街者の移動に関する課題	・ レンタカーの予約が取りづらい、バスの時間が合わない、山へ行く方法がないという声上がる事が多い ・ 島内での移動では高低差が大きい為、レンタルサイクルは電動自転車を利用しないと移動が大変である ・ 持ち込んだロードバイクをバスに載せることはできないかという来島者の声もある。
今後の取組みに関する問題意識	・ 閑散期である秋・春の観光客を増やして、底上げ ・ スポーツ等のイベントで年1回来島する人がほとんどであり、イベント時以外で観光客を増やすことが課題

3. 大島町の現状と課題

3-3. 公共交通の現状

(5) その他移動サービスの状況

4) スクールバス

さくら小コース①は北の山の空港付近のエリアとさくら小学校を結ぶルートである。

登校時の利用者数は計8人、下校時の利用者数は計29人である。

所管課へのヒアリングにより、登校時は親等に自家用車で送ってもらい、下校時のみスクールバスを利用している場合があることが分かっている。

さくら小コース①	登校時
北の山分団消防車庫	7:30
北の山出張所	7:37
さくら小学校	7:45

車両のサイズ：29人乗り

車庫：つばき小学校駐車場



※下校時は下校指示に合わせて、2便を運行

3. 大島町の現状と課題

3-3. 公共交通の現状

(5) その他移動サービスの状況

4) スクールバス

さくら小コース②は北の山の大島一周道路沿いのエリアとさくら小学校を結ぶルートである。

登校時の利用者数は計22人である。

授業終了後は小学校徒歩圏内で放課後学童があるため、下校便は設定されていない。

さくら小コース②	登校時
北の山木村商店前	7:40
北の山バス停	7:43
さくら小学校	7:46

車両のサイズ：29人乗り

車庫：つばき小学校駐車場

登校：計22人



※下校時は小学校徒歩圏内の放課後学童があるため、下校便の設定なし

3. 大島町の現状と課題

3-3. 公共交通の現状

(5) その他移動サービスの状況

4) スクールバス

さくら小コース③は泉津方面とさくら小学校を結ぶルートである。

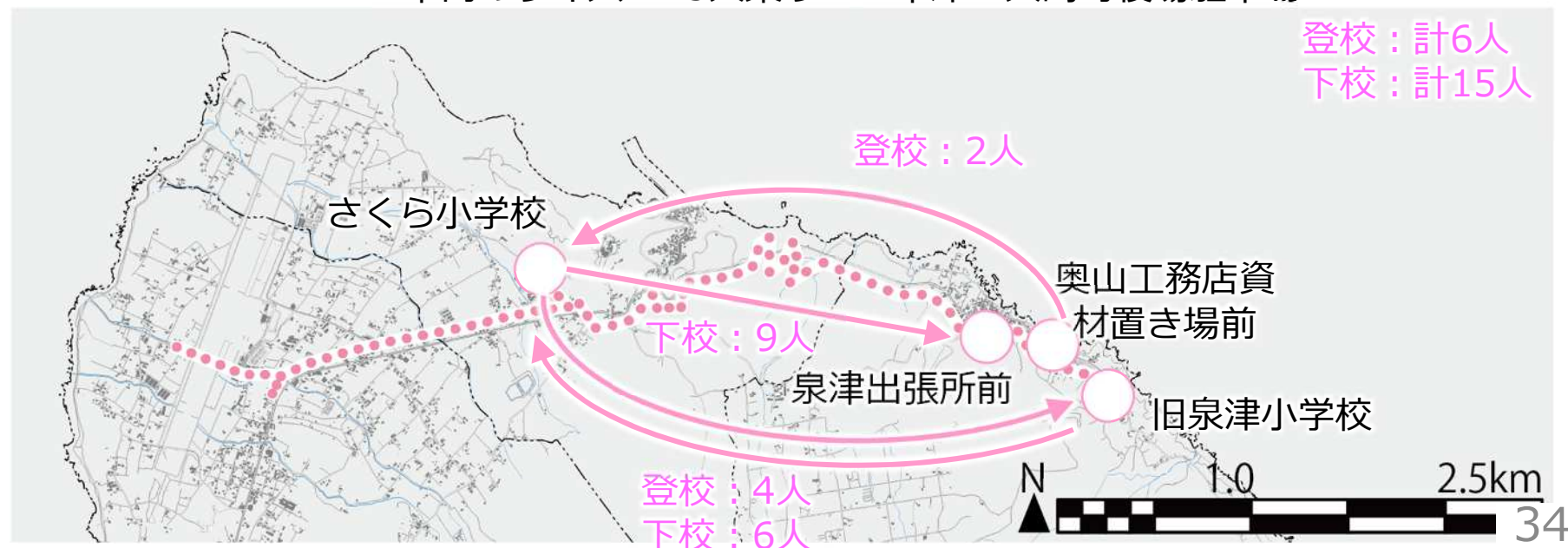
登校時の利用者数は計6人、下校時の利用者数は計15人である。

所管課へのヒアリングにより、登校時は親等に自家用車で送ってもらい、下校時のみスクールバスを利用している場合があることが分かっている。

さくら小コース③	登校時	さくら小コース③	下校時1	下校時2
旧泉津小学校	7:40	さくら小学校	14:40	15:30
奥山工務店資材置場前	7:43	泉津出張所前	14:50	15:40
さくら小学校	7:46	旧泉津小学校	14:55	15:45

車両のサイズ：15人乗り

車庫：大島町役場駐車場



3. 大島町の現状と課題

3-3. 公共交通の現状

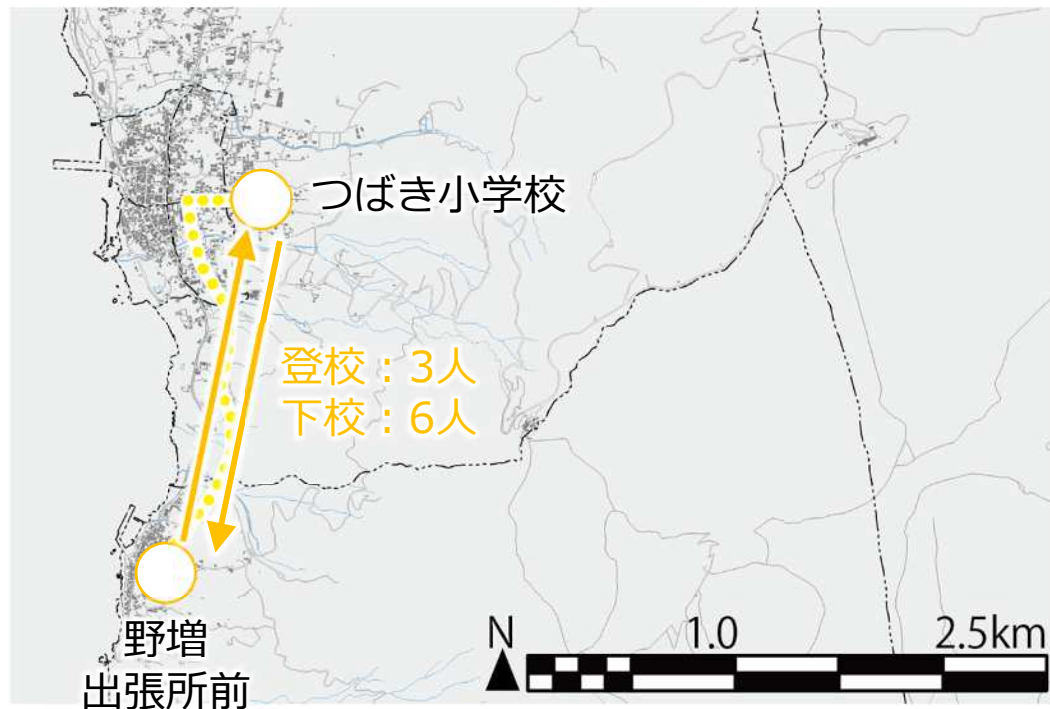
(5) その他移動サービスの状況

4) スクールバス

つばき小コースは野増方面とつばき小学校を結ぶルートである。

登校時の利用者数は計3人、下校時の利用者数は計6人である。

所管課へのヒアリングにより、登校時は親等に自家用車で送ってもらい、下校時のみスクールバスを利用している場合があることが分かっている。



つばき小コース	登校時
野増出張所前	7 : 35
つばき小学校	7 : 40

つばき小コース	下校時1	下校時2
つばき小学校	14 : 25	15 : 15
野増出張所前	14 : 30	15 : 20

車両のサイズ : 15人乗り

車庫 : 大島町役場駐車場

3. 大島町の現状と課題

3-3. 公共交通の現状

(5) その他移動サービスの状況

4) スクールバス

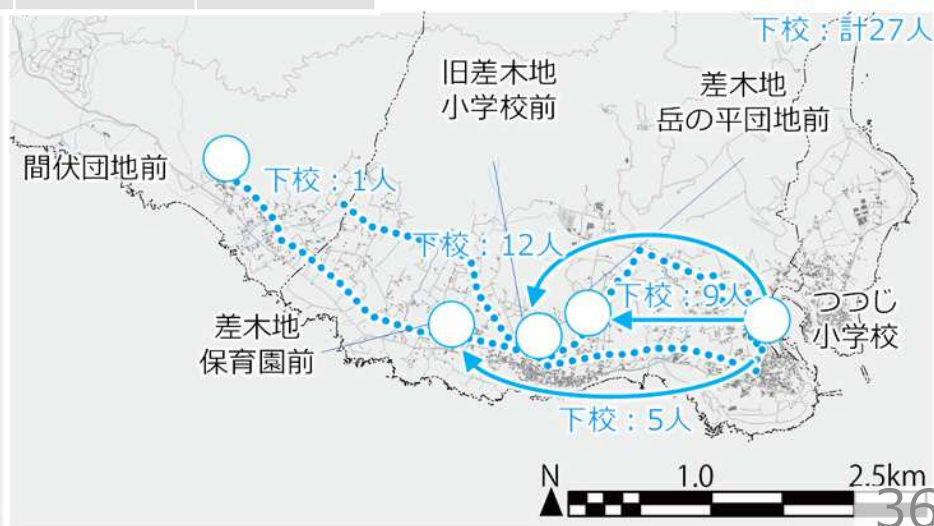
つつじ小コース①は間伏・差木地方面とつつじ小学校を結ぶルートである。

登校時の利用者数は計7人、下校時の利用者数は計27人である。下校時には学童を実施している旧差木地小学校を経由するルートとなっている。

所管課へのヒアリングにより、登校時は親等に自家用車で送ってもらい、下校時のみスクールバスを利用している場合があることが分かっている。

つつじ小コース①	登校時	つつじ小コース①	下校時1	下校時2
間伏消防前	7:30	つつじ小学校	14:20	15:10
差木地保育園前	7:35	差木地岳の平団地前	14:27	15:17
差木地入口バス停	7:36	旧差木地小学校前	14:30	15:20
差木地中央バス停	7:37	差木地保育園前	14:35	15:25
差木地南口バス停	7:38	間伏団地前	14:40	15:30
つつじ小学校	7:43			

車両のサイズ：29人乗り
車庫：つばき小学校駐車場



3. 大島町の現状と課題

3-3. 公共交通の現状

(5) その他移動サービスの状況

4) スクールバス

つつじ小コース②は間伏・差木地方面の北側とつつじ小学校を結ぶルートである。

登校時の利用者数は計1人である。下校時には、学校の下校指示の時間に合わせて運行している。

つつじ小コース②	登校時
ドコモアンテナ前※	7:30
山田宅前	7:32
差木地岳の平団地前※	7:38
林道交差点前※	7:40
つつじ小学校	7:45

車両のサイズ：14人乗り

車庫：大島町役場駐車場

※ドコモアンテナ前、差木地岳の平団地前、林道交差点前は乗降なし

※下校時のダイヤは下校指示に応じて設定



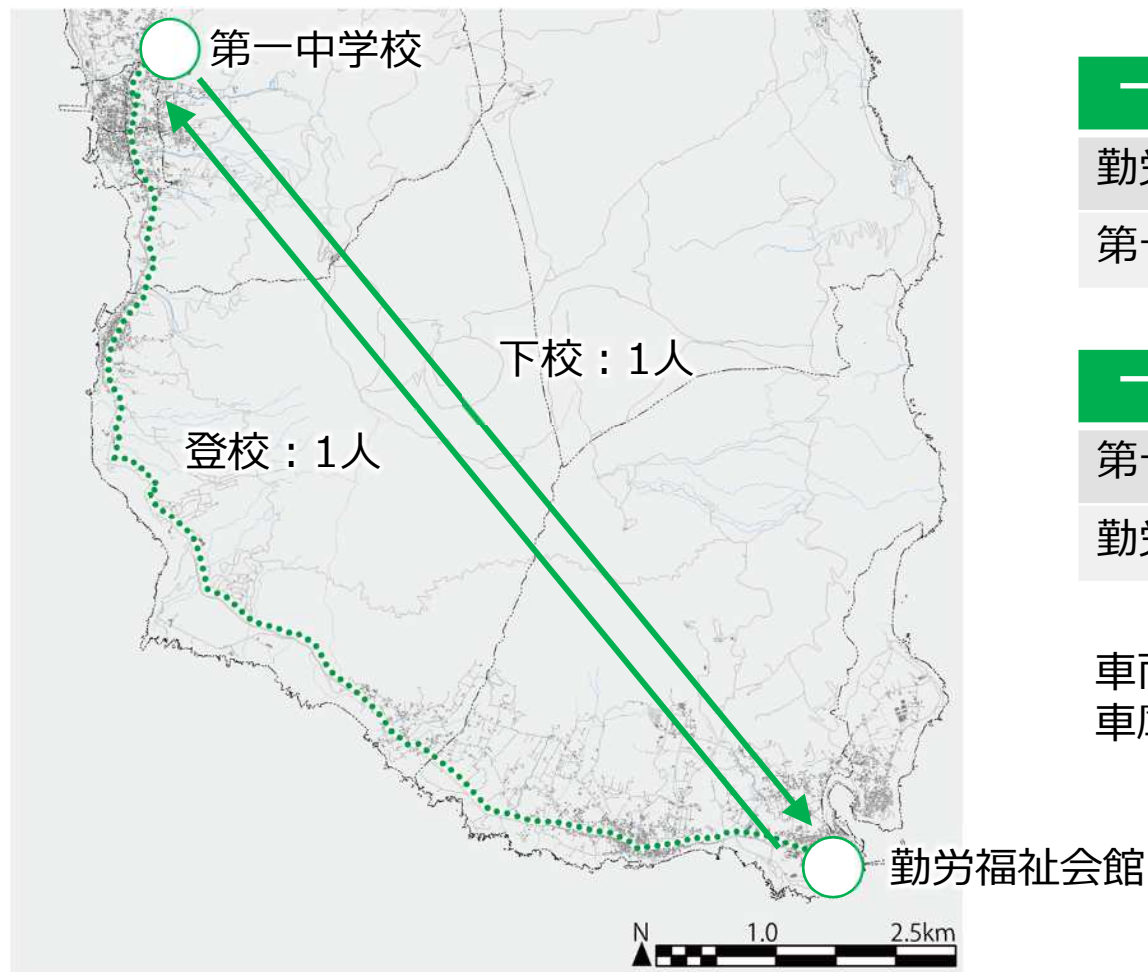
3. 大島町の現状と課題

3-3. 公共交通の現状

(5) その他移動サービスの状況

4) スクールバス

一中コースは差木地方面と第一中学校を結ぶルートである。
登校時の利用者数は計1人、下校時の利用者数は計1人である。



一中コース	登校時
勤労福祉会館	7 : 30
第一中学校	7 : 57

一中コース	下校時
第一中学校	15 : 35
勤労福祉会館	16 : 03

車両のサイズ：14人乗り
車庫：大島町役場駐車場

3. 大島町の現状と課題

3-3. 公共交通の現状

(5) その他移動サービスの状況

5) その他輸送サービス

所管課	事業名	金額	受託業者	施策内容
福祉けんこう課	多目的移送事業	3,917,402円	(一社) タクシー協会	人工透析患者や黒潮作業所に通う障害者を対象に、医療機関や施設の送迎を行っている。 運航日 毎週月・水・金 年間運行日数 157日(透析通院4名・黒潮作業所8名)
	患者輸送事業	2,963,814円	(医) 藤清会 (福) 大島社会福祉協議会	寝たきり等、自力で乗り降り等移動することが困難な方を対象に輸送を行っている。 藤清会 30件、大島社会福祉協議会 431件
	医療機関等送迎サービス事業	9,924,000円	(福) 大島社会福祉協議会	おおむね65歳以上の高齢者で交通の便などで通院に困難が伴う方を対象に医療機関等に送迎している。 利用人数 3,308人
住民課	地域支え合い事業 外出支援サービス事業	5,064,340円	(福) 大島社会福祉協議会 (住民課事業)	65歳以上の方が対象(なごみの家に登録必要)で、介護予防施策や自立した生活確保のため、外出支援として週一回決まった日に買い物等の送迎を行っている。 利用人数 683人
	高齢者地域サロン事業	5,247,863円	なごみの家 (福) 大島社会福祉協議会 みつばち (同) ライフサポート (住民課事業)	65歳以上の方が対象で、地域におけるサロン(寄り合い場)では、ものづくりや運動などの介護予防教室を行っており、会場までの送迎を行っている。また、みつばちは週一回決まった日に買い物困難者の対応もしている。 利用人数 なごみの家1,110人 みつばち1,060人 委託金額 なごみの家 2,992,863円 みつばち2,255,000円
	医療機関送迎サービス	10,800,000円	(福) 大島社会福祉協議会 (住民課事業)	送迎用車両により居宅と病院等との間を送迎する。また、その他町長が特に必要と認める送迎を行う。 大島町に住所を有するおおむね65歳以上の一般交通機関の利用が困難な病院等通院高齢者で、かつ別に定めた事項に該当する者 利用者数 H30 3,523人 H31 3,434人 R2 3,308人
教育文化課	通学バス運行管理費	22,053,542円	(一社) タクシー協会	遠距離通学となる小学生を対象とした通学バスの運行 バス保有台数 28人乗り4台、14人乗り4台 運行日数 つばき小学校192日、さくら小学校191日、つつじ小学校201日、その他(臨時便) 61日
	遠距離通学費の支給	105,300円		遠距離通学となる者を対象に通学費としてバスの回数券を支給 椿トンネル～さくら小学校入口 1名4回 泉津～さくら小学校入口 3名5回 間伏～三中前 2名5回
	計	60,076,261円		

3. 大島町の現状と課題

3-3. 公共交通の現状

(6) 人口カバー率

各地区は路線バスによって、幹となるネットワークが形成されている。

- ・ バス停300m圏の居住人口は約3,100人
- ・ バスでのカバー率は人口の半分未満

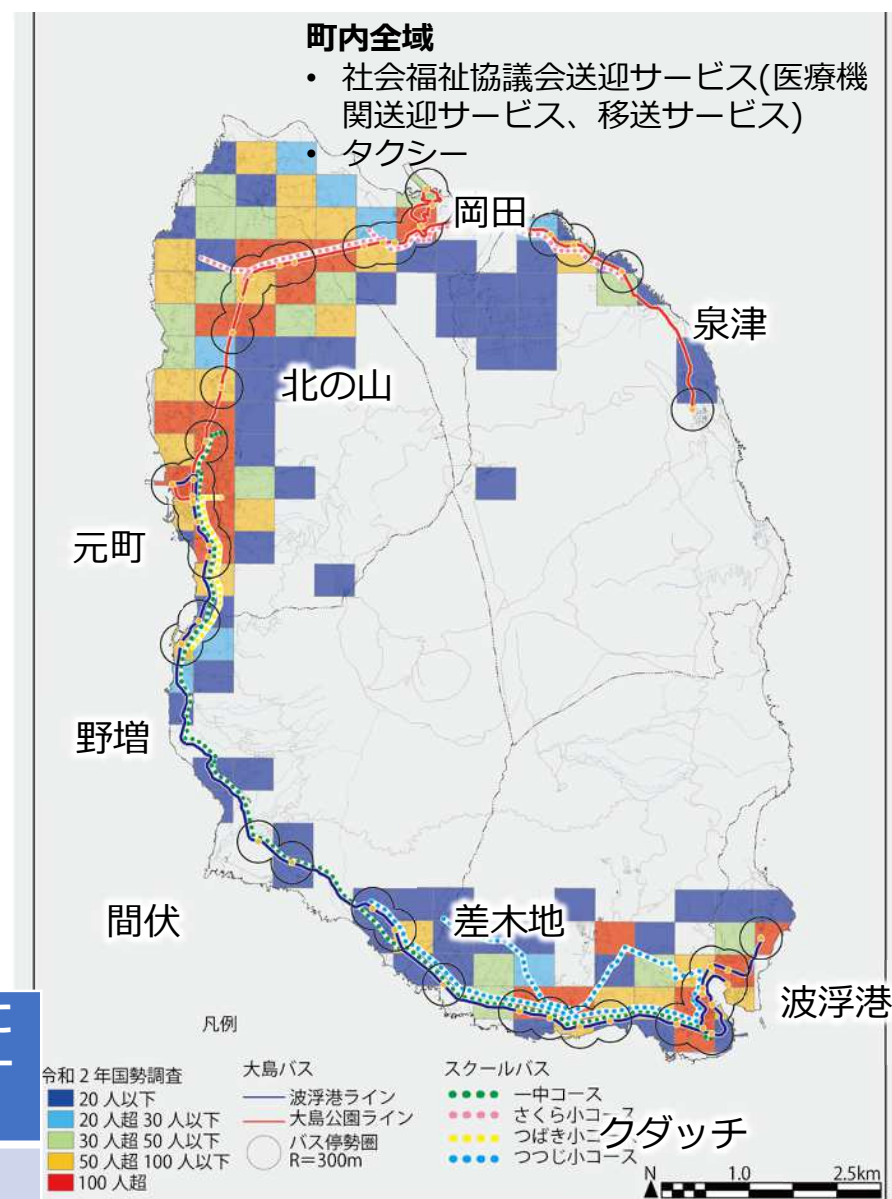
路線バスでカバーされていないエリアについても、タクシーやその他の複数のサービスで移動をカバーしている。

【その他のサービス】※路線等の重複あり

- ・ スクールバス
- ・ 社会福祉協議会送迎サービス

総人口 (令和2年国勢調査)	路線バスによる カバー人口 (バス停300m圏域)	路線バスによるカバー 率
7,327人	3,060人	41.7%

※バス停は観光利用が主である三原山ラインを除く



3. 大島町の現状と課題

3-4. 町民の移動実態

(1) アンケートの概要

- ・ 町民の移動実態把握のためにアンケート調査を実施

実施期間：11月14日（月）～ 12月4日（日）

調査目的：日常の外出状況

地域公共交通の利用状況・ニーズ

運転免許の保有状況や自動車の利用状況 などの把握

対 象 者：①大島町に住民登録されている15歳以上の方から無作為に
抽出された 約1,000世帯

②町役場の職員及び家族

備 考：調査票を郵送配布、回答は紙調査票とWEB調査票を準備
紙調査票は1世帯あたり2通配布

3. 大島町の現状と課題

3-4. 町民の移動実態

(1) アンケートの概要

分類	内容
移動の目的地	- 各目的で元町への移動の割合が高く、元町が様々な目的での中心地となっている。 - 買い物では、元町・北の山への移動の占める割合が高い。南部では、クダッチにも移動需要がみられる。
移動手段	- 自家用車(自分で運転)の占める割合が8割以上となっている。 - 通学や買い物、通院でバス・タクシーの利用がみられる
路線バスの利用頻度	- ほとんど利用したことがない住民が約8割を占める。 - 各地区で僅かだが週数回・月数回の利用がみられる。
路線バスの利用理由	主な利用理由は自動車の運転などほかの方法で移動できないこととなっている。
路線バス利用の困りごと	- 特に昼間の運行本数の少なさが困りごととして挙げられている。 - 運賃の高さやキャッシュレス未対応も挙げられている。
高齢者の移動の不安	各地区で共通して、自動車を運転できなくなった際に移動できなくなることが不安として挙げられている。
公共交通以外の移動手段の有無	- 町全体で約4割、地区によっては半数以上が公共交通以外の移動手段がない(家族等に送迎を依頼できない)。 - 公共交通がなくなった場合、買い物や通院で困る住民が発生する。
ニーズ	スマホアプリで呼べるタクシーの取組みニーズが高い

3. 大島町の現状と課題

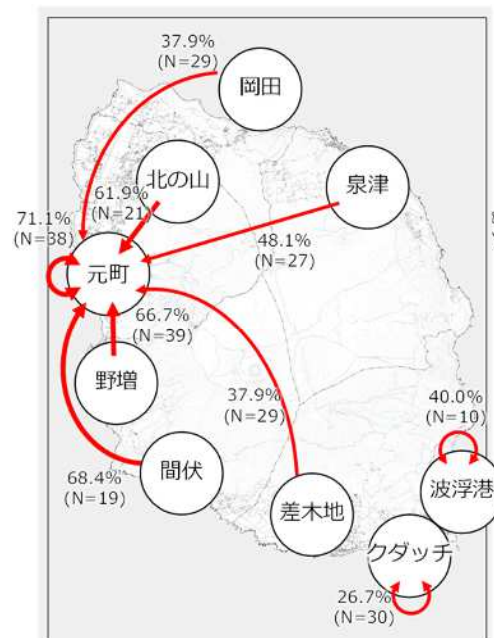
3-4. 町民の移動実態

(2) 地域間交通流動

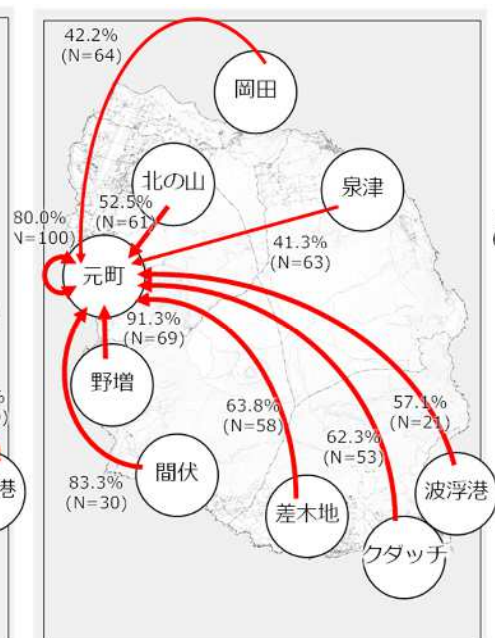
地域間交通流動をみると、通勤、買い物、通院、趣味・娯楽のいずれの目的でも、各地域から元町に流動が集中していることが分かる。

通院については、回答者のほとんどが大島医療センターを通院先としている。

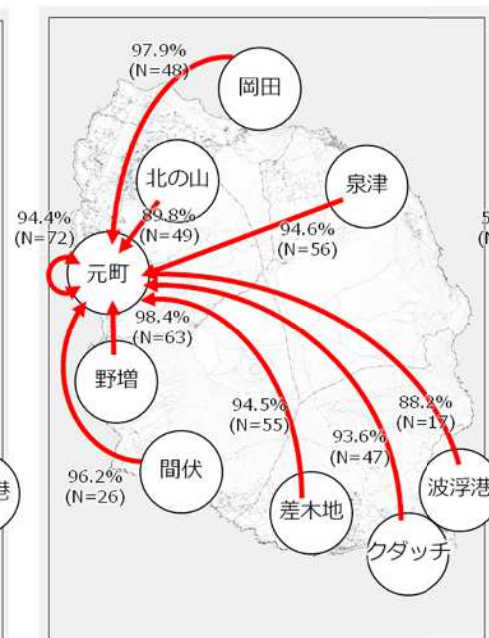
■通勤



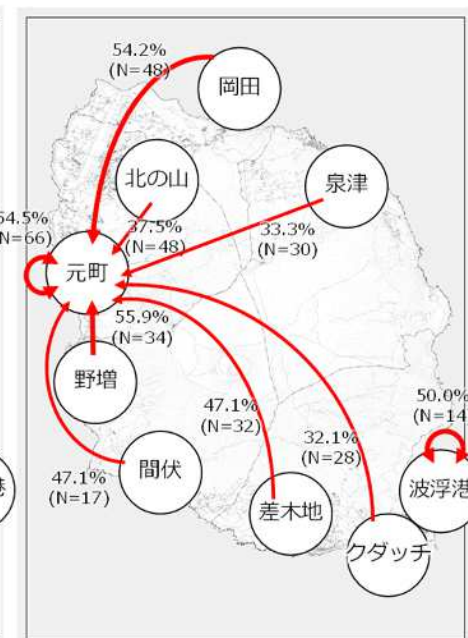
■買い物



■通院



■趣味・娯楽



■主な買い物施設 (N=424、複数回答)

施設名	件数
ショッピングセンターベにや	187
さむかわ食品館	182
大島ストア	127

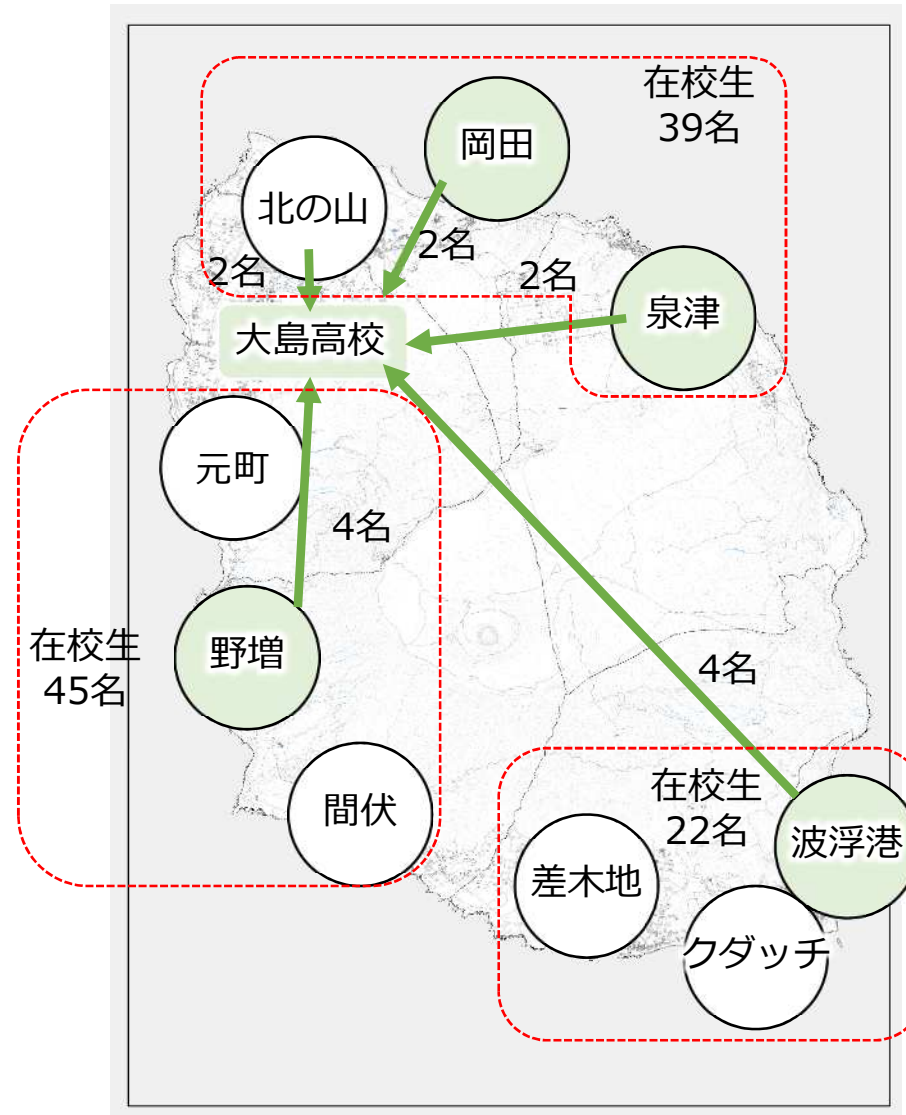
■主な通院施設 (N=389、複数回答)

施設名	件数
大島医療センター	365
大島ファミリー歯科	9

3. 大島町の現状と課題

3-4. 町民の移動実態 (2) 地域間交通流動

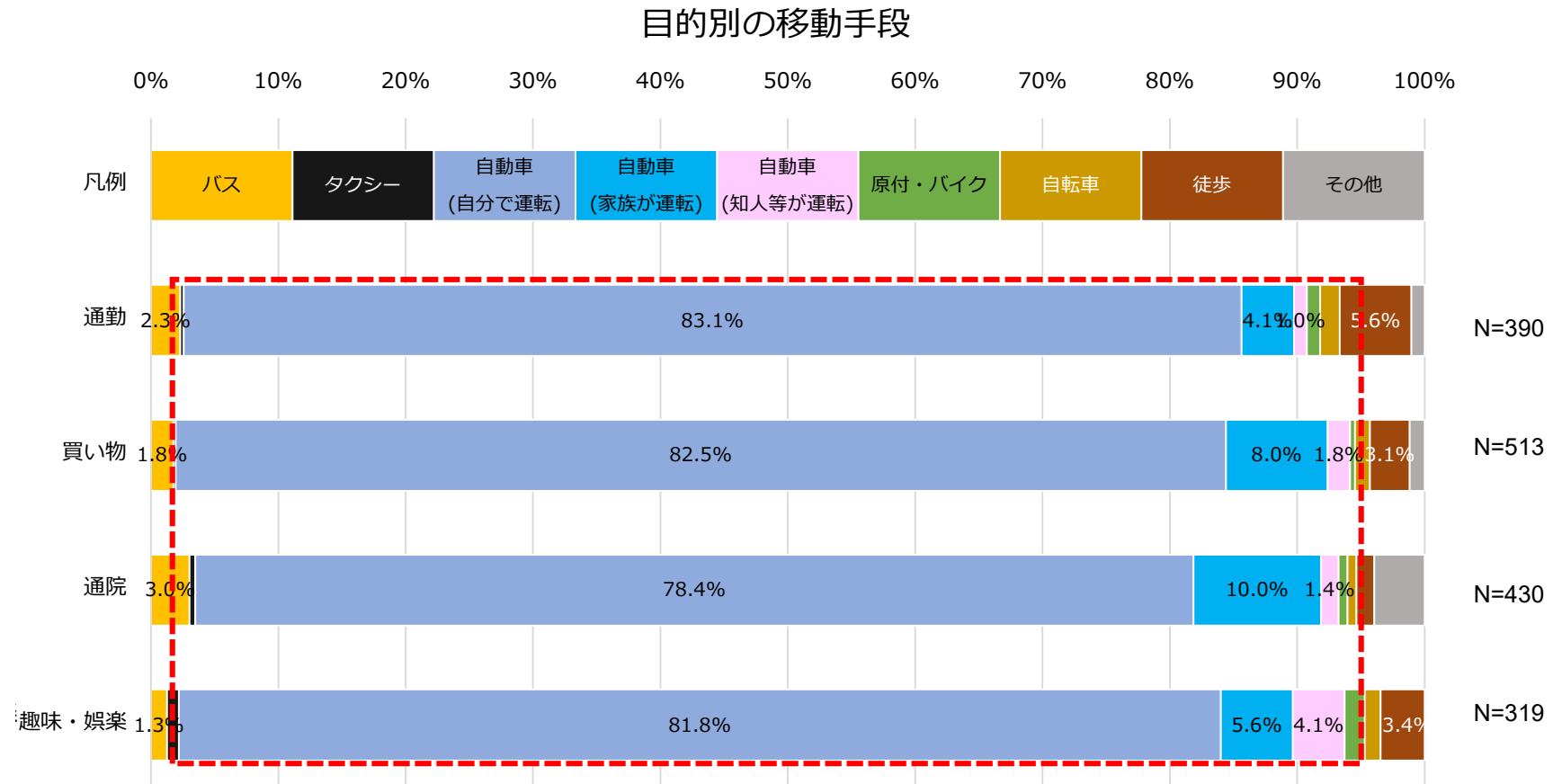
《参考》大島高校への通学のバス利用の状況



3. 大島町の現状と課題

3-4. 町民の移動実態 (3) 利用交通手段

各目的で自動車の利用が顕著であり、約8割が自動車を自分で運転している。
家族や知人での送迎も含めると、各目的で約9割が自動車で移動している。

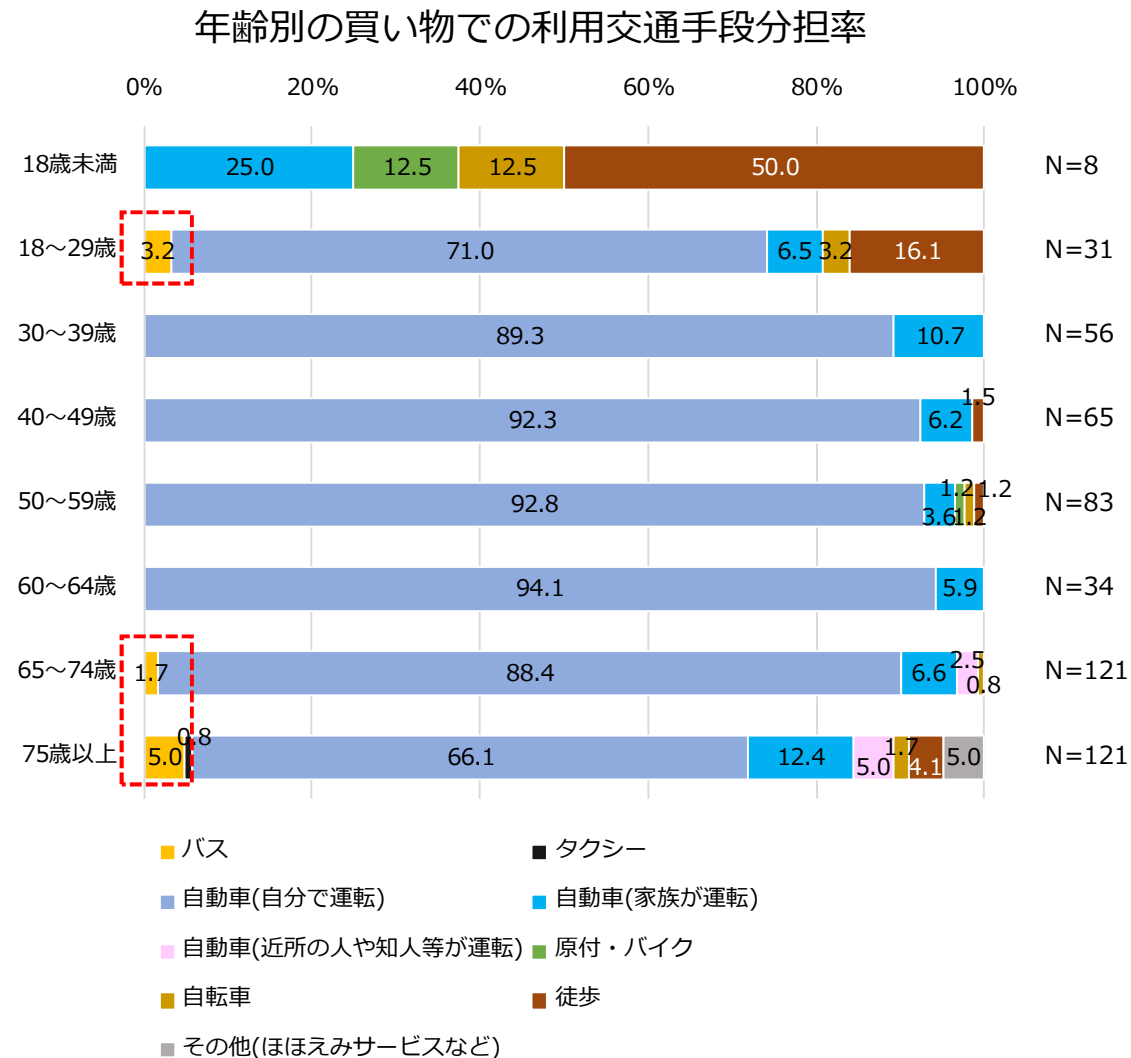


3. 大島町の現状と課題

3-4. 町民の移動実態

(3) 利用交通手段

20歳代および65歳以上の高齢者でわずかながらバスの利用が見られる。



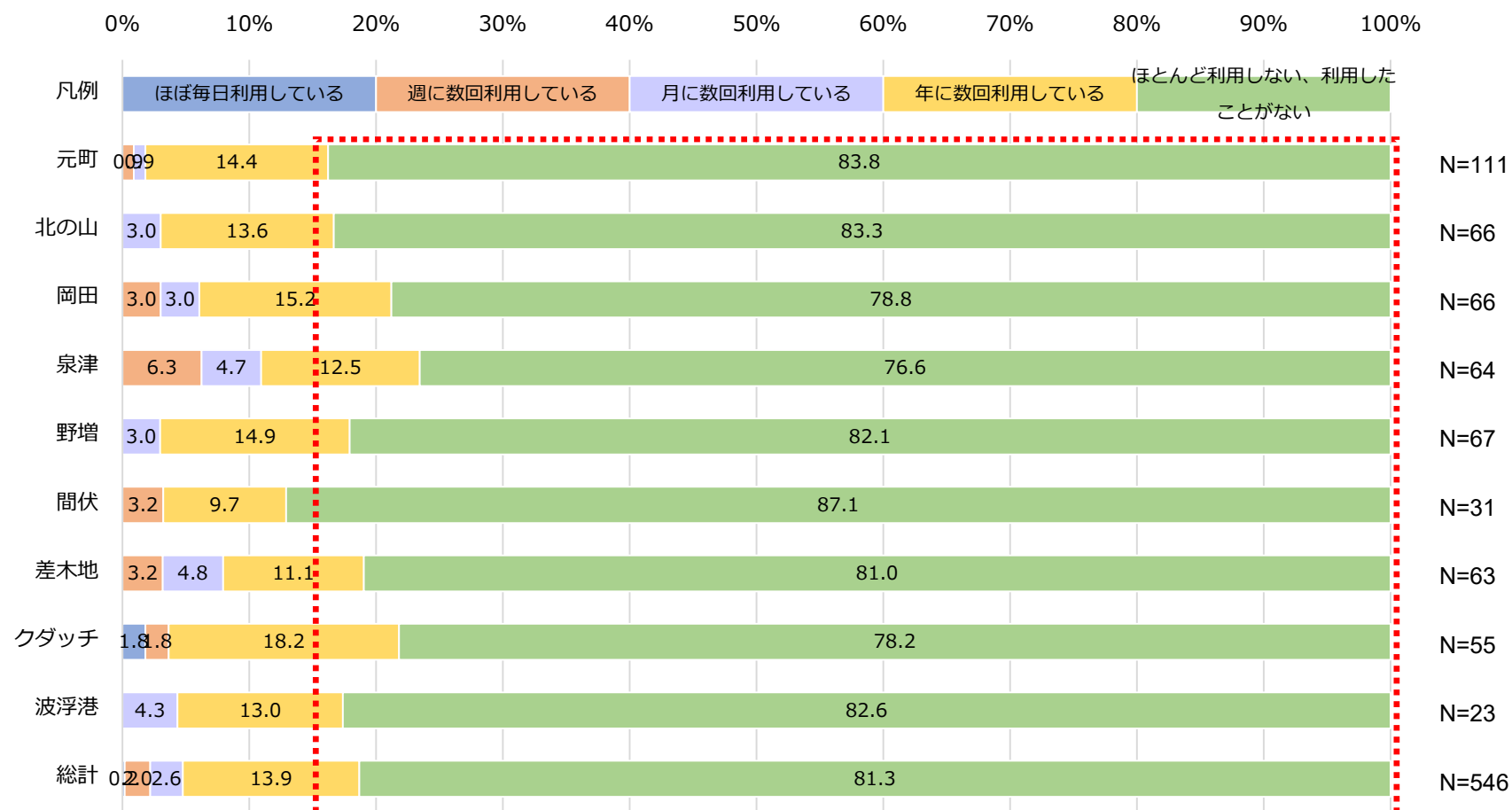
3. 大島町の現状と課題

3-4. 町民の移動実態

(4) 路線バスの利用実態

全地区において、「ほとんど利用しない・利用したことがない」という回答が約8割である。

居住地別の路線バスの利用頻度



3. 大島町の現状と課題

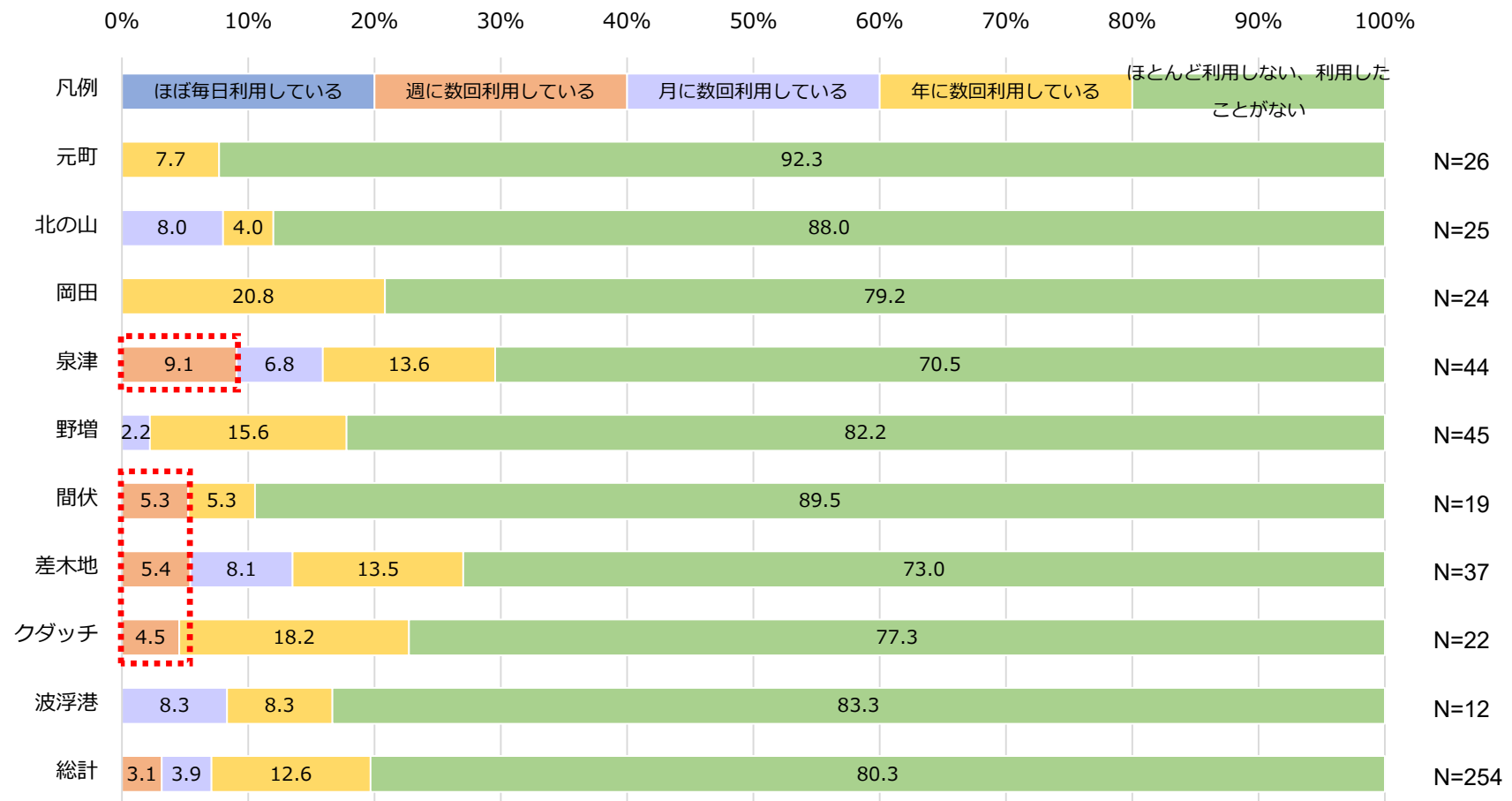
3-4. 町民の移動実態

(4) 路線バスの利用実態(高齢者)

泉津や間伏・差木地・クダッチでは週に数回利用の割合が高くみられる。

事業者へのヒアリングの結果、泉津では都立大島公園で働く高齢者が通勤目的のため、定期的に利用していることが分かっている。

居住地別の路線バスの利用頻度(65歳以上)



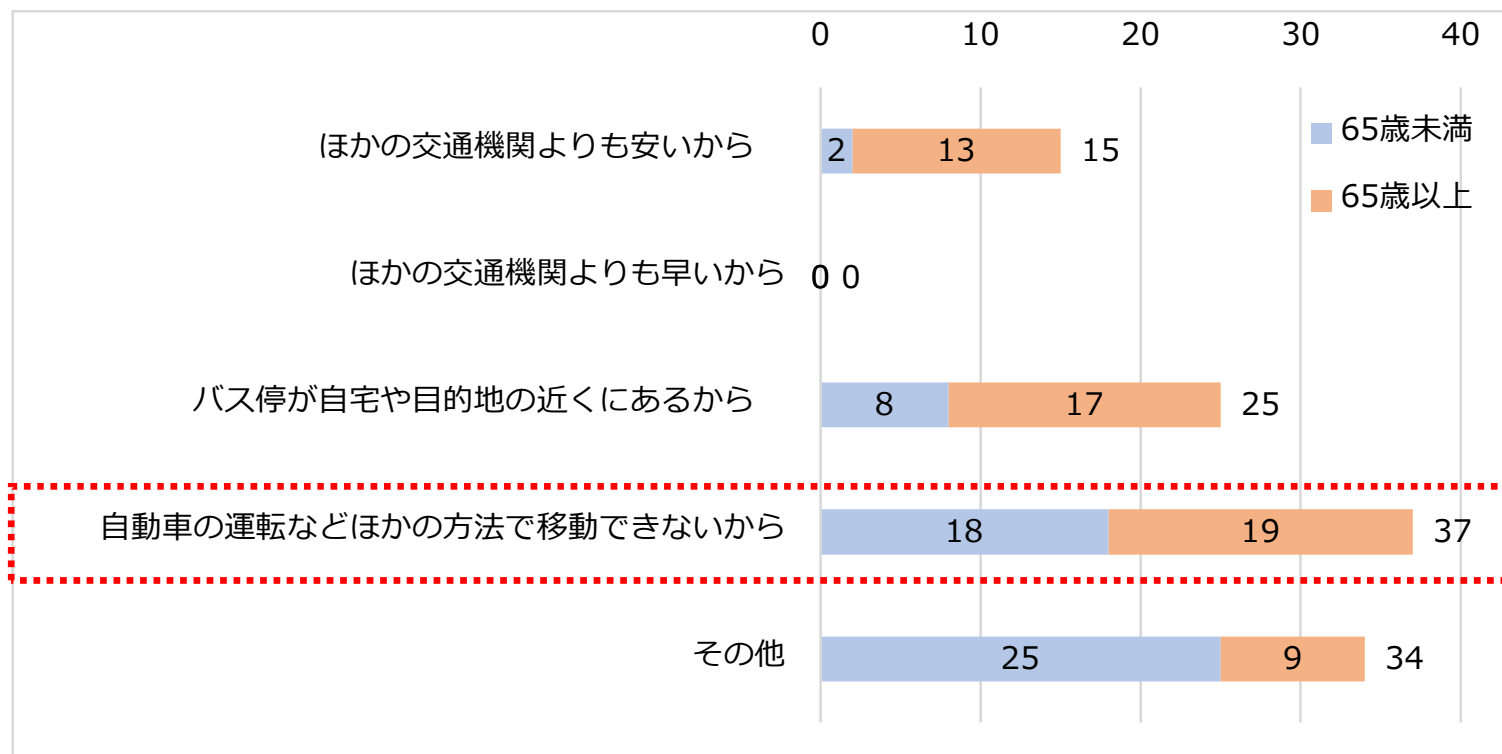
3. 大島町の現状と課題

3-4. 町民の移動実態

(4) 路線バスの利用実態

自動車の運転などほかの方法で移動できないためのバス利用が多くみられる。
特に65歳以上では、自動車の運転などほかの方法で移動できないことが路線バスを利用する理由で最も多い。

路線バスの利用理由



その他のほとんどは
「出帆港と帰島港が異なるときに利用」

3. 大島町の現状と課題

3-4. 町民の移動実態

(4) 路線バスの利用実態

各地区での路線バス利用の際の困りごとは下記の通りである。

【元町】

「キャッシュレスに対応していない」を選択した人の割合が最も高い。

【北の山】

「運賃が高い」「朝や夕方の時間帯の便数が少ない」「夜の時間帯の便数が少ない」を選択した人の割合が高い。

【岡田】

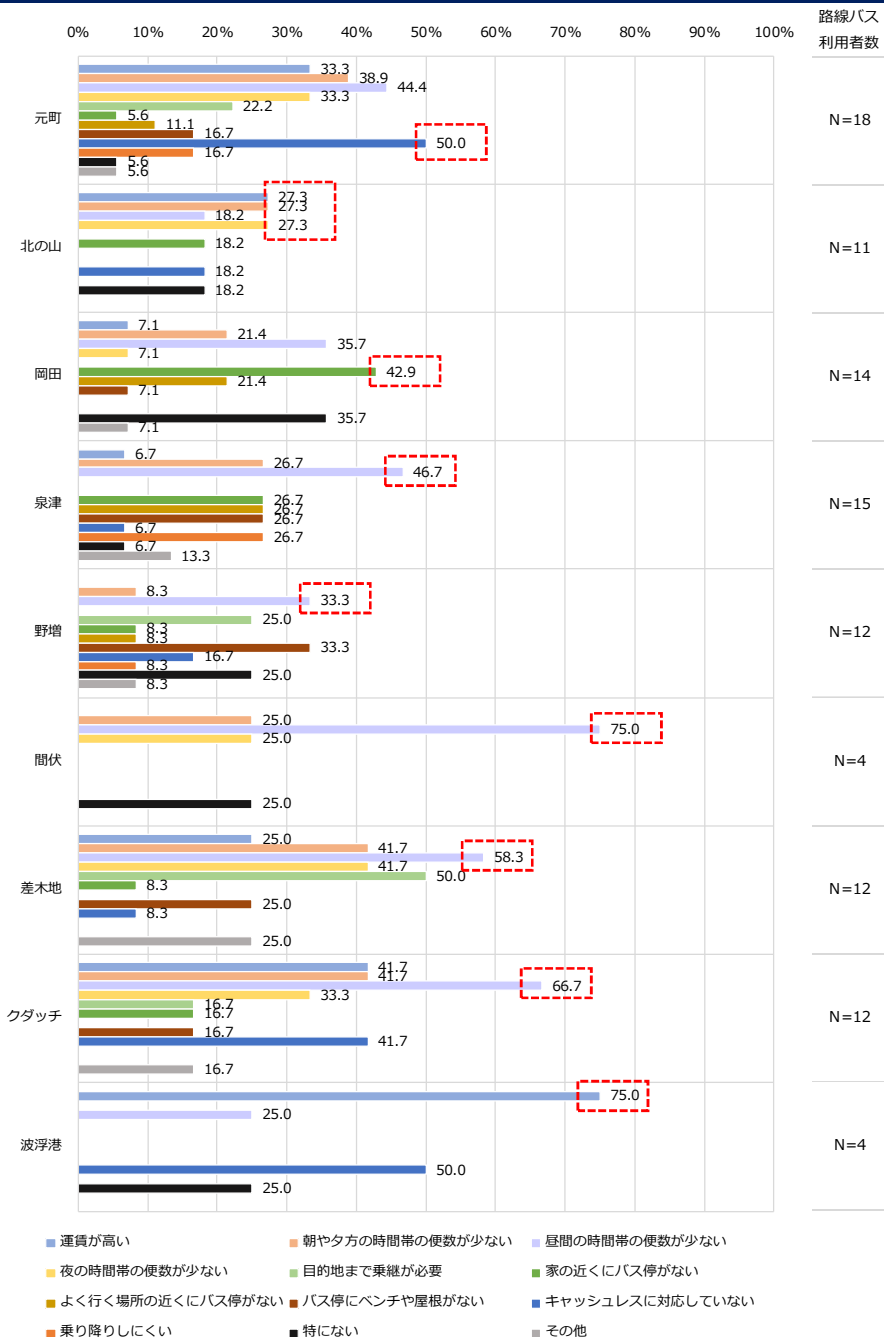
「家の近くにバス停がない」を選択した人の割合が最も高い。

【泉津・野増・間伏・差木地・クダッチ】

「昼間の時間帯の便数が少ない」を選択した人の割合が高い。

【波浮港】

「運賃が高い」を選択した人の割合が最も高い。



3. 大島町の現状と課題

3-4. 町民の移動実態

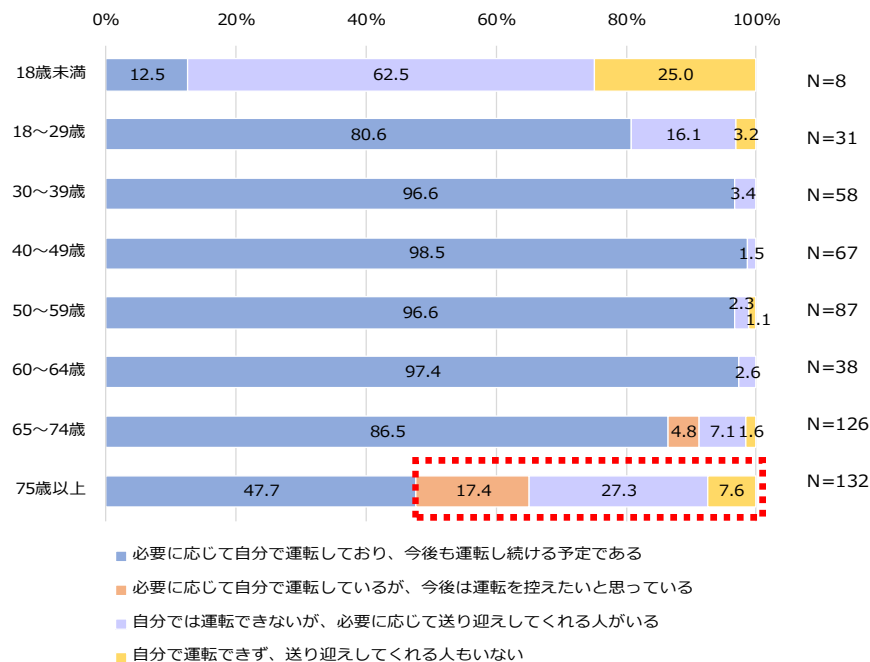
(5) 移動手段の現状や見通しなど

高齢者では、運転を控えたいという意向が見られる。

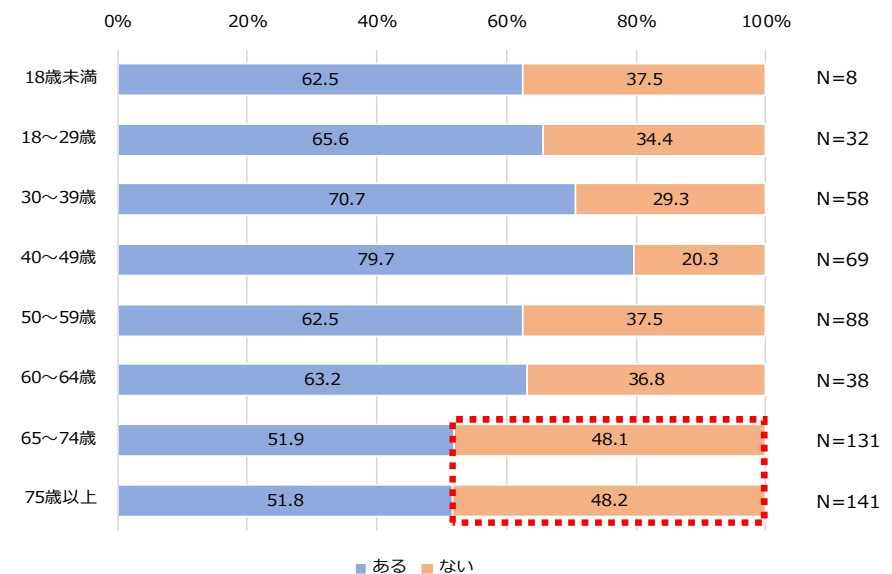
また、運転できない高齢者や、運転できず送迎してくれる人もいない高齢者が75歳以上で高い割合となっている。

65歳以上で、代替手段がないと回答する割合が50%近くを占めている。

移動の現状や見通し



公共交通以外の代替手段

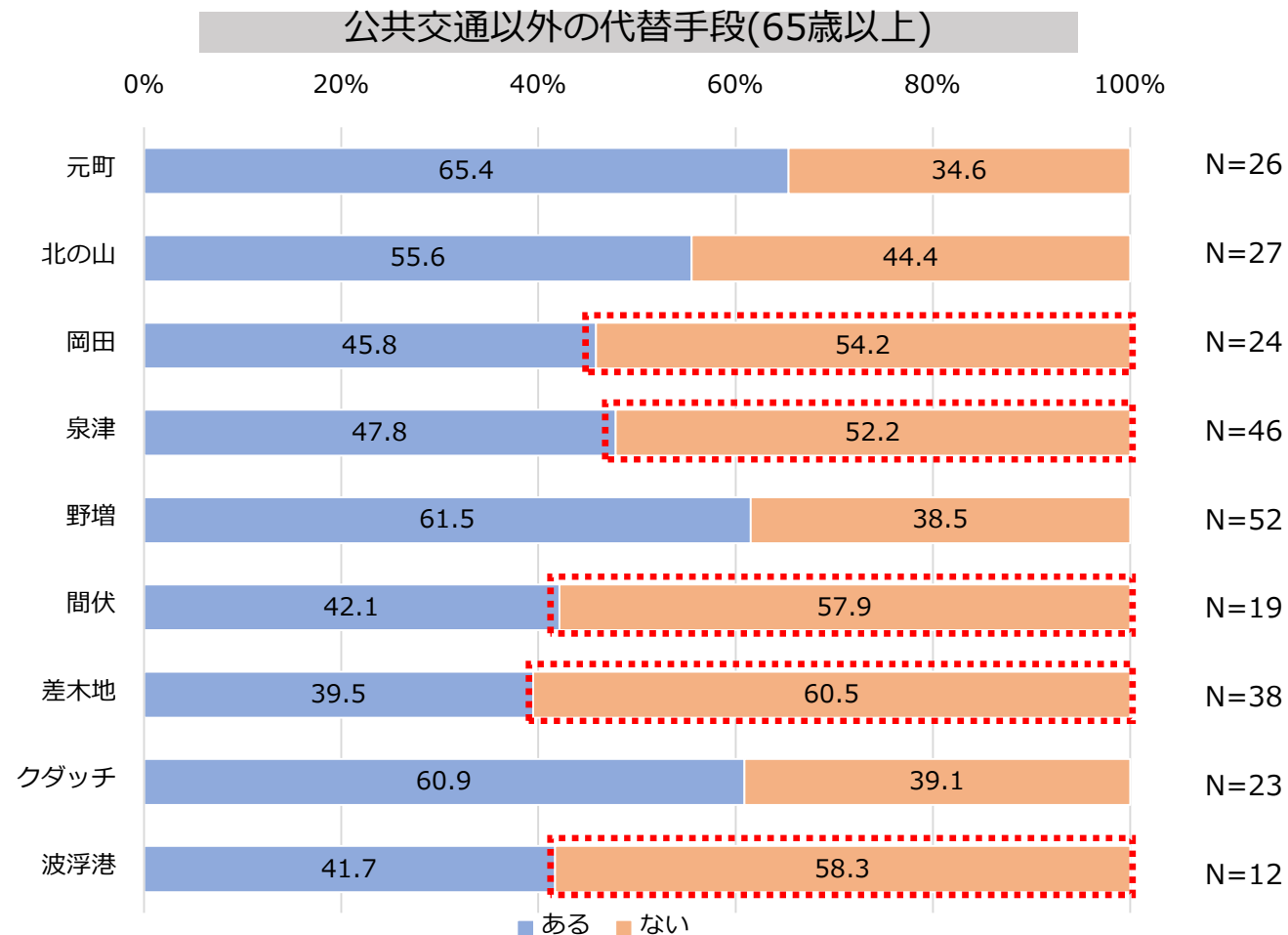


3. 大島町の現状と課題

3-4. 町民の移動実態

(6) 高齢者の将来の移動に対する不安

公共交通以外の代替手段の有無を65歳以上を対象にしてみると、泉津や岡田・間伏・差木地・クダッチでは、公共交通以外の代替手段がない高齢者の占める割合が50%を超えている。



3. 大島町の現状と課題

3-4. 町民の移動実態

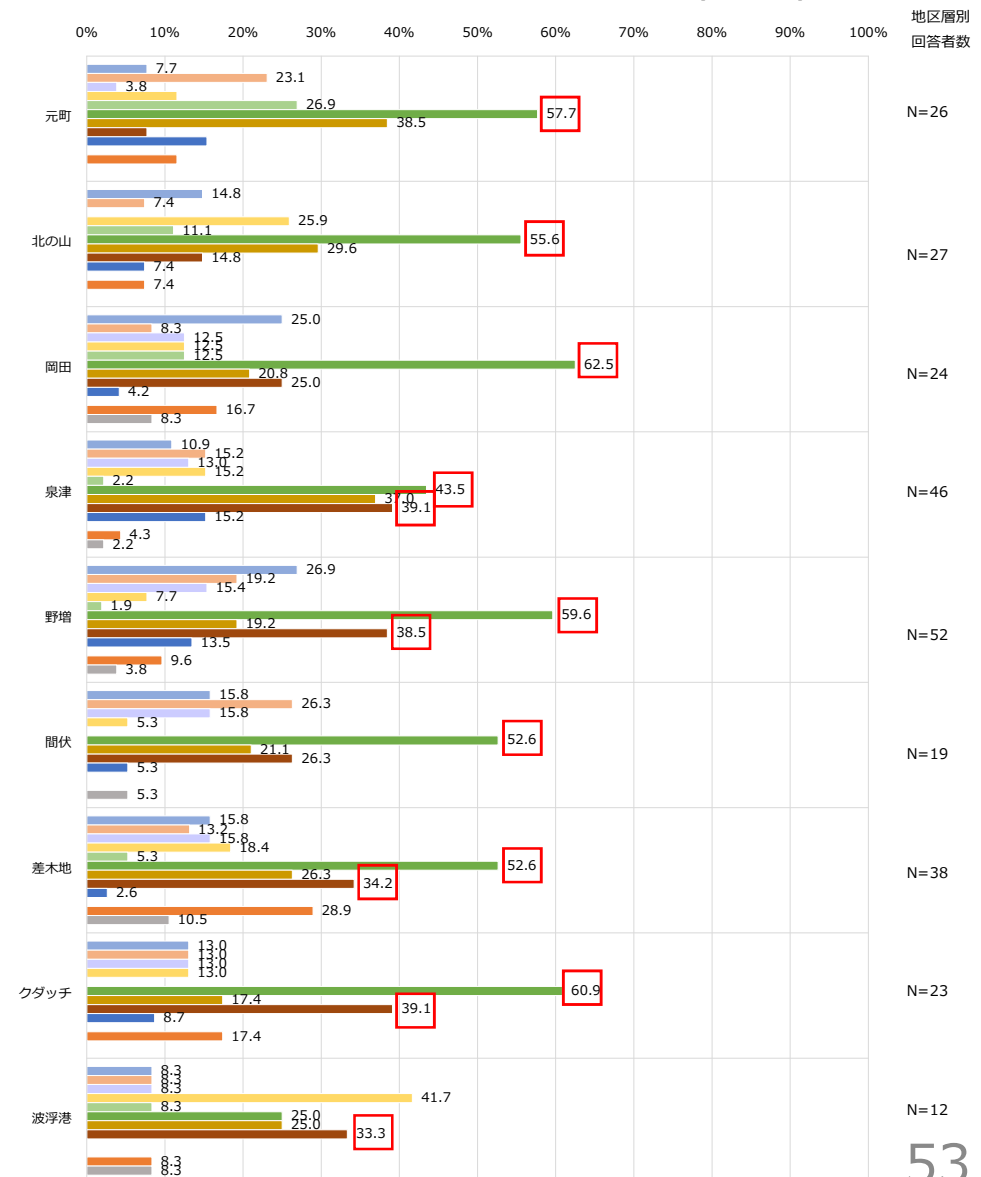
(6) 高齢者の将来の移動に対する不安

各地区で「自動車を運転できなくなったら、移動できなくなるかもしれない」が高齢者の不安として最も高い割合となっている。

また、泉津や差木地、クダッチ、波浮港では、「路線バスがなくなったら、移動できなくなるかもしれない」が移動に対する不安として上位に挙げられている。

- 狭い道や急な坂道が多く、徒歩や自転車の移動が大変である
- 狭い道や急な坂道が多く、自動車の運転が大変である
- 観光客の自動車の運転が危険である
- 誰かに送迎を手伝ってもらわないと移動できない
- 誰かの送迎を手伝わなければならない時があり、大変である
- 自動車を運転できなくなったら、移動できなくなるかもしれない
- 送迎を手伝ってくれる人がいなくなったら、移動できなくなるかもしれない
- 路線バスがなくなったら、移動できなくなるかもしれない
- タクシーがなくなったら、移動できなくなるかもしれない
- スクールバスがなくなったら、移動できなくなるかもしれない
- 施設送迎などがなくなったら、移動できなくなるかもしれない
- その他

普段の移動で感じる不便さや移動に関する将来への不安(65歳以上)



3. 大島町の現状と課題

3-4. 町民の移動実態

(7) アンケートまとめ

【普段の移動】

- 様々な目的の目的地が元町地区に集中
 - 買い物施設は主に3施設が目的地
 - 通院施設は大島医療センターが主
- 主要な移動手段は自家用車
 - 自分で運転が30歳以上の各年齢層で9割近くを占める
 - 65～74歳の高齢者でも約9割は自分で運転
 - 家族や知人の運転による自家用車移動も含めると、各年齢層でほぼ大半が自家用車で移動
- コロナ禍(R2・R3)と比較すると乗車人数増加
- コロナ禍以前と比較すると半分以下に落ち込み

【バスの利用】

- 各地区で約8割の回答者はバスの利用経験が僅少
- 出帆港が異なる際にバスを利用する傾向あり

【今後の移動】

- 高齢になるに従い、運転を控える傾向
- 公共交通がなくなった場合の代替の移動手段がない高齢者が約5割

3. 大島町の現状と課題

3-4. 町民の移動実態 (8) その他

- ・ 町内の事業者にと町民としての普段の移動実態をヒアリング

分類	ヒアリング結果
普段の移動	・ 自家用車で移動 ・ 出帆港が往復で異なった時にはバスを利用 ・ 近所で支え合っの移動は以前よりも減少(共働き世帯の増加など) ・ 元町のほうが買い物先も多く、物価も安いいため、買い物目的では元町まで移動
移動の困りごと	・ 夜に飲酒した際に、タクシーやバスがないため、家族などの送迎に頼らざるを得ない
バスの運行	・ 医療センターや図書館などの目的施設が大島一周道路から離れており、バスではいけない ・ 早朝時間帯には波浮港から大島高校までの直通バスが運行されているが、生徒の帰宅時間の運行なし ⇒帰宅する生徒が夕方に元町港で40分近くバス待ち ・ バスの運行が町役場や大島支庁の就業時間と合っていない

3. 大島町の現状と課題

3-5. 来島者の移動実態

(1) 大島町商工会によるアンケート調査

1) 概要

- ・ 来島者の特徴や伊豆大島の評価を把握するためにアンケート調査を実施

実施期間：2014年11月

調査目的：来島者の属性

来訪目的・場所

伊豆大島の評価 などの把握

対象者：伊豆大島を訪れた来島者

調査方法：岡田港・元町港ほか大島町内の施設での配布
インターネットによる回答

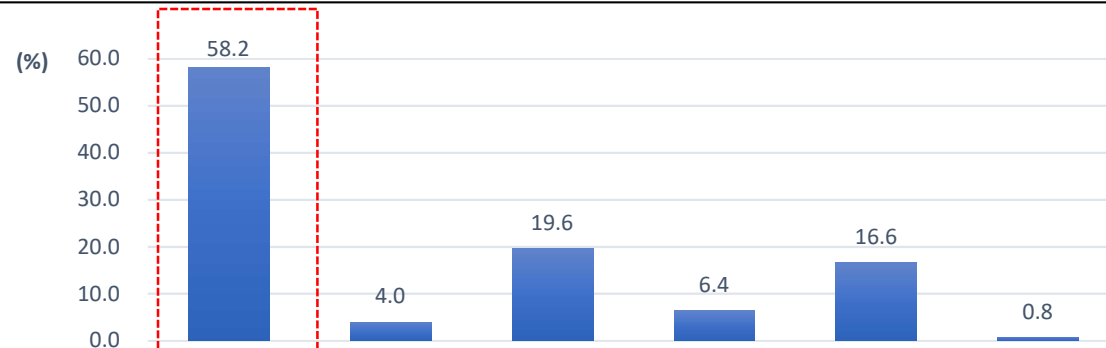
3. 大島町の現状と課題

3-5. 来島者の移動実態

(1) 大島町商工会によるアンケート調査

2) 宿泊地域

約6割の来島者が元町に宿泊している。



		サンプル数	元町	北の山	岡田	波浮港	その他	無回答
全体		100.0	58.2	4.0	19.6	6.4	16.6	0.8
		373	217	15	73	24	62	3
男性	男性小計	100.0	375.8	2.6	19.3	6.3	15.1	1.0
		192	535	5	37	12	29	2
	29歳以下	100.0	693.4	2.4	35.6	4.9	12.2	0.0
		41	852	1	15	2	5	0
	30歳代	100.0	1011.0	0.0	12.2	4.9	24.4	0.0
		41	1170	0	5	2	10	0
	40歳代	100.0	1328.6	3.6	23.6	5.5	21.8	1.8
		55	1487	2	13	3	12	1
	50歳代	100.0	1646.2	6.1	12.1	9.1	6.1	0.0
		33	1805	2	4	3	2	0
女性	60歳代	100.0	1963.8	0.0	0.0	9.1	0.0	4.5
		22	2123	0	0	2	0	1
	女性小計	100.0	2281.4	6.1	20.9	6.1	18.2	0.0
		148	2440	9	31	9	27	0
	29歳以下	100.0	2599.0	1.9	28.8	9.6	11.5	0.0
		52	2758	1	15	5	6	0
	30歳代	100.0	2916.6	10.3	12.8	7.7	28.2	0.0
		39	3075	4	5	3	11	0
	40歳代	100.0	3234.2	7.9	15.8	0.0	21.1	0.0
		38	3393	3	6	0	8	0
	50歳代	100.0	3551.8	0.0	26.7	6.7	13.3	0.0
		15	3711	0	4	1	2	0
	60歳代	100.0	3869.4	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
		4	4028	1	1	0	0	0

出典：伊豆大島来島者アンケート(平成27年、大島町商工会)

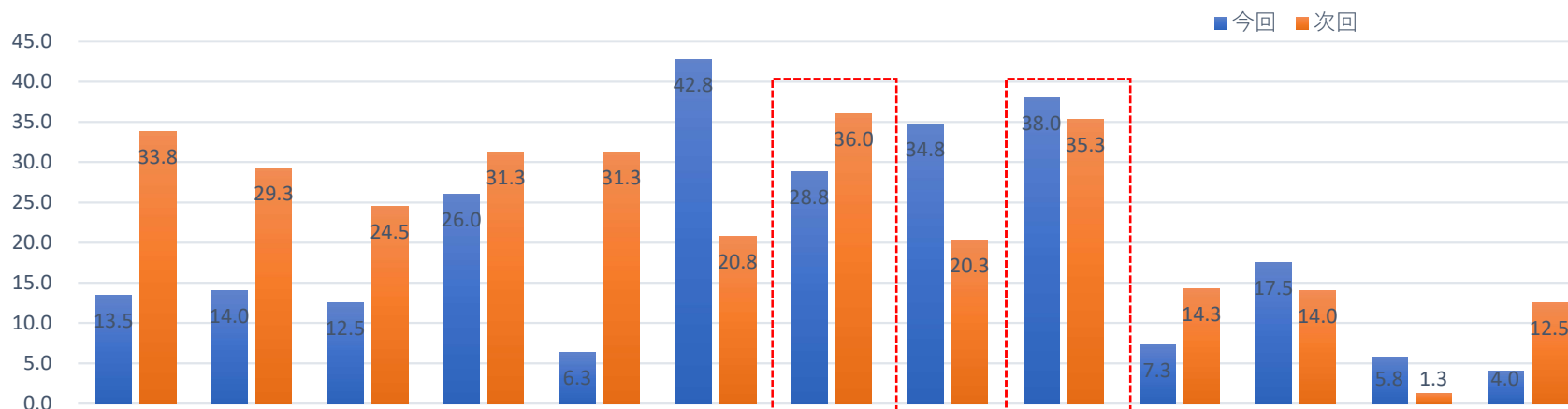
3. 大島町の現状と課題

3-5. 来島者の移動実態

(1) 大島町商工会によるアンケート調査

3) 来島目的

温泉めぐりや食べ歩きなどを行った観光客が多く、次回の訪問でも実施したいとの要望も多い。



	サンプル数	ダイビング	釣り	サイクリング	ジオ・パーク見物 登山 トレッキング ハイキング	スター ウォッチング	観光スポット めぐり	温泉めぐり	特産品などの 購入	地元ならではの 食事や食べ歩き	体験型観光施 設や工場見学	被災現場の見学	観光はしていない /観光はしたくない	無回答
今回行なった観光	100.0	13.5	14.0	12.5	26.0	6.3	42.8	28.8	34.8	38.0	7.3	17.5	5.8	4.0
	400	54	56	50	104	25	171	115	139	152	29	70	23	16
次回行ないたい観光	100.0	33.8	29.3	24.5	31.3	31.3	20.8	36.0	20.3	35.3	14.3	14.0	1.3	12.5
	400	135	117	98	125	125	83	144	81	141	57	56	5	50
「次回」-「今回」		+20.3	+15.3	+12.0	+5.3	+25.0	-22.0	+7.2	-14.5	-2.7	+7.0	-3.5	-4.5	+8.5

出典：伊豆大島来島者アンケート(平成27年、大島町商工会)

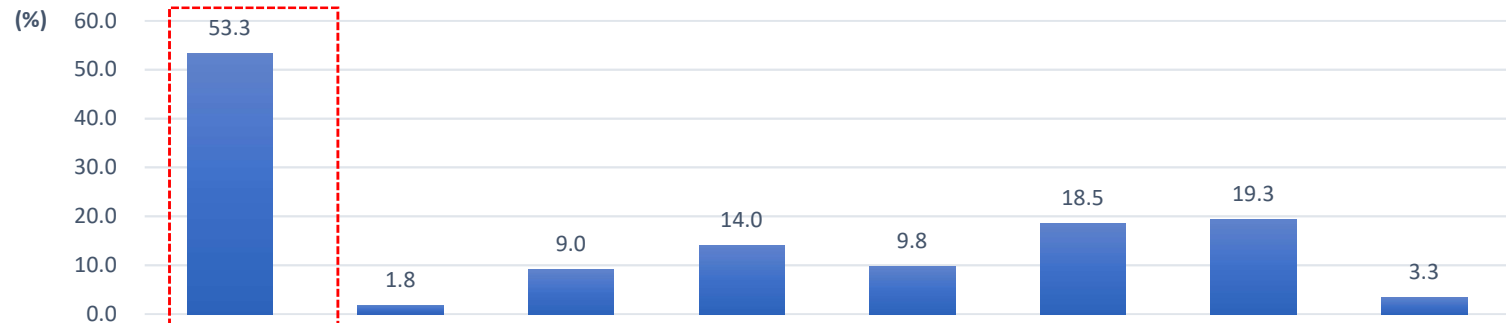
3. 大島町の現状と課題

3-5. 来島者の移動実態

(1) 大島町商工会によるアンケート調査

4) 移動手段

レンタカーでの移動が半数以上で約53%となっている。



		サンプル数	レンタカー	タクシー	観光バス	路線バス	自転車	徒歩	その他	無回答
全体		100.0	53.3	1.8	9.0	14.0	9.8	18.5	19.3	3.3
		400	213	7	36	56	39	74	77	13
男性	男性小計	100.0	57.0	0.9	7.0	11.2	12.1	17.8	16.8	2.3
		214	122	2	15	24	26	38	36	5
	29歳以下	100.0	62.2	2.2	13.3	13.3	13.3	24.4	6.7	0.0
		45	28	1	6	6	6	11	3	0
	30歳代	100.0	62.8	2.3	7.0	9.3	20.9	25.6	7.0	4.7
		43	27	1	3	4	9	11	3	2
	40歳代	100.0	55.9	0.0	6.8	13.6	13.6	13.6	13.6	1.7
女性		59	33	0	4	8	8	8	8	1
	50歳代	100.0	47.4	0.0	5.3	13.2	7.9	13.2	31.6	2.6
		38	18	0	2	5	3	5	12	1
	60歳代	100.0	55.2	0.0	0.0	3.4	0.0	10.3	34.5	3.4
		29	16	0	0	1	0	3	10	1
	女性小計	100.0	48.4	3.3	12.4	20.3	5.9	23.5	22.2	2.6
		153	74	5	19	31	9	36	34	4
	29歳以下	100.0	54.7	1.9	17.0	20.8	5.7	26.4	11.3	0.0
		53	29	1	9	11	3	14	6	0
	30歳代	100.0	52.5	10.0	12.5	20.0	5.0	25.0	25.0	2.5
		40	21	4	5	8	2	10	10	1
	40歳代	100.0	42.5	0.0	12.5	17.5	5.0	15.0	25.0	2.5
		40	17	0	5	7	2	6	10	1
	50歳代	100.0	26.7	0.0	0.0	33.3	13.3	26.7	33.3	13.3
		15	4	0	0	5	2	4	5	2
	60歳代	100.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	60.0	0.0
		5	3	0	0	0	0	2	3	0

出典：伊豆大島来島者アンケート(平成27年、大島町商工会)

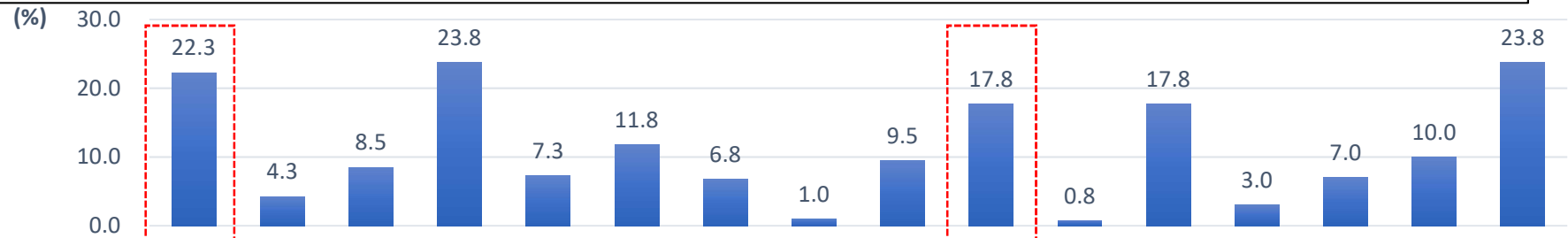
3. 大島町の現状と課題

3-5. 来島者の移動実態

(1) 大島町商工会によるアンケート調査

5) 来島者の不満

「交通の便が良くない」「観光スポット間の移動が大変」など交通に関する不満が上位となっている。



		サンプル数	交通の便が良くない	食事がおいしくない	伊豆大島ならではの食事が食べられない	飲食店が少なく食べたいものがない	宿泊先が快適でなかった	いろいろなタイプの宿泊施設がない	宿泊の予約が大変	温泉が良くない	観光スポットが少ない、魅力がない	観光スポット間の移動が大変	町の人がやさしくない	買い物ににくい	お店の接客が良くない	旅行が安くすまなかった	その他	無回答
全体		100.0	22.3	4.3	8.5	23.8	7.3	11.8	6.8	1.0	9.5	17.8	0.8	17.8	3.0	7.0	10.0	23.8
男性	男性小計	400	89	17	34	95	29	47	27	4	38	71	3	71	12	28	40	95
	29歳以下	214	40	11	22	51	16	22	15	4	20	29	3	41	7	19	20	59
	30歳代	100.0	22.2	2.2	4.4	24.4	4.4	8.9	2.2	2.2	2.2	22.2	0.0	22.2	2.2	13.3	6.7	28.9
	40歳代	45	10	1	2	11	2	4	1	1	1	10	0	10	1	6	3	13
	50歳代	100.0	18.6	7.0	7.0	20.9	9.3	16.3	11.6	2.3	14.0	7.0	0.0	14.0	7.0	7.0	11.6	23.3
	60歳代	43	8	3	3	9	4	7	5	1	6	3	0	6	3	3	5	10
	29歳以下	100.0	15.3	6.8	15.3	18.6	10.2	6.8	8.5	1.7	10.2	15.3	3.4	20.3	1.7	11.9	10.2	23.7
	30歳代	59	9	4	9	11	6	4	5	1	6	9	2	12	1	7	6	14
	40歳代	100.0	18.4	0.0	2.6	26.3	7.9	15.8	7.9	2.6	7.9	7.9	2.6	18.4	2.6	7.9	13.2	36.8
	50歳代	38	7	0	1	10	3	6	3	1	3	3	1	7	1	3	5	14
女性	女性小計	100.0	20.7	10.3	24.1	34.5	3.4	3.4	3.4	0.0	13.8	13.8	0.0	20.7	3.4	0.0	3.4	27.6
	29歳以下	29	6	3	7	10	1	1	1	0	4	4	0	6	1	0	1	8
	30歳代	100.0	25.5	3.9	6.5	25.5	8.5	14.4	5.9	0.0	10.5	25.5	0.0	15.7	3.3	5.9	11.8	18.3
	40歳代	153	39	6	10	39	13	22	9	0	16	39	0	24	5	9	18	28
	50歳代	100.0	26.4	1.9	9.4	15.1	13.2	15.1	3.8	0.0	7.5	17.0	0.0	15.1	0.0	1.9	5.7	28.3
	60歳代	53	14	1	5	8	7	8	2	0	4	9	0	8	0	1	3	15
	29歳以下	100.0	25.0	2.5	2.5	32.5	7.5	10.0	10.0	0.0	10.0	22.5	0.0	7.5	7.5	10.0	15.0	7.5
	30歳代	40	10	1	1	13	3	4	4	0	4	9	0	3	3	4	6	3
	40歳代	100.0	22.5	7.5	7.5	30.0	5.0	15.0	5.0	0.0	17.5	35.0	0.0	30.0	2.5	5.0	17.5	15.0
	50歳代	40	9	3	3	12	2	6	2	0	7	14	0	12	1	2	7	6
	60歳代	100.0	26.7	6.7	6.7	40.0	6.7	20.0	0.0	0.0	6.7	33.3	0.0	6.7	0.0	13.3	13.3	13.3
	29歳以下	15	4	1	1	6	1	3	0	0	1	5	0	1	0	2	2	2
	30歳代	100.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0
	40歳代	5	2	0	0	0	0	1	1	0	0	2	0	0	1	0	0	2

出典：伊豆大島来島者アンケート(平成27年、大島町商工会)

3. 大島町の現状と課題

3－5. 来島者の移動実態

(2) 来島者WEBアンケート

1) 概要

- ・ 来島者の移動実態把握のためにアンケート調査を実施

実施期間：2023年2月

調査目的：主な目的地

主な移動手段 などの把握

対 象 者：大島町に来訪経験のあるWEBモニター400サンプル

調査方法：WEBアンケート調査会社を通じて、大島町に来訪経験のあるWEBモニターにアンケート調査回答画面を配信

3. 大島町の現状と課題

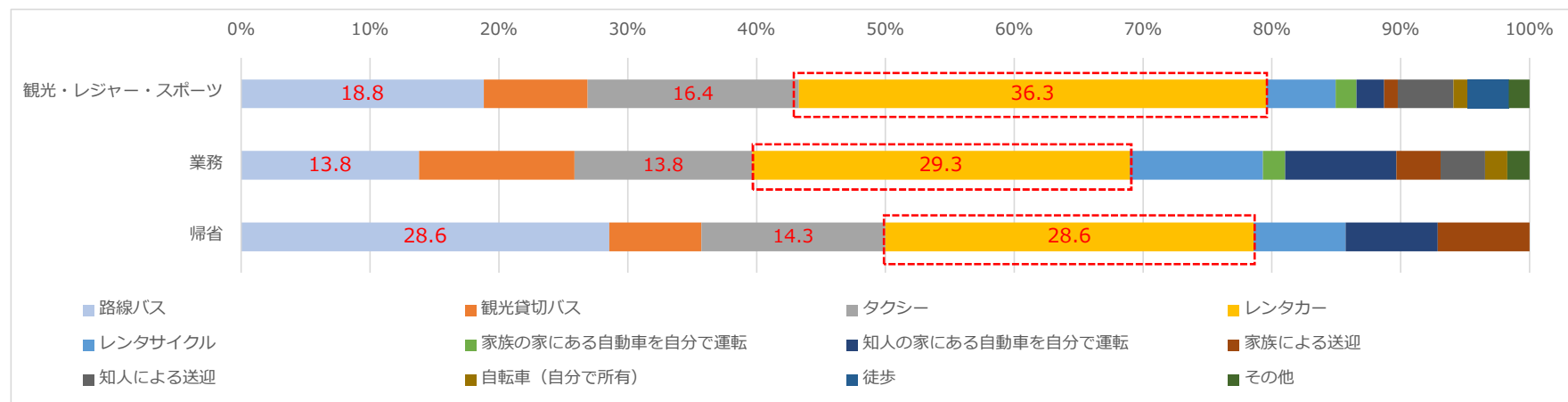
3-5. 来島者の移動実態

(2) 来島者WEBアンケート

2) 到着後の最初の移動手段

全ての来島目的において、来島直後の移動手段はレンタカーが最も多い。
次いで、路線バス、タクシーの順で利用率が高くなっている。

	n	路線バス	観光貸切バス	タクシー	レンタカー	レンタカー送迎車	家族の家に ある自動 車	知人の家 にある自動 車	家族による 送迎	知人による 送迎	有 自 転 車 （ 自 分 で 所 有	徒歩	その他
観光・レジャー・スポーツ	372	18.8	8.1	16.4	36.3	5.4	1.6	2.2	1.1	4.3	1.1	3.2	1.6
業務	58	13.8	12.1	13.8	29.3	10.3	1.7	8.6	3.4	3.4	1.7	0.0	1.7
帰省	14	28.6	7.1	14.3	28.6	7.1	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	6	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	33.3	0.0	0.0



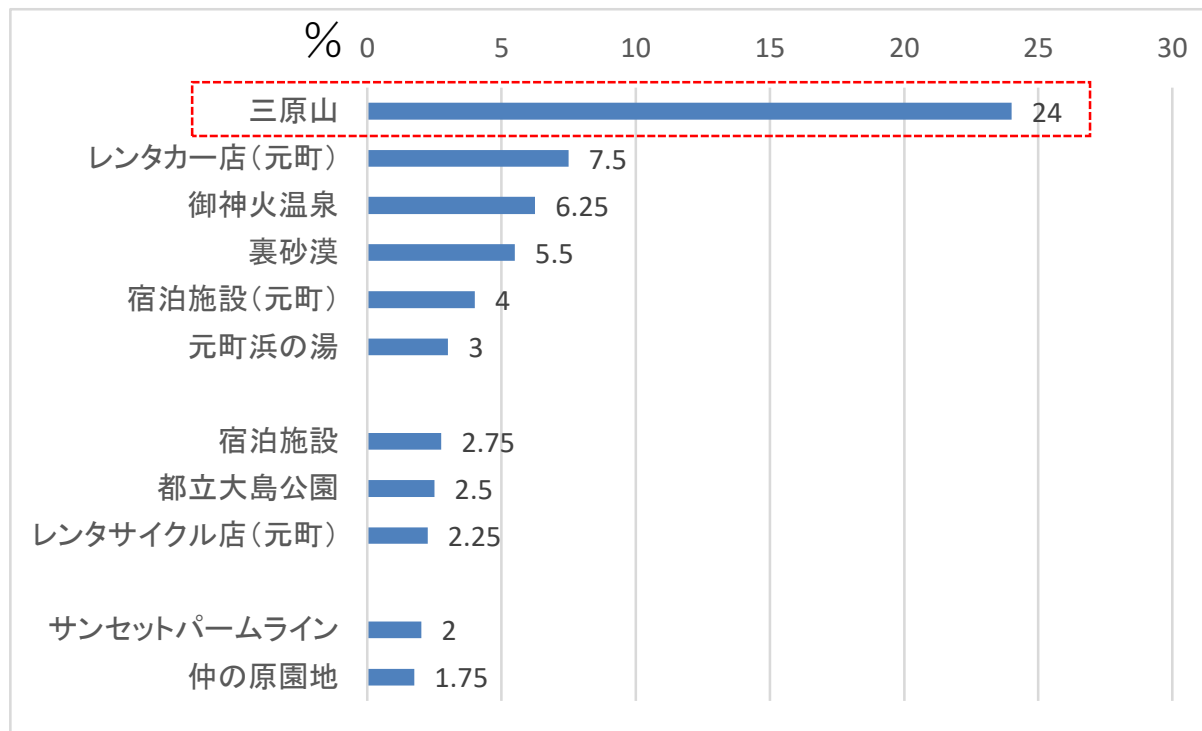
3. 大島町の現状と課題

3-5. 来島者の移動実態

(2) 来島者WEBアンケート

3) 到着後の最初の目的地

- ・来島直後の最初の目的地として、三原山が最も高い割合となっている。
- ・元町のレンタカー店や御神火温泉を最初の目的地としている割合も高くなっている。



3. 大島町の現状と課題

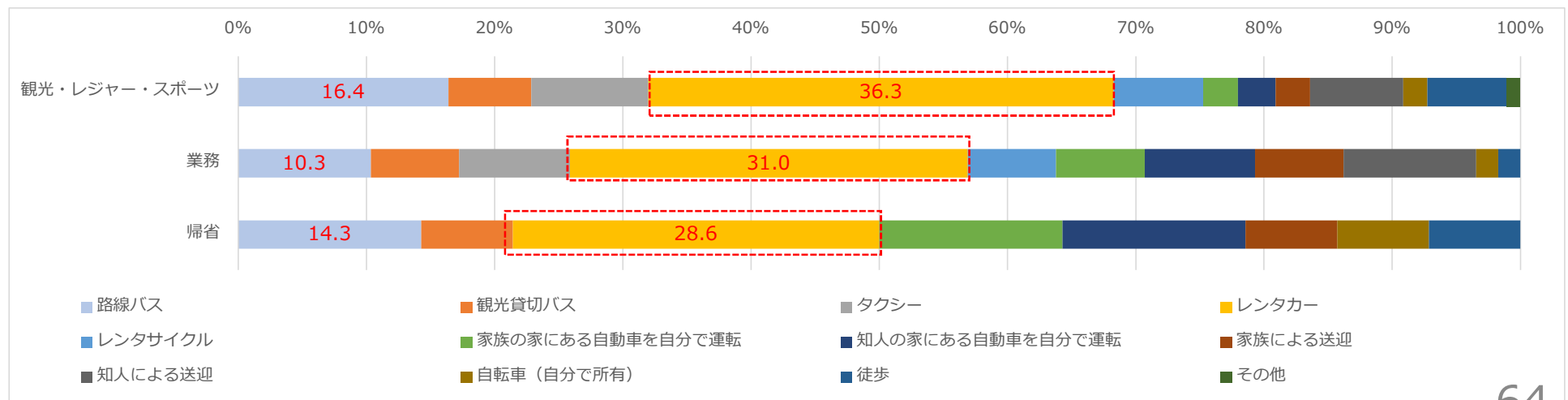
3-5. 来島者の移動実態

(2) 来島者WEBアンケート

4) 島内での主な移動手段

- ・各目的で「レンタカー」の占める割合が最も高い
- ・観光・レジャー・スポーツでは、路線バスの利用割合も高い

	n	路線バス	観光貸切バス	タクシー	レンタカー	レンタサイクル	家族の家に ある自動 車を自分 で運転	知人の家 にある自 動車を自 分で運 転	家族によ る送迎	知人によ る送迎	有 （自 転 車 （自 分 で 所 有）	徒歩	その他
観光・レジャー・スポーツ	372	16.4	6.5	9.1	36.3	7.0	2.7	3.0	2.7	7.3	1.9	6.2	1.1
業務	58	10.3	6.9	8.6	31.0	6.9	6.9	8.6	6.9	10.3	1.7	1.7	0.0
帰省	14	14.3	7.1	0.0	28.6	0.0	14.3	14.3	7.1	0.0	7.1	7.1	0.0
その他	6	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0



3. 大島町の現状と課題

3-5. 来島者の移動実態

（２）来島者WEBアンケート

5) 島内での主な移動手段の選択理由

- ・路線バスは「料金の安さ」が選択の理由として挙げられている。
- ・レンタカーは「移動時間の短さや近くまで移動できること」、「目的地以外にも手軽に来訪できること」が選択の理由として挙げられている。
- ・タクシーは「移動時間の短さ」が選択の理由として挙げられている。

		か か 金 が 安 い 、 ま た は	目 的 地 で ま で 短 い 時 間	運 転 お ら ず 、 自 動 車 を し	運 転 お 免 許 証 を 保 有 し	目 的 地 の 近 く ま で 移	目 的 地 の 近 く ま で 行	目 的 地 に 寄 る こ と が 軽	離 れ な い か ら す る 距	自 動 車 を 公 共 交 通 や	目 的 地 が 利 用 さ る か	レ ー ド ニ ン グ ス の ト ク	そ の 他
全体		400	26.3	33.0	8.5	34.0	20.5	23.0	6.5	3.8	1.8		
	路線バス	62	67.7	22.6	11.3	21.0	21.0	4.8	3.2	3.2	1.6		
	観光貸切バス	25	48.0	36.0	12.0	20.0	16.0	12.0	8.0	4.0	4.0		
	タクシー	35	11.4	54.3	14.3	34.3	11.4	8.6	0.0	0.0	0.0		
	レンタカー	139	12.9	46.0	5.8	47.5	20.9	33.8	3.6	0.0	0.0		
	レンタサイクル	27	29.6	11.1	11.1	37.0	14.8	40.7	14.8	0.0	3.7		
	家族の家にある自動車を自分で運転	14	0.0	14.3	21.4	28.6	42.9	28.6	21.4	0.0	0.0		
	知人の家にある自動車を自分で運転	13	15.4	15.4	23.1	30.8	38.5	23.1	15.4	7.7	0.0		
	家族による送迎	14	7.1	14.3	14.3	35.7	35.7	28.6	14.3	0.0	0.0		
	知人による送迎	31	19.4	25.8	0.0	25.8	22.6	25.8	9.7	12.9	3.2		
	自転車（自分で所有）	10	10.0	20.0	0.0	20.0	10.0	30.0	10.0	40.0	0.0		
	徒歩	26	34.6	19.2	0.0	19.2	11.5	3.8	7.7	11.5	7.7		
	その他	4	50.0	50.0	0.0	50.0	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0		

3. 大島町の現状と課題

3-5. 来島者の移動実態

(2) 来島者WEBアンケート

6) 島内での移動の不安・課題

路線バスでは、運行本数の少なさや利用したい時間帯に運行していないことが課題として挙がっている。

			料 金 が 高 い	時 間 が か か る	歩 道 や 車 道 ・ 安 全 に 移 車	坂 道 が 多 く 、 移 動 が	バ ス の 運 行 本 数 が 少	ス リ が 運 行 し て い る に バ	快 適 な い 過 ぎ や す こ と 所 が	バ ス に 行 き た い 場 所 に 自 由	サ イ ク ル 等 、 予 約 が	レ ン タ ー 、 や レ ン タ	シ ー が い ない と き に す ぐ	乗 り たい と き に タ ク	キ ヤ ツ シ ユ レ ス に 対	内 情 報 が 充 実 し て い る	示 等 、 報 が 目 的 地 の 案	送 迎 し て い る 人 が	動 で き ない と 島 内 を 移 動 が	自 分 で 自 動 車 を 運 移 転	そ の 他	
		n																				
全体		400	18.8	14.0	8.8	15.5	20.0	16.8	12.8	14.0	13.3	10.8	7.8	4.8	6.3	7.5	4.3					
	路線バス	62	24.2	25.8	8.1	11.3	46.8	30.6	9.7	9.7	9.7	6.5	3.2	3.2	4.8	0.0	0.0					
	観光貸切バス	25	4.0	28.0	16.0	12.0	12.0	16.0	16.0	20.0	8.0	8.0	0.0	8.0	16.0	4.0	8.0					
	タクシー	35	42.9	11.4	8.6	8.6	11.4	11.4	5.7	11.4	8.6	20.0	5.7	5.7	0.0	0.0	0.0					
	レンタカー	139	28.1	9.4	8.6	16.5	18.7	12.2	12.2	11.5	18.0	11.5	9.4	4.3	4.3	12.9	3.6					
	レンタサイクル	27	0.0	25.9	7.4	33.3	14.8	11.1	14.8	7.4	14.8	14.8	14.8	3.7	3.7	3.7	3.7					
	家族の家に ある自動車 を自分で 運転	14	0.0	0.0	21.4	14.3	21.4	28.6	14.3	42.9	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	7.1	0.0					
	知人の家に ある自動車 を自分で 運転	13	0.0	15.4	0.0	15.4	7.7	53.8	23.1	15.4	7.7	23.1	30.8	7.7	0.0	0.0	0.0					
	家族による 送迎	14	0.0	0.0	14.3	7.1	7.1	0.0	42.9	28.6	28.6	14.3	14.3	7.1	21.4	7.1	0.0					
	知人による 送迎	31	6.5	6.5	6.5	6.5	12.9	16.1	9.7	16.1	16.1	9.7	6.5	6.5	22.6	3.2	12.9					
	自転車（自 分で所有）	10	10.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0	10.0	30.0	0.0	0.0	10.0	0.0	30.0	10.0					
	徒歩	26	3.8	19.2	3.8	26.9	15.4	11.5	0.0	15.4	0.0	0.0	3.8	3.8	3.8	15.4	7.7					
	その他	4	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0					

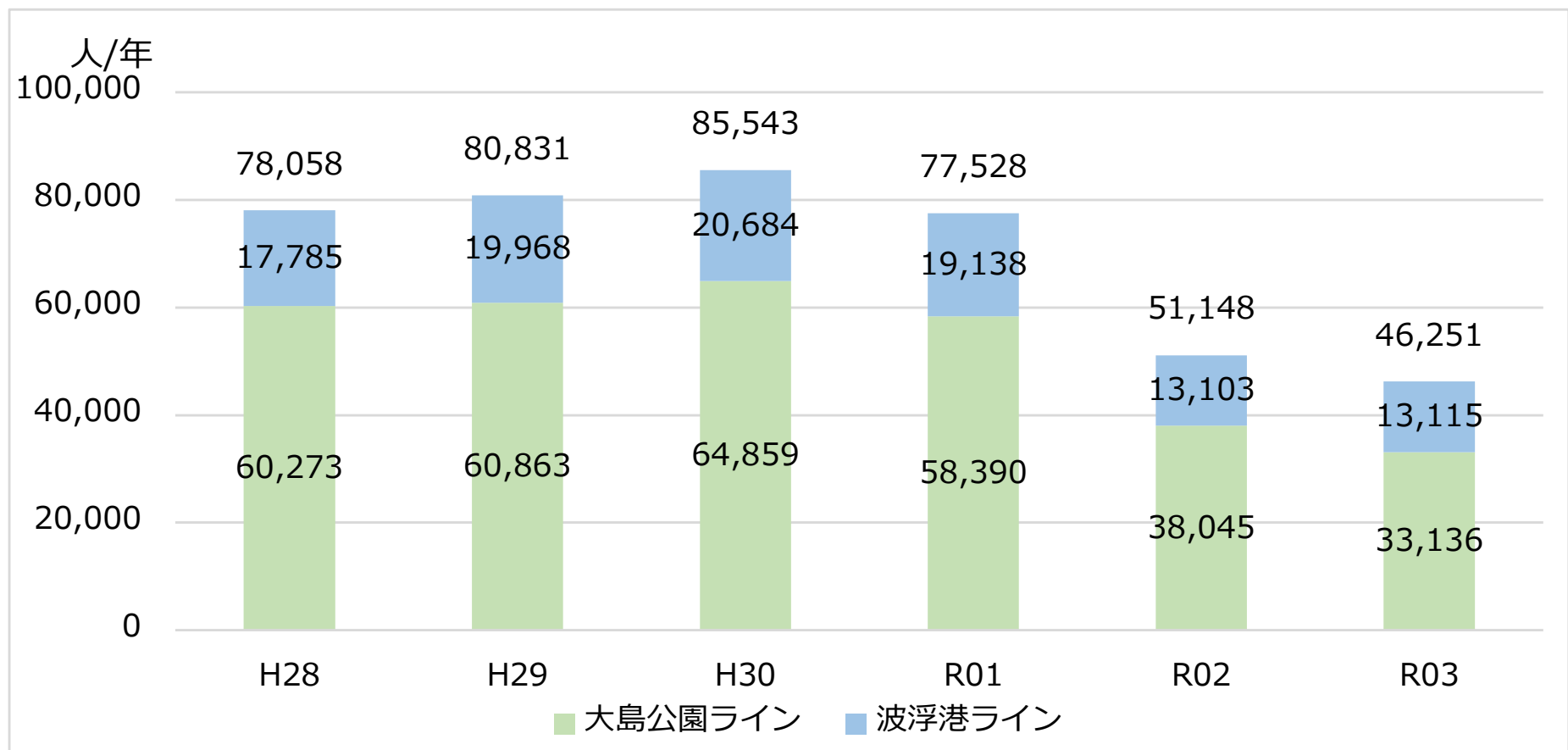
3. 大島町の現状と課題

3-6. 公共交通の利用状況

(1) バスの利用状況

1) 年別利用者数の推移

- H30年までは利用者数は増加
- R2・R3はコロナウイルス感染拡大の影響で減少



3. 大島町の現状と課題

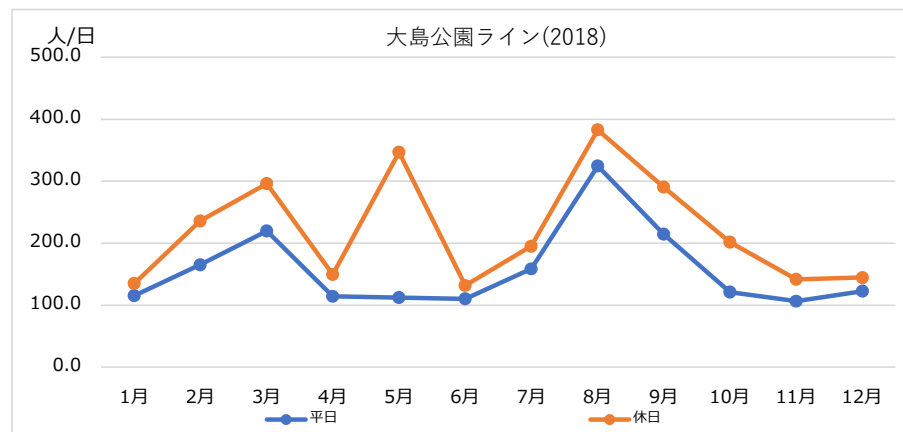
3-6. 公共交通の利用状況

(1) バスの利用状況

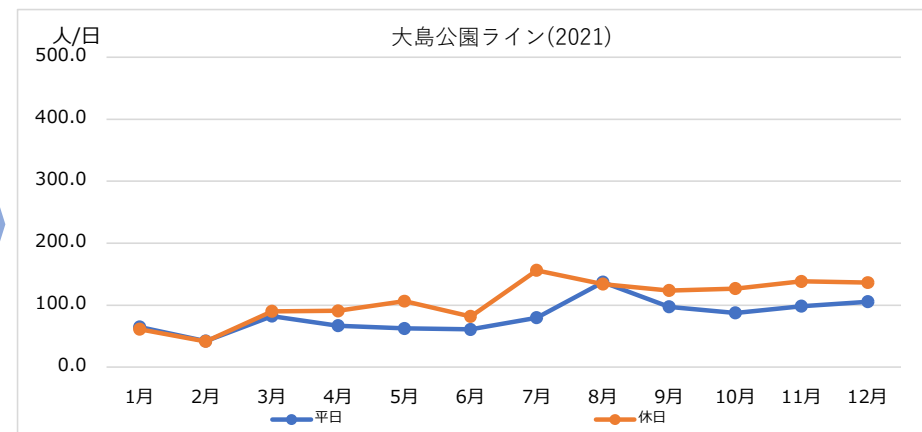
2) 平日・休日別利用者数

- ・ コロナウイルス感染拡大前である2018年は、休日利用が多い傾向
- ・ コロナウイルス感染拡大の影響を受けている2021年は、特に休日利用の減が顕著

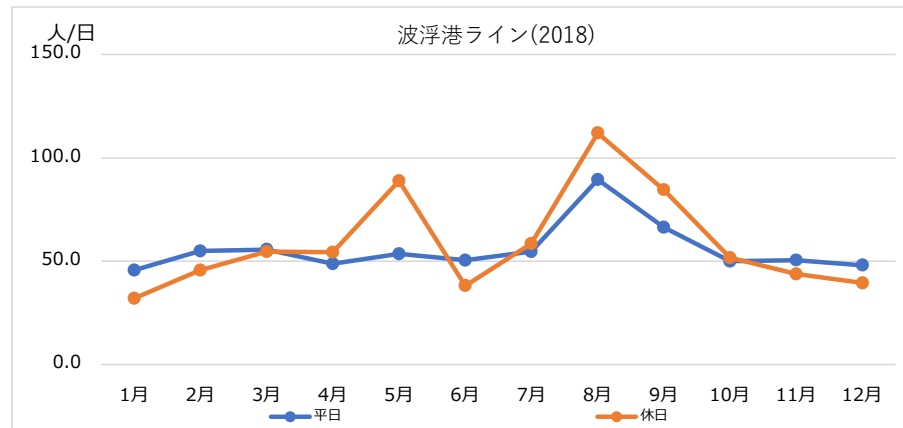
2018年



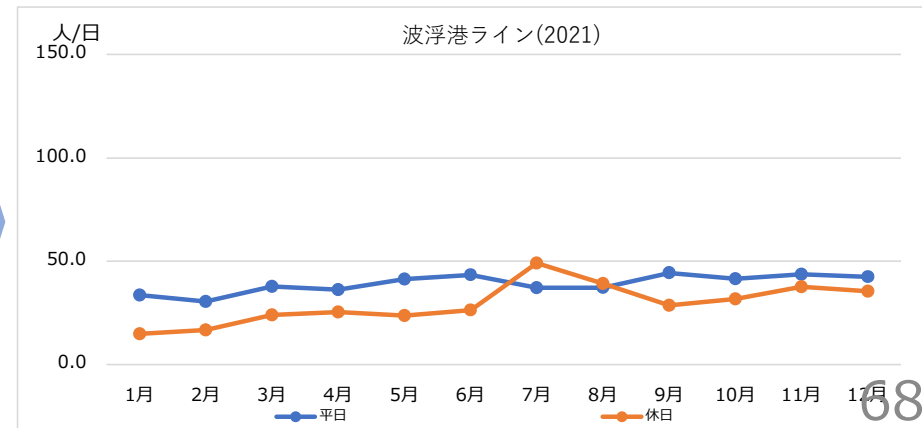
2021年



波浮港ライン(2018)



波浮港ライン(2021)



3. 大島町の現状と課題

3-6. 公共交通の利用状況

(1) バスの利用状況

- バスの前扉付近にビデオカメラを設置
- 乗降者数と乗降バス停を記録
- 調査対象月：8月(最終週の休日のみ)、12～1月

調査対象月	延べ記録日数	延便数	設置車両
8月	2日	65便	調査期間中に運行する車両 5 台 ※調査日毎にビデオカメラ設置車両を変更
12～1月	45日	275便	13台の車両のうちの5台 ※ビデオカメラは特定の車両に固定



3. 大島町の現状と課題

3-6. 公共交通の利用状況

(1) バスの利用状況

【各路線・各時期共通】

- 主な利用は元町港に集中
- コロナ禍(R2・R3)と比較すると乗車人数増加
- コロナ禍以前と比較すると半分以下に落ち込み

【波浮港ライン】

- 海洋国際高校前での乗車が多い
⇒高校生の休日の移動手段としての利用が想定
- 波浮港や波浮見晴台、上の山でも乗車
⇒平日は住民の利用、休日や8月の観光シーズンには波浮港周辺での観光周遊利用と想定

【大島公園ライン】

- 岡田港に利用が集中
⇒元町港・岡田港間の移動が主な需要と想定

3. 大島町の現状と課題

3-6. 公共交通の利用状況

(1) バスの利用状況

1) 8月の利用状況(波浮港ライン)

上り便は波浮港周辺の地区での乗車、海洋国際高校前での乗車が多い。降車は元町港に集中している。

下り便は乗車は元町港、降車は波浮港周辺に集中している。



3. 大島町の現状と課題

3-6. 公共交通の利用状況

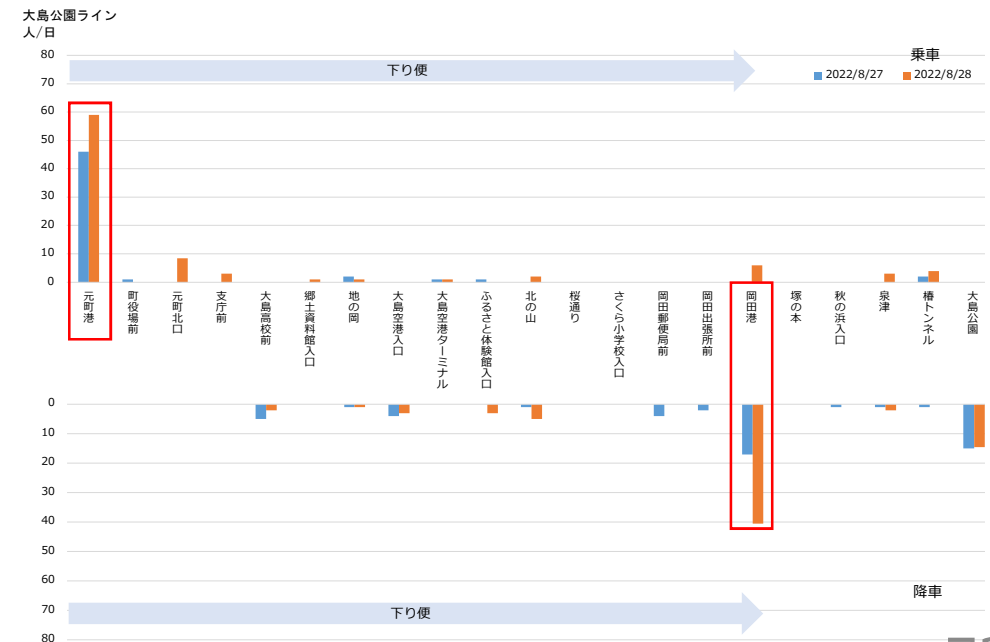
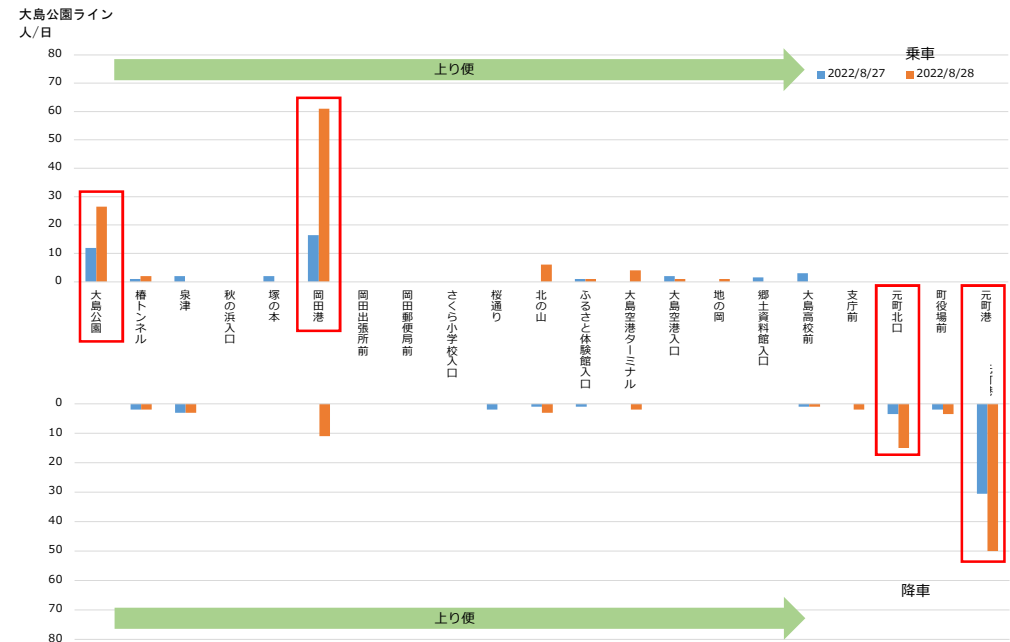
(1) バスの利用状況

1) 8月の利用状況

(大島公園ライン)

上り便は大島公園・岡田港での乗車が多い。降車は元町北口や元町港が多い。

下り便は乗車は元町港、降車は岡田港に集中している。



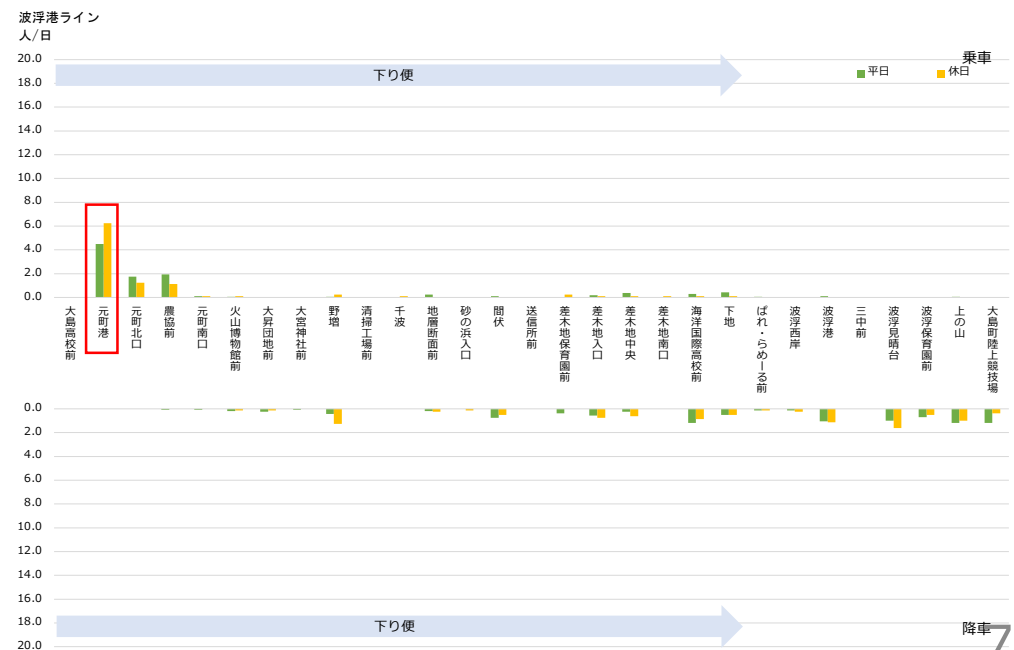
3. 大島町の現状と課題

3-6. 公共交通の利用状況

- (1) バスの利用状況
- 2) 12-1月の利用状況
(波浮港ライン)

上り便は海洋国際高校前での乗車が特に多く、降車は農協前や元町港が多い。平日は早朝の大島高校前への直通便での降車もみられる。

下り便は乗車は元町港での乗車が多いが、降車については、差木地や波浮港の停留所での降車が広くみられる。



3. 大島町の現状と課題

3-6. 公共交通の利用状況

- (1) バスの利用状況
- 2) 12-1月の利用状況
(大島公園ライン)

上り便は大島公園・岡田港での乗車が多い。
降車は元町港が多い。

下り便は乗車は元町港、降車は岡田港に集中している。

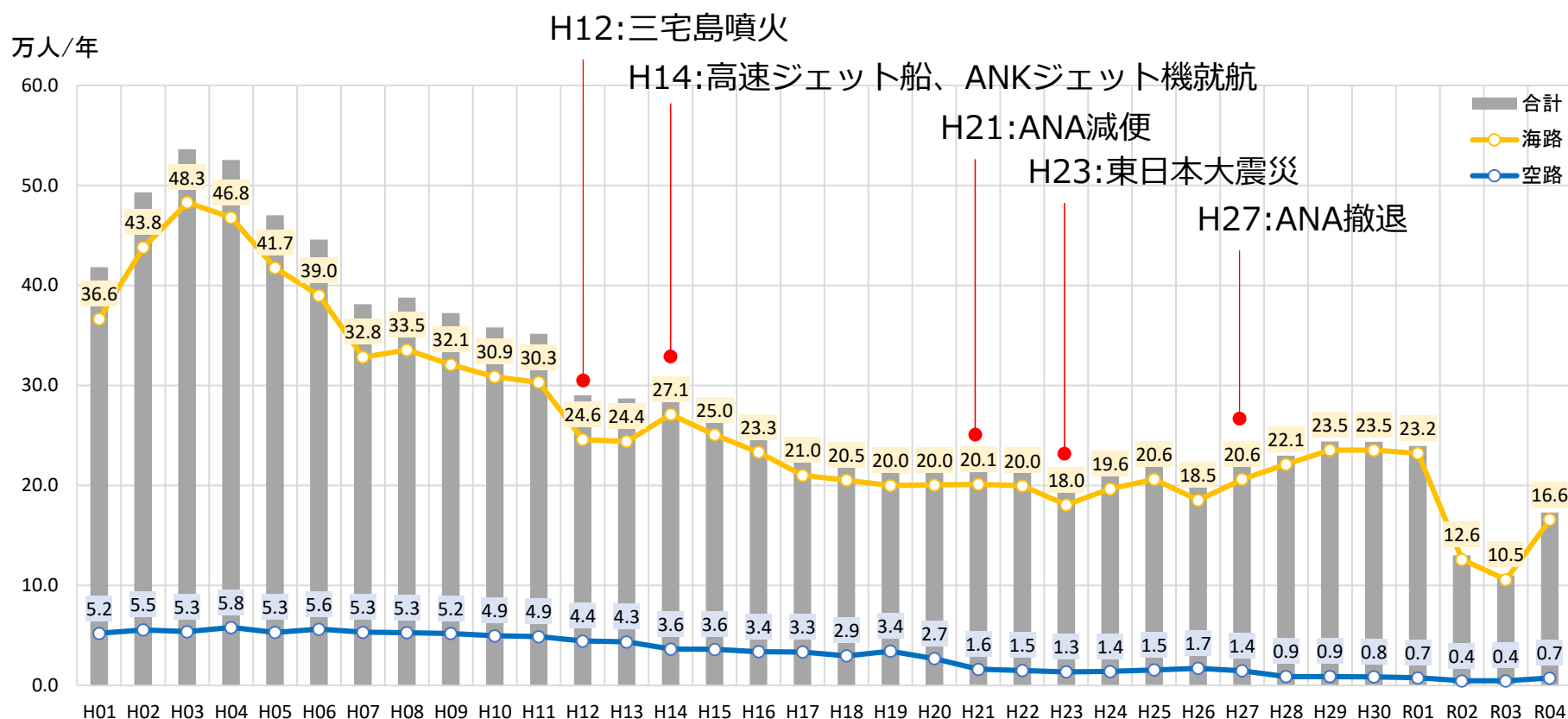


3. 大島町の現状と課題

3-6. 公共交通の利用状況

(2) 船舶・航空機の利用状況

- 船舶については、コロナウイルス感染拡大前までは、年間約23万人が利用していたが、コロナウイルス感染拡大の影響で令和2年度の利用は約12.6万人に減少
- 航空機については、平成27年のANA撤退以降、減少傾向



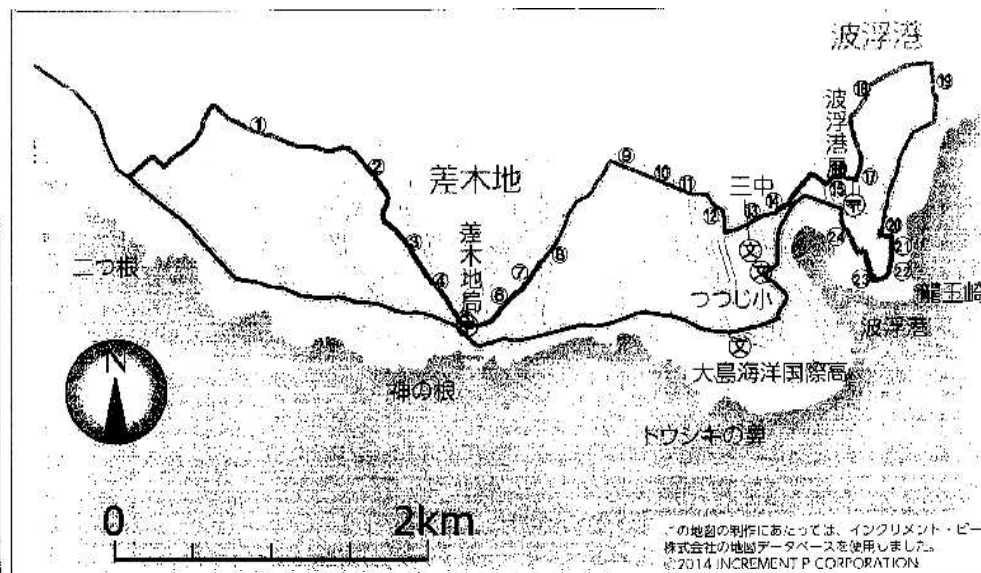
<参考>過去の地域公共交通の取組み(大島町地域内循環バス)

- ・平成26年10月～平成29年9月まで大島医療センターの通院の移動手段として、路線バスとは別系統で循環バスを運行
- ・14人乗りのハイエースで運賃は均一200円で運行
- ・大島空港周辺を循環する北部コースと波浮港周辺を循環する南部コースを運行
- ・北部コースは7時台1便、11時台1便の計2便運行、1周につき約1時間
- ・南部コースは7時台1便、11時台・15時台に各1便の計3便運行、1週につき約1.5時間



<参考>過去のデマンド交通の状況

- ・利用者数が僅少であったため、平成29年度に運行終了(1日の目標利用者数の6人を達成できず)
- ・平成29年度の利用状況は北部コースが平均0.6人/便、南部コースが平均1.8人/便
- ・大島町交通対策協議会ではドアtoドアのニーズに対応できなかったため廃止
- ・長距離を循環して、大島医療センターにアクセスする路線であったため、地区によっては大島医療センターの到着までの所要時間が増大してしまうことが利用僅少の要因のひとつと想定



大島町地域循環バス(南部循環線)

路線図

3. 大島町の現状と課題について

3-7. 地域や公共交通の現状からみた課題

□現状

【移動サービスの現状】(庁内WG)

- ・東京発着のジェット船との接続を重視したバス運行ダイヤ

【町民の意見】(事業者ヒアリング)

- ・バス停から医療センターや図書館等へのアクセスが、高低差や距離があり高齢者の負担
- ・夕方以降のバス・タクシーがないため、外食等に支障
- ・支え合い交通等のボランティア輸送の持続性に課題

【町民の移動実態】(アンケート)

- ・買い物は各地区から元町・北の山に来訪
- ・町内各地区から大島高校への通学需要

【町事業の状況】(ヒアリング)

- ・移動を支える複数のサービスあり
- ・一部事業内容が重複

【交通ネットワーク】(カバー状況)

- ・町民の半数以上が公共交通のカバー圏域外

課題1：日常の需要に対応した使いやすい移動サービスが必要

1-1.島外連絡交通（航空機、船舶）との接続や島内移動に対応したダイヤ調整が必要

1-2.通院や買い物などの日常の利用ニーズにあった移動サービスが必要

1-3.重複する既存の移動サービスの整理・集約が必要

3. 大島町の現状と課題について

3-7. 地域や公共交通の現状からみた課題

□現状

【移動サービスの現状】(庁内WG)

- ・1本/時間のバス運行、夕方以降の運行なし
- ・夕方以降のタクシー運行僅少
- ・交通機関がキャッシュレス決済未対応

【バスの利用実態】(乗降調査)

- ・元町・岡田間の移動に路線バスを活用
- ・大島公園や波浮港までの移動需要あり

【事業者の意見】(事業者ヒアリング)

- ・レンタカーがなく、移動に困る観光客が発生(地形の起伏による移動しづらさ)
- ・主要な観光地がレンタカー以外では来訪しづらい

【来訪者の意見】(中学校WS・庁内WG・来島者アンケート)

- ・家族での来訪が増加傾向
- ・自転車を利用した移動が増加傾向
- ・キャッシュレス等に未対応
- ・来島者への情報提供が不足(船の予約、駐車場所、バスに関する問合せも多い)
- ・路線バスの運行ダイヤや時間帯の利用しづらさ

課題2：来島者も利用しやすい交通環境整備が必要

2-1. 時期によって不足する、移動手段の確保が必要

2-2. 観光客のニーズに対応した移動サービスが必要

2-3. 来島者にとって、使いやすい移動サービスが必要

2-4. 島内の移動手段に関する来島者への情報提供が必要

3. 大島町の現状と課題について

3-7. 地域や公共交通の現状からみた課題

□現状

【バスの利用実態】(乗降調査)

- ・元町港・岡田港間や主要観光地以外での乗降僅少

【町民の意見】(事業者ヒアリング・庁内ヒアリング)

- ・公共交通を日常生活に組み込みづらい
- ・自家用車があるため、時間等の融通が利く自家用車で移動
- ・家族や知人への送迎の依頼しづらさ

【町民の移動実態】(アンケート)

- ・自家用車移動が中心
- ・自家用車で移動できず、家族等に送迎を依頼できない住民が一定数存在

課題3：自動車以外の交通手段の利用促進が必要

3-1.免許返納者の移動手段の確保が必要

3-2.島民のライフスタイル・移動実態にあった移動サービスが必要

3-3.公共交通の利用促進に向けた島民の意識の醸成が必要

大島町地域公共交通活性化協議会設置要綱

令和 5 年 1 月 1 8 日

町 長 決 裁

(目的)

第 1 条 大島町地域公共交通活性化協議会（以下「協議会」という。）は、道路運送法（昭和 26 年法律第 183 号）及び地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成 19 年法律第 59 号）（以下「活性化法」という。）の規定に基づき、大島町内における需要に応じたバス等の旅客輸送の確保、その他旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議するとともに、旅客運送サービスの持続可能な提供の確保に資する地域公共交通の活性化及び再生を推進するための計画（以下「地域公共交通計画」という。）を作成し、その実施に関する協議を行うため設置する。

(協議事項)

第 2 条 協議会の協議事項は次の通りとする。

- (1) 地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送の態様及び運賃・料金等に関する事項
- (2) 地域旅客サービスの適正な運用方法の検討及び旅客から収受する対価に関する事項
- (3) 地域公共交通計画の策定及び変更に関する事項
- (4) 地域公共交通計画に掲げられた事業の実施及び連絡調整に関する事項
- (5) 協議会の運営方法その他協議会が必要と認める事項

(協議会の委員)

第 3 条 委員は次に掲げる者のうち、大島町長が委嘱し、又は任命する。

- (1) 大島町副町長の職にある者
- (2) 一般旅客自動車運送事業者及びその組織する団体の指名する職員
- (3) 活性化法第 2 条第 2 号に規定する公共交通事業者及びその組織が指名する者
- (4) 住民団体その他関係団体の代表者
- (5) 警視庁大島警察署長又はその指名する職員
- (6) 住民又は利用者の代表
- (7) 大島町職員
- (8) 国土交通省職員
- (9) 東京都職員
- (10) 学識経験者
- (11) 前各号に掲げる者のほか、大島町長が必要と認める者

(任期)

第 4 条 委員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。ただし、次に掲げる事項ならびにやむを得ない事由により委員に欠員が生じた場合は補欠委員を置かなければならない。ただ

し、任期は前任者の残任期間とする。

2 特定の職により委嘱された委員の任期は、当該職のある期間とし、当該身分を失すると同時に委員を辞したものとみなす。また、後任者の任期については前項を適用する。

(協議会の組織)

第5条 協議会に、次に掲げる委員を置く。

(1) 会長 1名

(2) 監事 2名

2 会長は、大島町副町長とする。

3 会長は、協議会を代表し、会務を統括する。

4 会長に事故がある場合には、あらかじめ会長が指名する者がその職務を代表する。

5 監事は、委員の中から会長が指名する。

6 監事は、協議会の会計を監査する。

(協議会の運営)

第6条 協議会は、会長が招集し、会議の議長となる。

2 協議会は、委員の過半数の出席が無ければ開催できない。

3 委員は、やむを得ず会議を欠席する場合、その委員の指名するものをもってこれを充て、代理の者を出席させることができる。

4 協議会の議決方法は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数の場合は、会長の決するところによるものとする。

5 会議は原則として公開とする。ただし会議を公開することにより公正かつ円滑な議事運営に支障が生じると認められる協議については、非公開で行うものとする。

6 会議は、必要があると認められた時は、委員以外の者に対して資料を提出させ、又は会議への出席を依頼し、助言を求めることができる。

(書面による決議)

第7条 会長は、次のいずれかに該当するときは、すべての委員から賛否の意向の確認等を行うことを条件として、書面による決議を行うことができる。

(1) 会議において、事前に委員から書面による決議の了承を得ているとき。

(2) 緊急の決議を要し、かつ、会議の招集又は成立が困難なとき。

(3) 前2号に掲げるもののほか会長が軽微な事実と認めるとき。

2 書面による決議は、回答した委員の過半数をもって決し、可否同数の場合は会長の決するところによるものとする。

3 会長は、書面による決議を行った場合は、その結果を書面により速やかに委員に報告するものとする。

(協議結果の尊重義務)

第8条 協議会において協議が調った事項について、協議会の委員はその協議の結果を尊重し、当該事項の誠実な実施に努めるものとする。

(事務局)

第 9 条 協議会の事務を処理するために協議会に事務局を置く。

2 事務局は大島町政策推進課に置く。

(経費)

第 10 条 協議会の運営に要する経費は、負担金、補助金及びその他の収入をもって充てる。

2 予算及び決算は、協議会において決定する。

3 協議会の会計年度は、毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までとする。

4 前 3 項に規定するもののほか、会計に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(協議会が解散した場合の措置)

第 11 条 協議会が解散した場合には、協議会の収支は、解散の日をもって打ち切り、会長であった者がこれを決算する。

(その他)

第 12 条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、協議会が別に定める。

附 則

この要綱は、令和 5 年 1 月 1 8 日から施行する。

大島町地域公共交通活性化協議会委員名簿

	氏 名	役 職	区分	該当条項
1	木中 孝次	大島町副町長	地方公共団体	第3条1号
2	長野 博一	高崎経済大学地域政策学部地域政策学科 准教授	学識経験者	第3条10号
3	岡山 正宏	大島町商工会会長	その他構成員	第3条11号
4	小池 祐広	大島観光協会会長	その他構成員	第3条11号
5	切替 智之	大島警察署交通係長	公安職	第3条5号
6	柴田 博道	東京都大島支庁総務課長	都職員	第3条9号
7	岡田 拓也	東京都大島支庁土木課長	道路管理者(都道)	第3条9号
8	堀江 良彰	東京都大島支庁港湾課長	港湾管理者	第3条9号
9	飯箸 俊一	東京都都市整備局都市基盤部地域公共交通担当課長	都道府県公共交通担当者	第3条9号
10	鈴木 淳	国土交通省 関東運輸局 東京運輸支局 首席運輸企画専門官(総務企画担当)	地方運輸局	第3条8号
11	清家 裕之	国土交通省 関東運輸局 東京運輸支局 首席運輸企画専門官(輸送担当)	地方運輸局	第3条8号
12	下村 優	東京都大島町総務課長	地方公共団体	第3条7号
13	高橋 義徳	東京都大島町福祉けんこう課長	地方公共団体	第3条7号
14	藤田 武宏	東京都大島町住民課長	地方公共団体	第3条7号
15	吉澤 哲也	東京都大島町建設課長	道路管理者(町道)	第3条7号
16	鈴木 祐介	大島社会福祉協議会事務局長	交通事業者	第3条2号
17	宮本 正	大島旅客自動車 株式会社 労働組合 執行委員長	交通事業者	第3条2号
18	米澤 暁裕	一般社団法人東京バス協会 乗合業務部 部長	交通事業者が組織する団体	第3条2号
19	辻 善己	一般社団法人 大島タクシー協会 理事・ あいタクシー 代表	交通事業者が組織する団体・ 交通事業者	第3条2号・ 3号
20	平野 暁	大島旅客自動車株式会社 取締役営業所長	交通事業者	第3条3号
21	山本 忠和	東海汽船株式会社 管理本部担当 執行役員	交通事業者	第3条3号
22	小蔦 浩司	大島町シルバー人材センター代表理事会長	利用者代表	第3条4号
23	稲葉 利明	大島町老人クラブ連合会会長	利用者代表	第3条4号
24	川島 つねみ	大島町婦人会会長	利用者代表	第3条4号
25	佐々木 実	大島町PTA連合会会長	利用者代表	第3条4号